TOSHIBA
Leading Innovation

東芝消色装置

# TopAccessガイド

PAPER REUSING SYSTEM
Loops
RD30

PAPER REUSING SYSTEM
Loops
RD301

●このたびは東芝消色装置をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

©2013, 2014 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved
本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

# はじめに

このたびは東芝消色装置をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、Webベースの管理ユーティリティであるTopAccessから行うデバイスのリモートセットアップやリモート管理を説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

> TopAccessにログインする権限により、TopAccess上での操作が制限される項目があります。

## ■ 本書の読みかた

### □ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷[*1]を負う可能性があること」を示しています。 |
| ⚠注意 | 「誤った取り扱いをすると人が傷害[*2]を負う可能性、または物的損害[*3]のみが発生する可能性があること」を示しています。 |
| 注意 | 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。 |
| 補足 | 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。 |
| 📖 | 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。 |

＊1　重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
＊3　物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

### □ 本文中の画面について

本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 7を例に説明しています。オプション機器の装着状況、お使いのOSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

### □ 本文中の初期値について

- 本書に記載している初期値は、標準的な使用環境の値です。導入時の環境に合わせて、初期値を変更している場合があります。
- 選択項目の初期値は、下線で表記しています。

## □ 商標について

- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、SafariおよびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、ReaderおよびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Loopsは、東芝テック株式会社の商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の商標です。
- その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

## □ セキュリティに関するご利用上のご注意

- 不正に設定値を変更されるなどの操作を防ぐため、本製品をご使用いただく前に、本製品に設定されている工場出荷時の初期管理者パスワードを必ず変更していただきますようお願い致します。また本製品で設定されているパスワードは定期的に変更していただきますようお願い致します。
- セキュリティの観点から TopAccess の設定変更を行っているコンピュータから離席される場合は、必ず［ログアウト］してください。
- セキュリティの観点からTopAccessにログインしているときは、他サイトにアクセスしないようにしてください。

# 目次


**はじめに** ........ 1

## 第1章　概要

**TopAccessの機能** ........ 6
**TopAccessの条件** ........ 7
**TopAccessを起動する** ........ 8
アドレスを入力して起動する ........ 8
**TopAccessの画面説明** ........ 9
**アクセスポリシーモード** ........ 10

## 第2章　［装置］タブ

**［装置］項目説明一覧** ........ 14

## 第3章　［ログ］タブ

**［ログ］タブの概要説明** ........ 16
［ログ閲覧］項目説明一覧 ........ 16
［ログのエクスポート］項目説明一覧 ........ 18

## 第4章　［登録］タブ

**［登録］タブの概要説明** ........ 20
［テンプレート］項目説明一覧 ........ 20
［保存先リスト］項目説明一覧 ........ 24
**［登録］設定／操作方法** ........ 27
テンプレートを管理する ........ 27

## 第5章　［カウンタ］タブ

**［カウンタ］タブの概要説明** ........ 30
［カウンタ］項目説明一覧 ........ 30

## 第6章　［ユーザ管理］タブ

**［ユーザ管理］タブの概要説明** ........ 36
［ユーザアカウント］項目説明一覧 ........ 36
［部門管理］項目説明一覧 ........ 40
［エクスポート／インポート］項目説明一覧 ........ 43

## 第7章　［管理者］タブ

**［セットアップ］項目説明一覧** ........ 46
一般設定 ........ 46
ネットワーク設定 ........ 51
マネジメントスキャン設定 ........ 66
リユース回数カウンタ設定 ........ 68
分別の判断レベル設定 ........ 68
ODCA設定 ........ 69

バージョン......70
[セキュリティ] 項目説明一覧 ...... 71
認証 ......71
証明書管理......74
パスワードポリシー ......77
[セキュリティ] 設定／操作方法...... 80
自己証明書を作成する／エクスポートする......80
クライアント証明書の作成／エクスポート......82
[保守] 項目説明一覧...... 84
インポート......84
エクスポート ......85
クローンファイル作成 ......86
クローンファイルのインストール ......88
LDAPサービス......89
システムアップデート ......91
言語設定......92
再起動 ......92

## 第8章 [アカウント] タブ

[アカウント] タブの概要説明 ...... 94
［アカウント］項目説明一覧......94

## 第9章 付録

クライアントコンピュータに証明書をインストールする ...... 98

索引...... 105

# 1

# 概要

このセクションでは、TopAccess機能の概要について説明します。

**TopAccessの機能** ........................................ 6
**TopAccessの条件** ........................................ 7
**TopAccessを起動する** ........................................ 8
アドレスを入力して起動する ........................................ 8
**TopAccessの画面説明** ........................................ 9
**アクセスポリシーモード** ........................................ 10

# TopAccessの機能

TopAccessは、Webブラウザを利用して、本機の装置情報やジョブのステータスなどの確認、装置設定やメンテナンスが行える管理ユーティリティです。
TopAccessは、「ユーザモード」と「アクセスポリシーモード」の2種類のモードがあります。

## ユーザモード

TopAccessのユーザモードから以下の操作を行うことができます。
- 本機の一般情報を表示する（ステータス、排紙情報など）
- ログを表示する
- カウンタを表示する

📖 P.8 「TopAccessを起動する」

## アクセスポリシーモード

TopAccessにログインするユーザアカウントに応じて、操作を行う権限や表示される項目などが異なります。
📖 P.10 「アクセスポリシーモード」

# TopAccessの条件



TopAccessを操作するには、お使いの機器がネットワークに接続され、TCP/IPが正しく設定されている必要があります。
TCP/IP設定を完了すると、Webブラウザを利用してTopAccessにアクセスすることができます。

## サポートブラウザ

**Windows**
- Internet Explorer 9.0以上
- Firefox 3.5以上

**Macintosh**
- Safari 4.0以上

**UNIX**
- Firefox 30.0以上

**注 意**

- TopAccessでは、コンピュータに情報を保存するのにCookieを使用するので、TopAccessを正しく動作させるためにはお使いのブラウザでCookieを使用できるように設定されている必要があります。
- TopAccessが正しく動作しないときには、Cookieを削除して試してみてください。
- Webブラウザのポップアップブロック機能は解除するか、TopAccessのポップアップを許可してください。

# TopAccessを起動する

TopAccessは、WebブラウザのURLにアドレスを入力することにより起動できます。
📖 P.8「アドレスを入力して起動する」

## ■ アドレスを入力して起動する

**1 Webブラウザを起動し、URLに以下のアドレスを入力します。**

http://<IPアドレス>または、http://<デバイス名>

例：

お使いの機器のIPアドレス（IPv4）が「10.10.70.120」のとき

`http://10.10.70.120`

お使いの機器のIPアドレス（IPv6）が「3ffe:1:1:10:280:91ff:fe4c:4f54」のとき

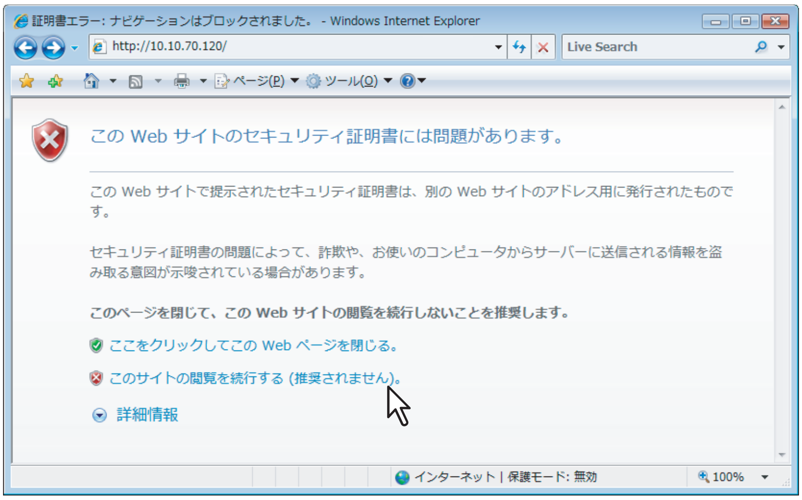
`3ffe-1-1-10-280-91ff-fe4c-4f54.ipv6-literal.net`

または

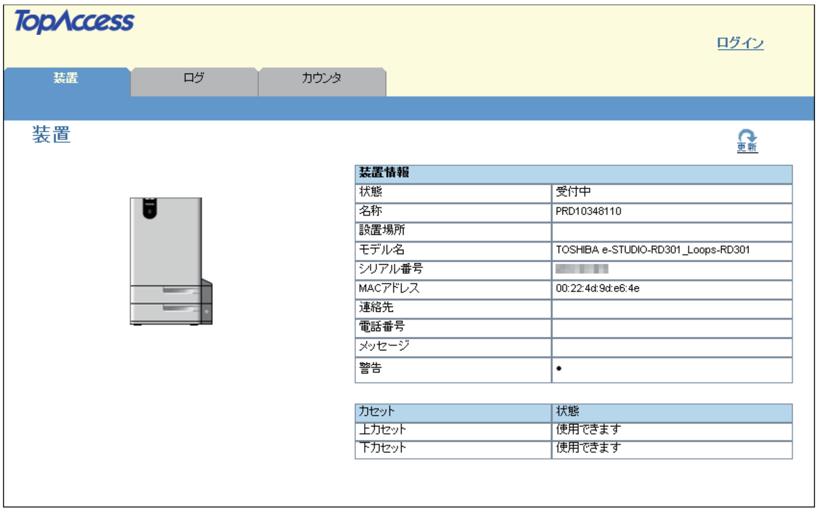
`http://[3ffe:1:1:10:280:91ff:fe4c:4f54]`

**注 意**

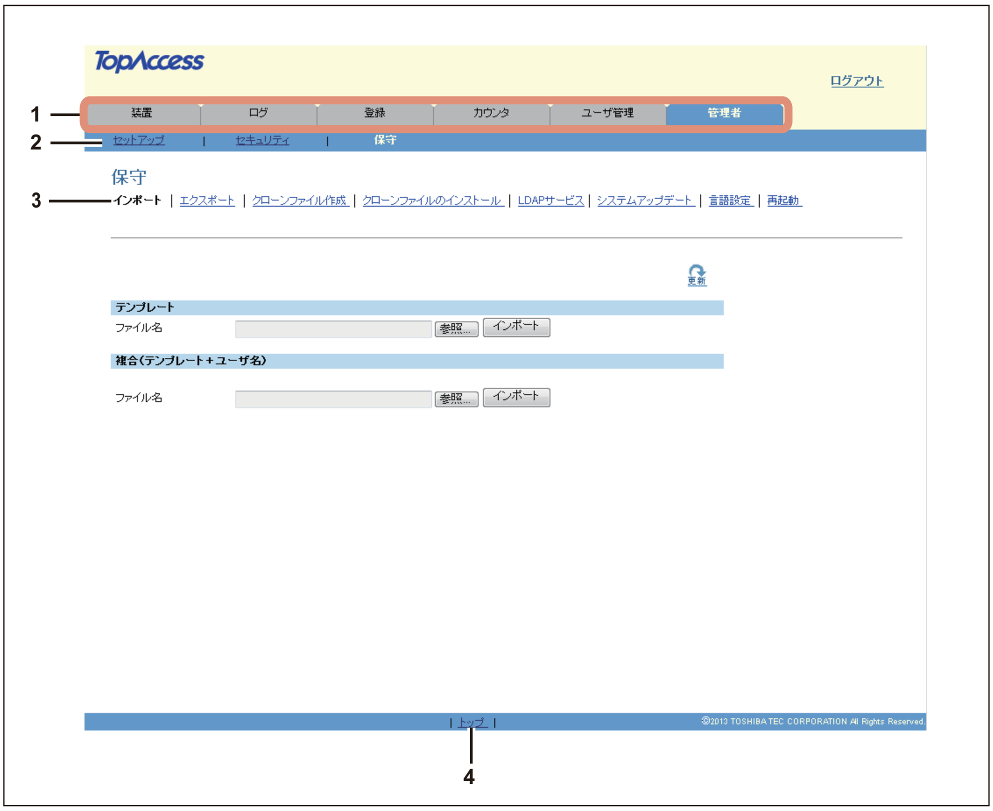
HTTPネットワークサービスでSSLが有効に設定されている場合は、TopAccessのアドレスを入力すると警告メッセージが表示されることがあります。その場合は、［このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。］をクリックして操作を続けてください。




**2 TopAccessのWebページが表示されます。**



# TopAccessの画面説明




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | 機能タブ | 各タブは機能ごとにまとめられています。タブをクリックすると、該当する機能のメインページが表示されます。 |
| 2 | メニューバー | 選択した機能タブの各メニューページへアクセスします。 |
| 3 | サブメニューバー | 選択した機能タブやメニューの各サブメニューページへアクセスします。 |
| 4 | トップ | このリンクをクリックすると、表示しているページの先頭へ戻ります。 |

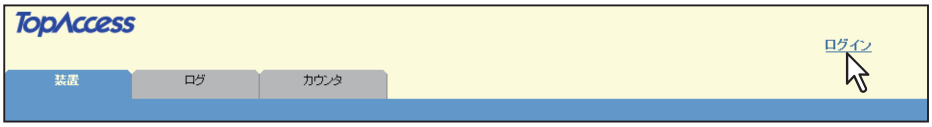
# アクセスポリシーモード

TopAccessにログインするユーザアカウントに応じて、操作を行う権限や表示される項目などが異なるアクセスポリシーモードがあります。
アクセスポリシーモードでは、ユーザアカウントが割り当てられている権限により、操作や表示の詳細が異なります。

**1 TopAccessを起動します。**

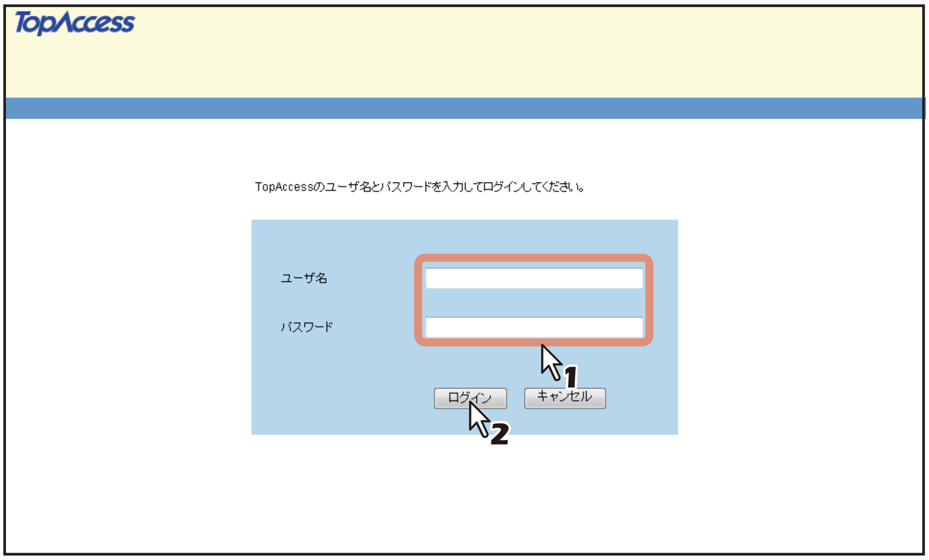
📖 P.8 「TopAccessを起動する」

**2 ［ログイン］をクリックします。**




ログインページが表示されます。

**3 ログインするユーザ名とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。**




- TopAccessのアクセスポリシーに従ったユーザ名とパスワードを入力してください。
- セットアップページが表示されます。

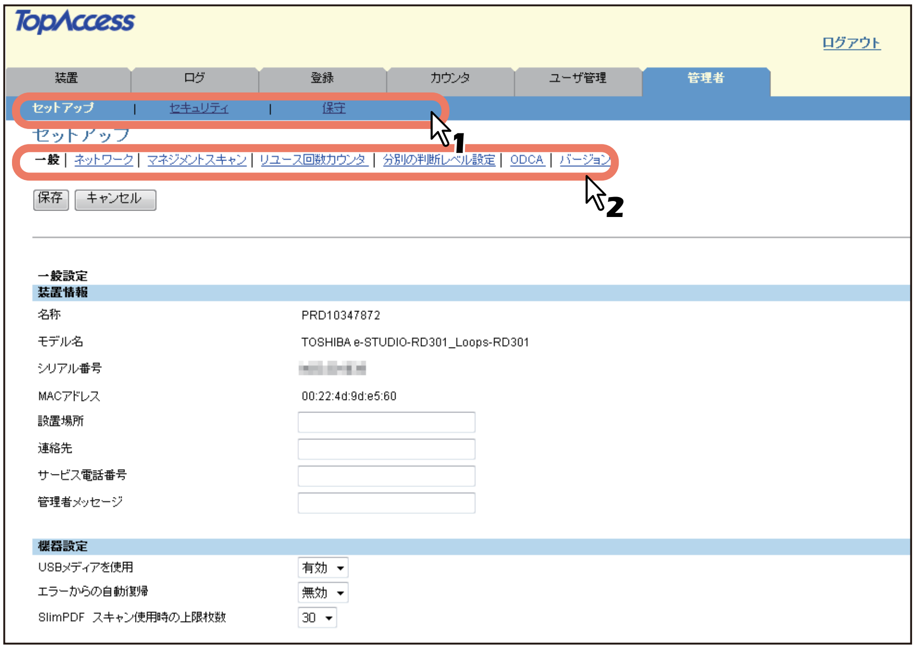
**注 意**

- ログイン時にパスワードを複数回間違えて入力すると、不正なアクセスとみなされ、一定時間ログイン操作ができなくなることがあります。"ユーザアカウントがロックアウトされました" または "ユーザ名とパスワードが不正です。" と表示され、ログイン操作ができなくなった場合は、管理者にお問い合わせください。
- パスワードは伏せ字で表示されます。
- ログイン後、［セッション確保時間］で設定されている時間が経過した場合、自動的にログアウトします。

**補 足**

- 最初にログインする場合は、ユーザ名に "admin" 、パスワードに "123456" を入力してください。
- ユーザアカウントのロックアウト設定は、［管理者］-［セキュリティ］-［パスワードポリシー］で設定できます。
📖 P.77 「パスワードポリシー」
- ［セッション確保時間］は、［管理者］-［セットアップ］-［一般］-［WEB設定］で設定できます。

## 4 メニューとサブメニューをクリックし、目的のページを表示します。




**補 足**

ページ右上の［ログアウト］リンクをクリックすると、ログアウトすることができます。

2

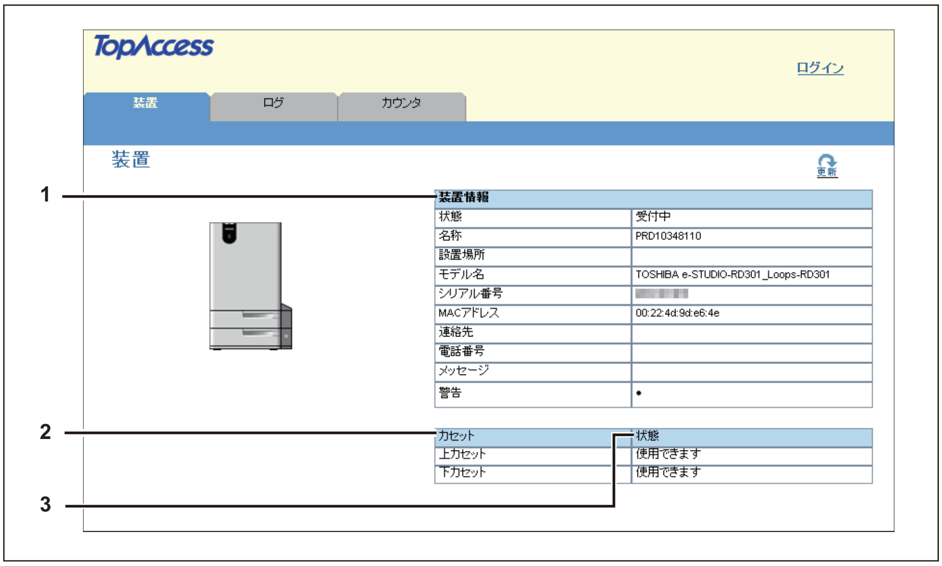
# ［装置］タブ

このセクションでは、TopAccessユーザモードの［装置］タブについて説明します。

**［装置］項目説明一覧 ........................................................................................................ 14**

# [装置] 項目説明一覧

[装置] タブには、装置に関する以下の情報が表示されます。[更新] をクリックすると、ページ上の情報が更新され、表示されます。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 装置情報 | 以下の情報が表示されます。<br>• **状態**：本機の状態を表示します。<br>• **名称**：本機の名称を表示します。<br>• **設置場所**：本機の設置場所を表示します。<br>• **モデル名**：本機のモデル名を表示します。<br>• **シリアル番号**：本機のシリアル番号を表示します。<br>• **MACアドレス**：本機のMACアドレスを表示します。<br>• **連絡先**：本機を管理する担当者の氏名を表示します。<br>• **電話番号**：本機を管理する担当者の電話番号を表示します。<br>• **メッセージ**：管理者メッセージを表示します。<br>• **警告**：警告メッセージを表示します。 |
| **2** | カセット | 本機のカセットを一覧表示します。 |
| **3** | 状態 | 各カセットが使用可能な状態かどうかを表示します。 |

3

# [ログ] タブ

このセクションでは、TopAccessの［ログ］タブについて説明します。

**[ログ] タブの概要説明 .......... 16**
[ログ閲覧] 項目説明一覧 .......... 16
[ログのエクスポート] 項目説明一覧 .......... 18

# [ログ] タブの概要説明

ジョブの履歴を確認することができます。

**注 意**

定期的にログをチェックし、なりすましによる本装置への不正アクセスがないことを確認してください。

**補 足**

- ログは、本機機体の電源を入れてからシャットダウンまで取得します。節電モードに移行した後もログは取得されます。
- 各ログは新しい順に最大400件まで表示されます。ログはエクスポートすることで、ジョブログは最大1,000件、メッセージログは最大2,000件まで確認することができます。最大件数を超えたログについては、古いものから削除されます。

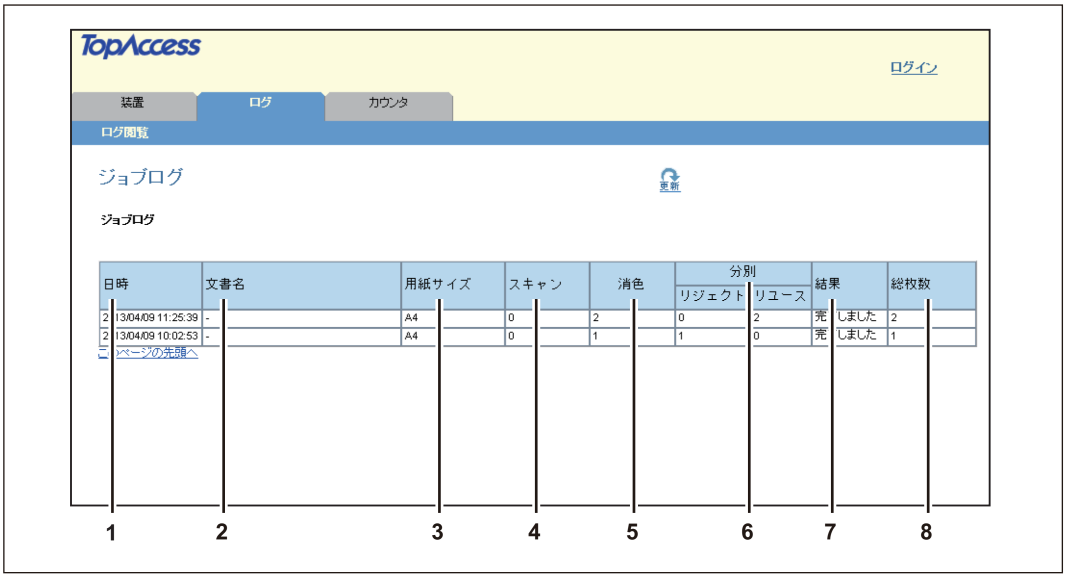
P.16「[ログ閲覧] 項目説明一覧」
P.18「[ログのエクスポート] 項目説明一覧」

## ■ [ログ閲覧] 項目説明一覧

P.16「ジョブログ」
P.17「メッセージログ」

### □ ジョブログ

ジョブログページには、以下の情報がジョブログごとに表示されます。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | 日時 | ジョブを実行した日時を表示します。 |
| 2 | 文書名 | ジョブの文書名を表示します。 |
| 3 | 用紙サイズ | ジョブに使用する用紙サイズを表示します。 |
| 4 | スキャン | 1回のジョブでスキャンされたページ数を表示します。 |
| 5 | 消色 | 1回のジョブで消色された枚数を表示します。 |
| 6 | 分別 | 1回のジョブで分別された枚数を、リジェクトとリユースに分けて表示します。 |
| 7 | 結果 | ジョブが完了したか、結果を表示します。 |
| 8 | 総枚数 | 1回のジョブで使用された用紙の枚数を表示します。 |

## □ メッセージログ

メッセージログページには、本機で発生したエラーメッセージが表示されます。

**補 足**

メッセージログページは、［ログ］タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。
アクセス方法は、以下を参照してください。
📖 P.10「アクセスポリシーモード」

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | 日時 | エラーが発生した日時を表示します。 |
| 2 | エラーレベル | エラーのレベルを表示します。<br>**エラー** ：ユーザによって回避不可能な可能性があるエラー<br>**警告** ：管理者によって回避可能なエラー<br>**情報** ：ユーザによって回避可能なエラー、またはエラーではない |
| 3 | メッセージ | メッセージがある場合に表示します。 |
| 4 | 結果 | エラーコードを表示します。 |
| 5 | ユーザ名 | メッセージに関係するユーザアカウント名を表示します。 |
| 6 | ドメイン名/LDAPサーバー | メッセージに関係するユーザアカウントのドメイン名またはLDAPサーバーを表示します。 |

## ■［ログのエクスポート］項目説明一覧

ログを消去、またはファイルとしてエクスポートできます。

**補 足**

- ログのエクスポートページは、［ログ］タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。
  アクセス方法は、以下を参照してください。
  📖 P.10 「アクセスポリシーモード」
- データはCSV形式でエクスポートされます。
- エクスポート可能なログは、ジョブログで最大1,000件、メッセージログで最大2,000件です。最大件数を超えたログについては、古いものから削除されます。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ジョブログのエクスポート | ジョブログを消去またはファイルとしてエクスポート（ダウンロード）できます。<br>**新規ファイル作成&ログクリア**：ファイルを作成します。ファイル作成後には、ログを消去します。作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードすることができます。<br>**ログクリア**：ログを消去します。<br>**新規ファイル作成**：ファイルを作成します。<br>作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。 |
| **2** | メッセージログのエクスポート | メッセージログを消去またはファイルとしてエクスポート（ダウンロード）できます。<br>**新規ファイル作成&ログクリア**：ファイルを作成します。ファイル作成後には、ログを消去します。作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードすることができます。<br>**ログクリア**：ログを消去します。<br>**新規ファイル作成**：ファイルを作成します。<br>作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。 |

4

# ［登録］タブ

このセクションでは、テンプレート登録方法について説明します。

**［登録］タブの概要説明 .......... 20**
［テンプレート］項目説明一覧 .......... 20
［保存先リスト］項目説明一覧 .......... 24

**［登録］設定／操作方法 .......... 27**
テンプレートを管理する .......... 27

# ［登録］タブの概要説明

テンプレートの登録ができます。

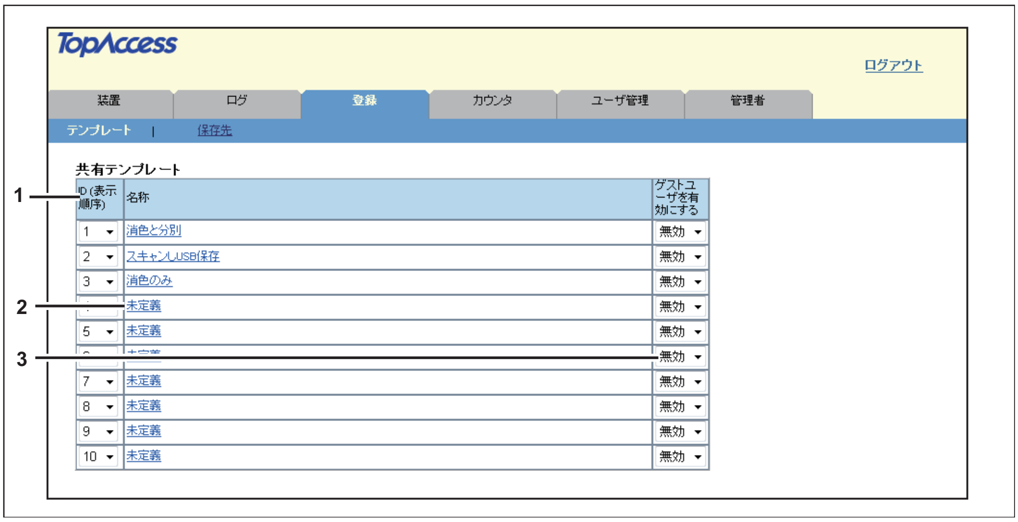
P.20 「［テンプレート］項目説明一覧」
P.24 「［保存先リスト］項目説明一覧」

## ■［テンプレート］項目説明一覧

### □［共有テンプレート］画面/［プライベートテンプレート］画面

本機を操作パネルから使うときは、あらかじめ消色・分別・スキャンの各機能を組み合わせた設定をテンプレートとして登録しておき、操作時に選択する必要があります。
本機では共有テンプレートとして10個（3個はプリセットテンプレート）のテンプレート、プライベートテンプレートとして1ユーザ10個のテンプレートを使用できます。

#### 共有テンプレート

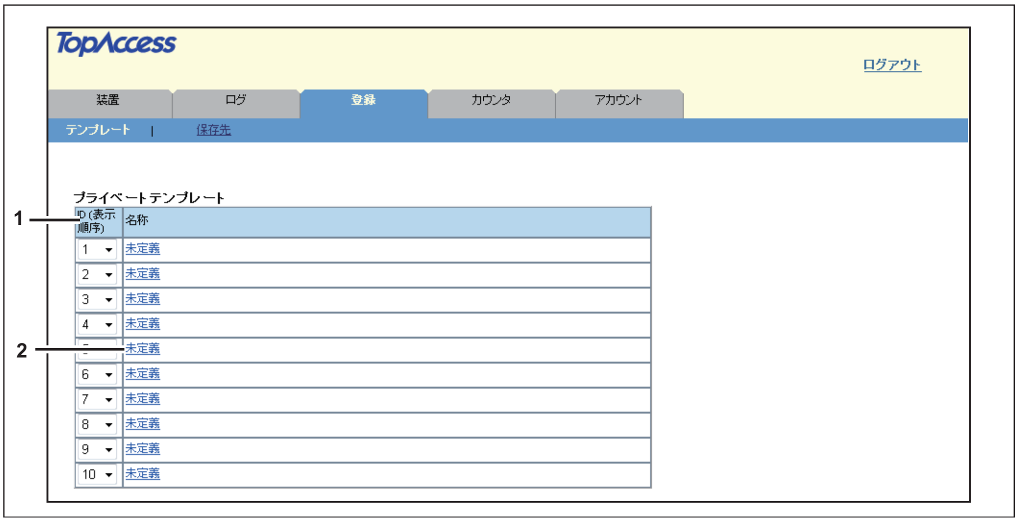



| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ID（表示順序） | テンプレートの番号が表示されます。プルダウンリストで液晶画面に表示する順番を変えることができます。 |
| 2 | 名称 | テンプレートの名称が表示されます。 |
| 3 | ゲストユーザを有効にする | ユーザ認証有効時、ゲストユーザの操作を許可している場合、ゲストユーザははプルダウンリストで「有効」のテンプレートのみ使用できます。<br>P.71 「ユーザー認証設定」 |

補 足

- 共有テンプレートは、アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザが作成・管理します。
  アクセス方法は、以下を参照してください。
  P.6 「アクセスポリシーモード」
- 共有テンプレートの登録については、以下の説明を参照してください。
  P.27 「共有テンプレートを登録・編集する」

### プライベートテンプレート



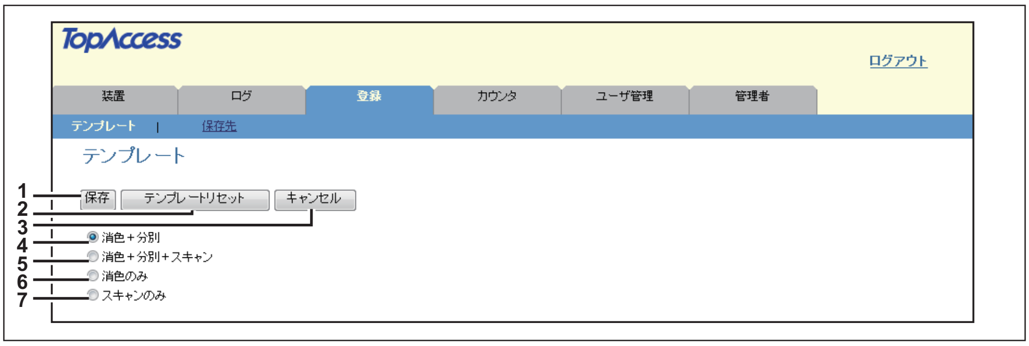

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ID（表示順序） | テンプレートの番号が表示されます。プルダウンリストで液晶画面に表示する順番を変えることができます。 |
| 2 | 名称 | テンプレートの名称が表示されます。 |

**補足**

- プライベートテンプレートは、アクセスポリシーモードで、ユーザ権限が設定されているユーザが作成・管理します。アクセス方法は、以下を参照してください。
  📖 P.6 「アクセスポリシーモード」
- プライベートテンプレートの登録については、以下の説明を参照してください。
  📖 P.28 「プライベートテンプレートを登録・編集する」

## □［テンプレート］画面

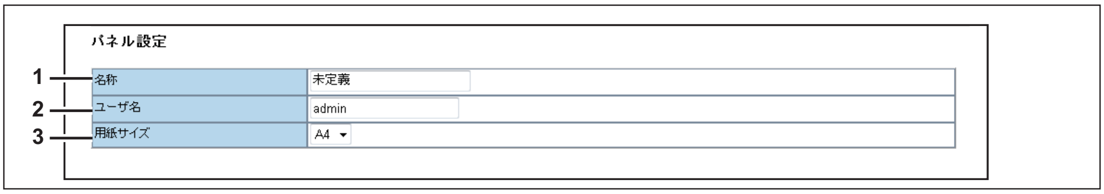
登録するテンプレートを編集することができます。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［保存］ボタン | テンプレートの設定を保存します。 |
| 2 | ［テンプレートリセット］ボタン | 共有テンプレートの登録をリセットします。 |
| 3 | ［キャンセル］ボタン | 登録・編集をキャンセルし、前の画面に戻ります。 |
| 4 | 消色＋分別 | 消色・分別を実行するテンプレートを作成します。 |
| 5 | 消色＋分別＋スキャン | 消色・分別・スキャンを実行するテンプレートを作成します。 |
| 6 | 消色のみ | 消色を実行するテンプレートを作成します。 |
| | **補足** マネジメントスキャン機能で「消色のみの実行を許可する」が無効の場合、「消色のみ」は使用できません。 | |
| 7 | スキャンのみ | スキャンを実行するテンプレートを作成します。 |

## □ パネル設定

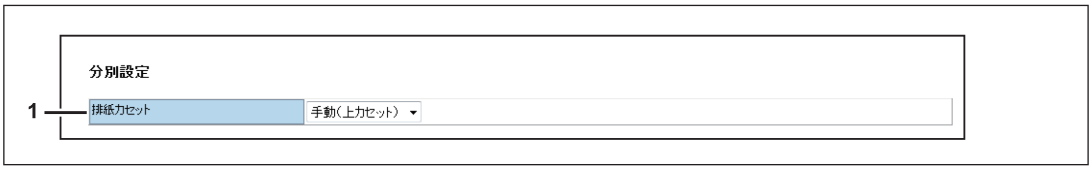
本機の液晶画面にテンプレートをどのように表示するかを設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 名称 | テンプレートの名称を設定します。 |
| | **注 意**<br>名称は30文字まで入力できます。漢字（第1/2水準）、全角ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、半角英数字、全角英数字を使用してください。記号（￥ / : , ; * ? " < > ‘ \|）は使用できません。 | |
| **2** | ユーザ名 | テンプレートの所有者名が表示されます。 |
| **3** | 用紙サイズ | テンプレートを実行するときの用紙サイズを設定します。 |

## □ 分別設定

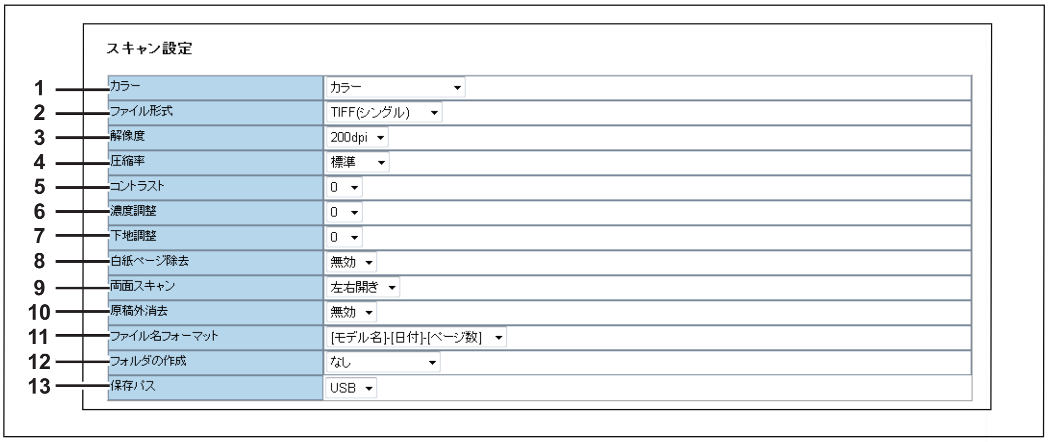
用紙の分別方法を設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 排紙カセット | 用紙を分別する方法および分別後の用紙を排出するカセットを設定します。<br>• **自動**：リユース可能か自動的に判別し、リユース可能な用紙は上カセットに入れます。<br>• **手動（上カセット）**：分別せず、用紙を上カセットに入れます。<br>• **手動（下カセット）**：分別せず、用紙を下カセットに入れます。 |

## □ スキャン設定

スキャンエージェントを選択した場合に、どのように原稿をスキャンするかを設定します。



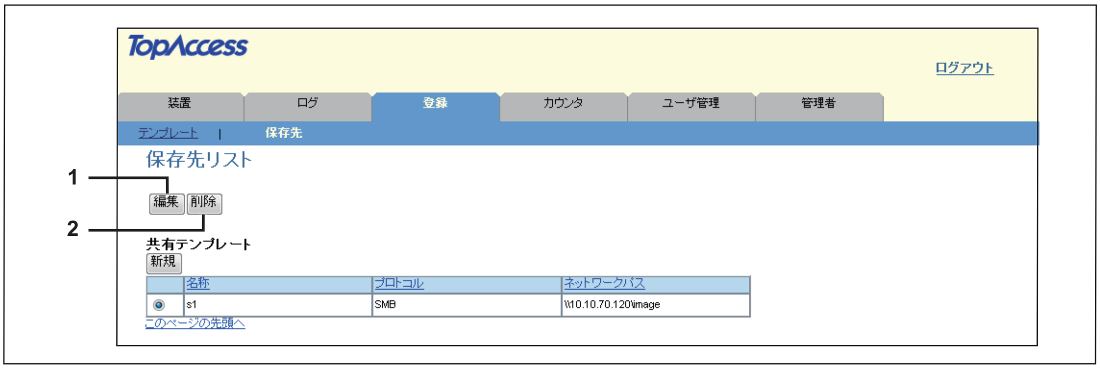

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | カラー | スキャンのカラーモードを選択します。 |
| | **補 足**<br>Loops LP30/LP301で印刷した用紙をモノクロでスキャンする場合は、「モノクロ（ブルー原稿）」を選択することをお勧めします。 | |
| **2** | ファイル形式 | スキャンファイルの保存形式を選択します。<br>• **TIFF（マルチ）**：スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。<br>• <u>**TIFF（シングル）**</u>：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。<br>• **PDF（マルチ）**：スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。<br>• **PDF（シングル）**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。<br>• **高圧縮PDF マルチ**：スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。画質よりファイルサイズの縮小を優先したい場合に適しています。<br>• **高圧縮PDF シングル**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルの高圧縮PDFファイルとして保存します。画質よりファイルサイズの縮小を優先したい場合に適しています。<br>• **JPEG**：スキャンイメージを、JPEGファイルとして保存します。 |
| | **注 意**<br>JPEG、高圧縮PDF マルチおよび高圧縮PDF シングルは、カラーで「カラー」または「グレースケール」を選択したときに使用できます。 | |
| **3** | 解像度 | スキャンの解像度を選択します。 |
| | **注 意**<br>• 「300dpi」を選択した場合、1ジョブで使用できる用紙枚数の上限は60枚です。<br>• ファイル形式で「高圧縮PDF マルチ」または「高圧縮PDF シングル」を選択している場合、解像度は「300dpi」および「200dpi」を使用できます。 | |
| **4** | 圧縮率 | スキャンデータの圧縮率を選択します。 |
| | **補 足**<br>ファイル形式で「高圧縮PDF マルチ」または「高圧縮PDF シングル」を選択している場合、圧縮率は変更できません。 | |
| **5** | コントラスト | スキャンのコントラストを選択します。コントラストは5段階に調節することができます。 |
| **6** | 濃度調整 | スキャンの濃度を選択します。濃度は5段階に調節することができます。 |
| **7** | 下地調整 | スキャンの背景色の濃度を選択します。背景色の濃度は5段階に調節することができます。 |
| **8** | 白紙ページ除去 | 用紙に白紙ページが含まれていた場合、スキャン結果から白紙ページを自動的に省くかを選択します。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **9** | 両面スキャン | 原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを選択します。<br>• **片面**：原稿の片面をスキャンします。<br>• **左右開き**：両面左右開きでスキャンします。<br>• **上下開き**：両面上下開きでスキャンします。 |
| **10** | 原稿外消去 | 用紙の外側部分を消去するかを選択します。消去された部分は白色になります。 |
| **11** | ファイル名フォーマット | 以下の項目の組み合わせで、ファイル名を設定します。<br>• **モデル名**<br>• **日付**<br>• **ページ数** |
| **12** | フォルダの作成 | フォルダに保存するかどうかと、保存する場合のフォルダ名を設定します。<br>• **なし**：フォルダを使用しません。<br>• **モデル名で作成**：本機の名前でフォルダを作成します。<br>• **ユーザ名で作成**：ユーザの名前でフォルダを作成します。 |
| **13** | 保存パス | 保存先を選択します。USBメディアまたはネットワークフォルダに保存できます。 |

## ■［保存先リスト］項目説明一覧

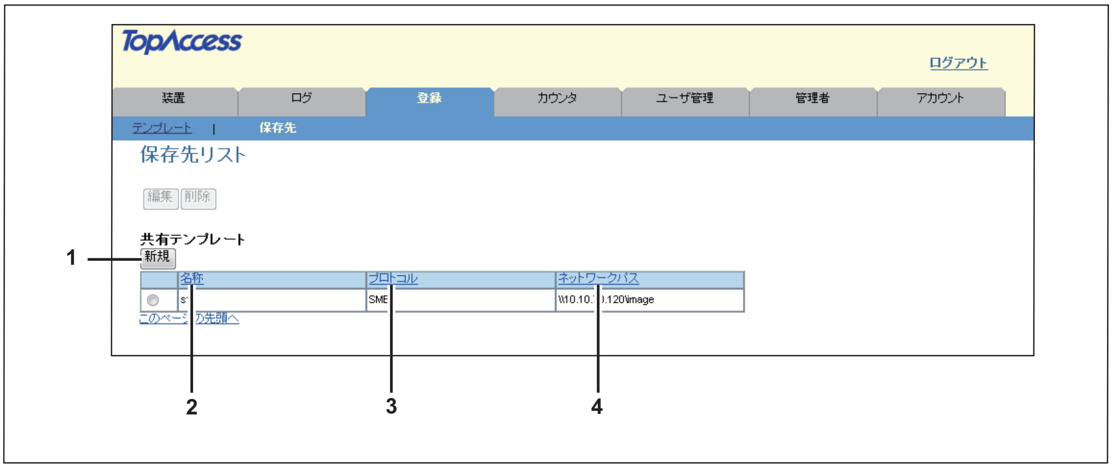
### □［保存先リスト］画面

保存先のリストの表示や、保存先の作成・編集を行います。



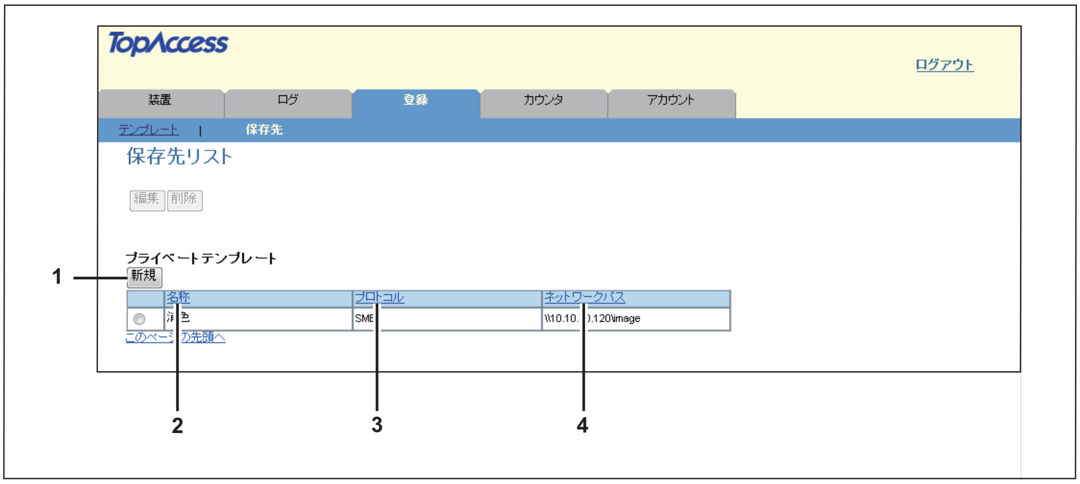

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ［編集］ボタン | 選択した保存先を編集します。 |
| **2** | ［削除］ボタン | 選択した保存先を削除します。 |

## 共有テンプレート




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ［新規］ボタン | 新しい保存先を追加します。<br>📖 P.26「［リモート設定］画面」 |
| **2** | 名称 | 保存先の名前を表示します。 |
| **3** | プロトコル | 保存先のプロトコルを表示します。 |
| **4** | ネットワークパス | 保存先のネットワークパスを表示します。 |

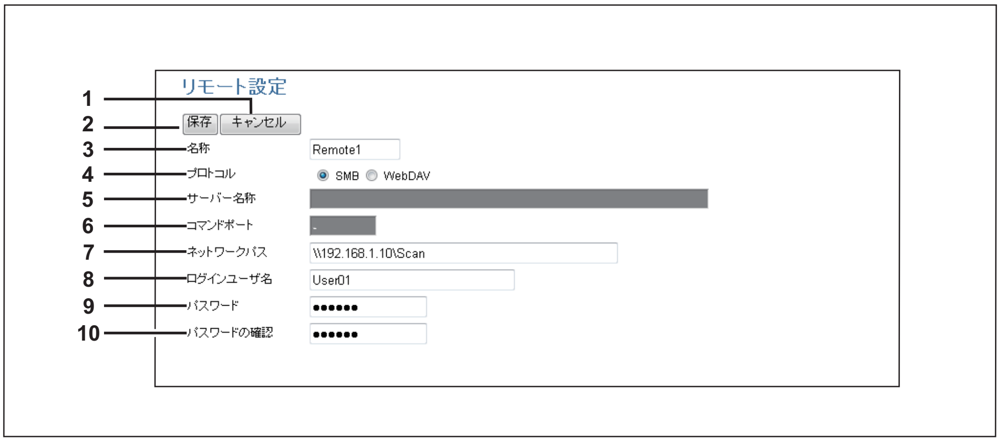
## プライベートテンプレート




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ［新規］ボタン | 新しい保存先を追加します。<br>📖 P.26「［リモート設定］画面」 |
| **2** | 名称 | 保存先の名前を表示します。 |
| **3** | プロトコル | 保存先のプロトコルを表示します。 |
| **4** | ネットワークパス | 保存先のネットワークパスを表示します。 |

# □［リモート設定］画面

スキャンデータの保存先を設定します。




<table>
<tr><th></th><th>項目名</th><th>機能説明</th></tr>
<tr><td>1</td><td>［キャンセル］ボタン</td><td>設定の作成や編集を中止します。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>［保存］ボタン</td><td>設定を保存します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>名称</td><td>保存先の名前を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">注 意<br>名称は10文字まで入力できます。漢字（第1/2水準）、全角ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、半角英数字、全角英数字を使用してください。記号（[ ] * ? / ￥ " | < > , ' ; : = + & %）および半角スペースは使用できません。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>プロトコル</td><td>プロトコルを選択します。<br>• SMB：プロトコルにSMBを使います。<br>• WebDAV：プロトコルにWebDAVを使います。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>サーバー名称</td><td>プロトコルにWebDAVを選択した場合、サーバー名を入力します。半角英数字と記号（- . / _ : %）で64文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>コマンドポート</td><td>プロトコルにWebDAVを選択した場合、ポート番号を入力します。数字と「-」（ハイフン）を使用して、0から65535までの値を入力できます。初期値は「-」に設定されています。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>ネットワークパス</td><td>保存先のネットワークパスを入力します。半角英数字と記号（* , ? , “ , > , < , | , ; を除く）で128文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>ログインユーザ名</td><td>必要に応じて、保存先にアクセスするためのログインユーザ名を入力します。半角英数字と記号（: , ; * ? " < > | ' を除く）で32文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>パスワード</td><td>必要に応じて、保存先にアクセスするためのパスワードを入力します。半角英数字、記号と半角スペースで32文字まで入力できます。半角スペース1文字のみも可能です。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>パスワードの確認</td><td>確認のためにパスワードを再入力します。</td></tr>
</table>

## ■ テンプレートを管理する

📖 P.27「共有テンプレートを登録・編集する」
📖 P.28「プライベートテンプレートを登録・編集する」

### □ 共有テンプレートを登録・編集する

共有テンプレート登録では、本機の操作パネルに表示される共有テンプレート名やエージェント設定を指定することができます。

**補 足**

共有テンプレートは、アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザが作成・管理します。
アクセス方法は、以下を参照してください。
📖 P.6「アクセスポリシーモード」

**1 ［登録］タブをクリックします。**

共有テンプレートページが表示されます。

**2 登録または編集したい共有テンプレートの名称をクリックします。**

**3 必要に応じて、以下の項目を入力します。**

- **エージェントを選択します。**

このページでは、以下の設定を行うことができます：
📖 P.20「［共有テンプレート］画面/［プライベートテンプレート］画面」

**4 ［保存］をクリックします。**

**5 ［OK］をクリックします。**

## □ プライベートテンプレートを登録・編集する

プライベートテンプレートの登録では、本機の操作パネルに表示されるプライベートテンプレート名やエージェント設定を指定することができます。

**補 足**

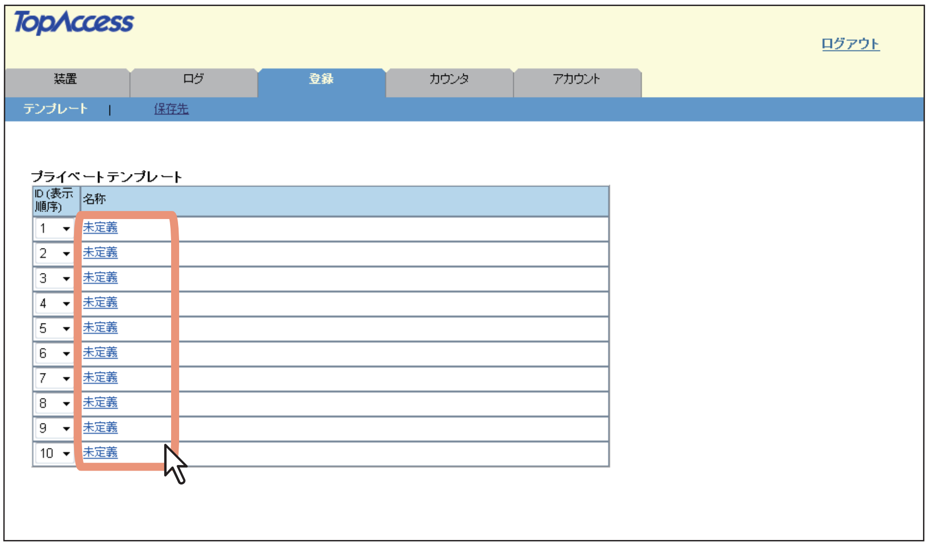
プライベートテンプレートは、アクセスポリシーモードで、ユーザ権限が設定されているユーザが作成・管理します。アクセス方法は、以下を参照してください。

📖 P.6「アクセスポリシーモード」

**1** **［登録］タブをクリックします。**

プライベートテンプレートページが表示されます。

**2** **登録または編集したいプライベートテンプレートの名称をクリックします。**




**3** **必要に応じて、以下の項目を入力します。**

- **エージェントを選択します。**

このページでは、以下の設定を行うことができます：

📖 P.20「［共有テンプレート］画面/［プライベートテンプレート］画面」

**4** **［保存］をクリックします。**

**5** **［OK］をクリックします。**

5

# ［カウンタ］タブ

このセクションでは、TopAccessユーザモードの［カウンタ］タブについて説明します。

**［カウンタ］タブの概要説明 ........................................ 30**
［カウンタ］項目説明一覧 ........................................ 30

# [カウンタ] タブの概要説明

[カウンタ] タブでは、消色、スキャン、および分別（リジェクトまたはリユース）された枚数の確認およびカウンタのエクスポートができます。

📖 P.30 「[カウンタ] 項目説明一覧」

## ■ [カウンタ] 項目説明一覧

📖 P.30 「一般」
📖 P.33 「エクスポート」

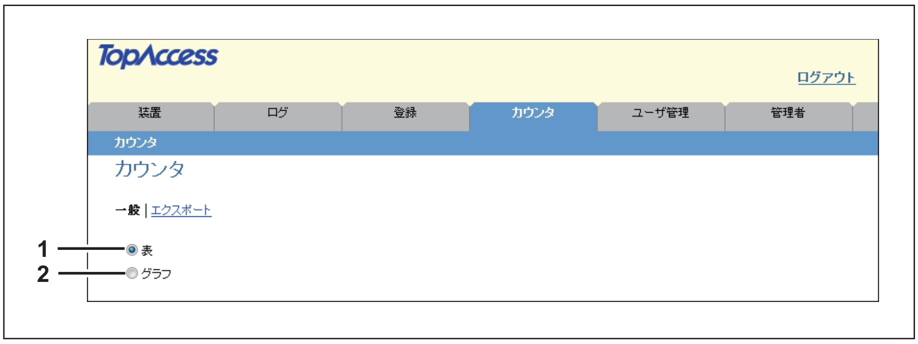
### □ 一般

カウンタを表形式またはグラフ形式で確認できます。

補 足

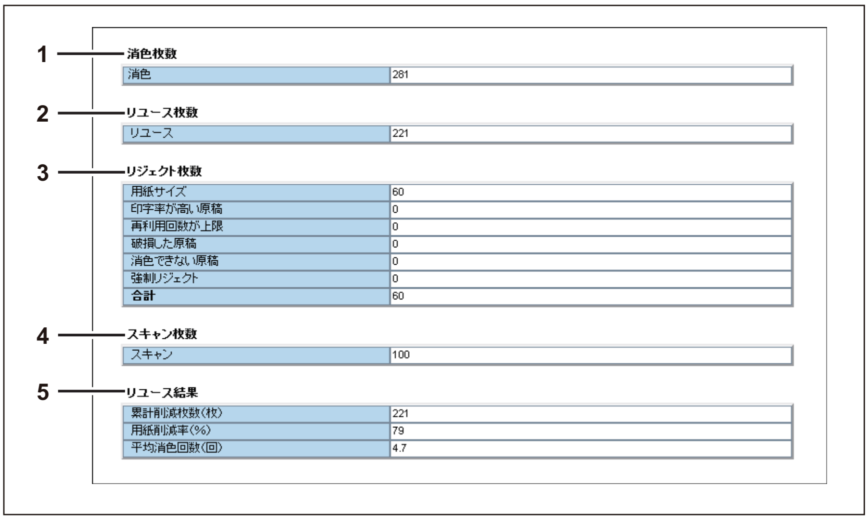
アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスすると、本機のカウンタが表示されます。ゲストユーザがアクセスすると、ゲストユーザのカウンタが表示されます。
アクセス方法は、以下を参照してください。

📖 P.10 「アクセスポリシーモード」



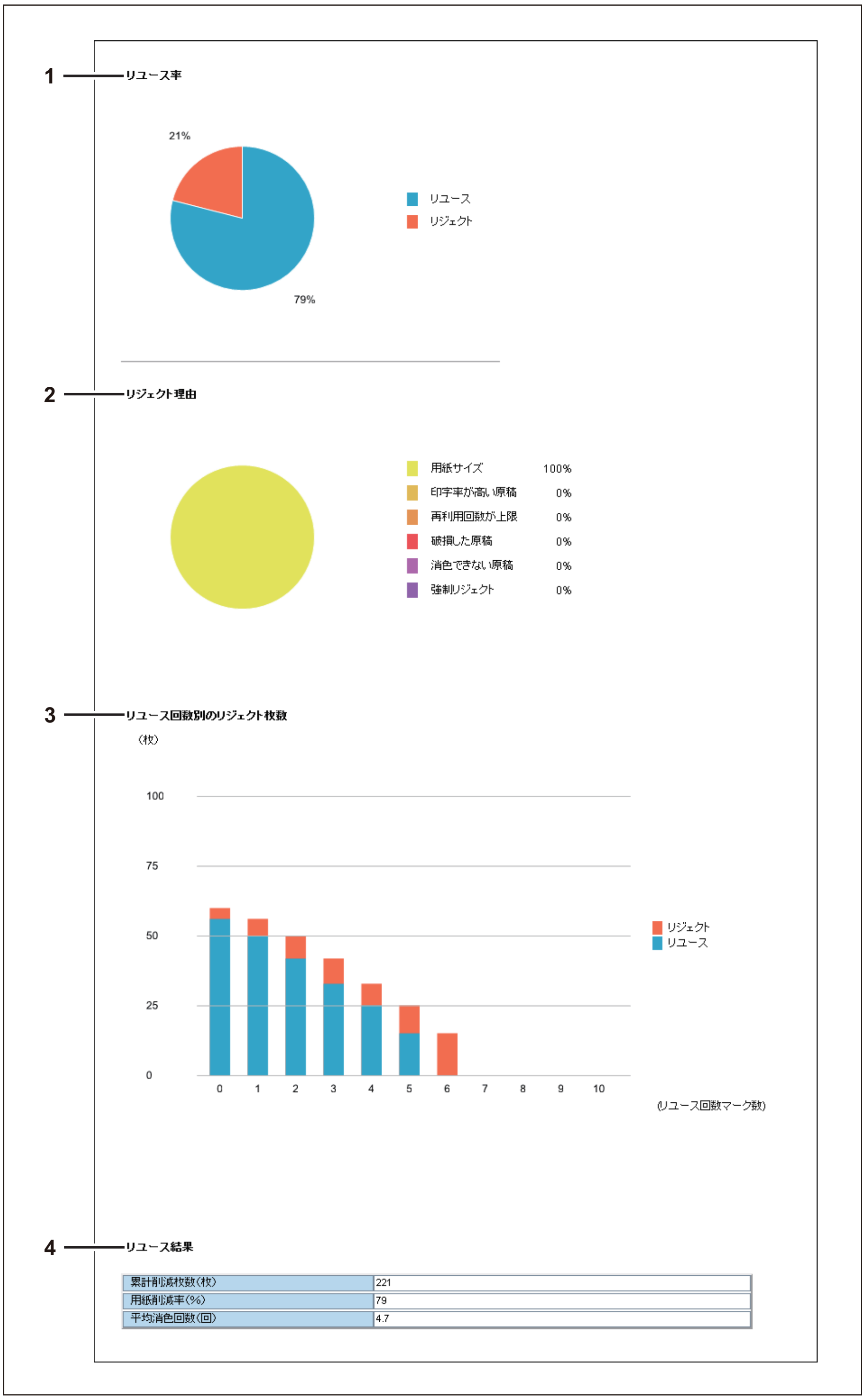

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | 表 | カウンタを表形式で表示します。 |
| 2 | グラフ | カウンタをグラフ形式で表示します。 |

## 表




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 消色枚数 | 消色された用紙の枚数を表示します。 |
| **2** | リユース枚数 | 分別の際、リユース可能と判断された用紙の枚数を表示します。 |
| **3** | リジェクト枚数 | 分別の際、リユースできないと判断された用紙の枚数を表示します。 |
| **4** | スキャン枚数 | スキャンされた用紙の枚数を表示します。 |
| **5** | リユース結果 | リユース結果を表示します。 |
| | **注 意**<br>リユース結果を表示するには、インクカートリッジを装着し、リユース回数カウンタを有効にする必要があります。<br>P.68 「リユース回数カウンタ設定」 | |

## グラフ




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | リユース率 | 用紙のリユース率を円グラフで表示します。 |
| 2 | リジェクト理由 | 用紙のリジェクト理由を円グラフで表示します。 |
| 3 | リユース回数別のリジェクト枚数 | 用紙にスタンプされたリユース回数マークの数ごとのリジェクト枚数を表示します。 |
| | **注 意**<br>リユース回数別のリジェクト枚数を表示するには、インクカートリッジを装着し、リユース回数カウンタを有効にする必要があります。<br>📖 P.68「リユース回数カウンタ設定」 | |

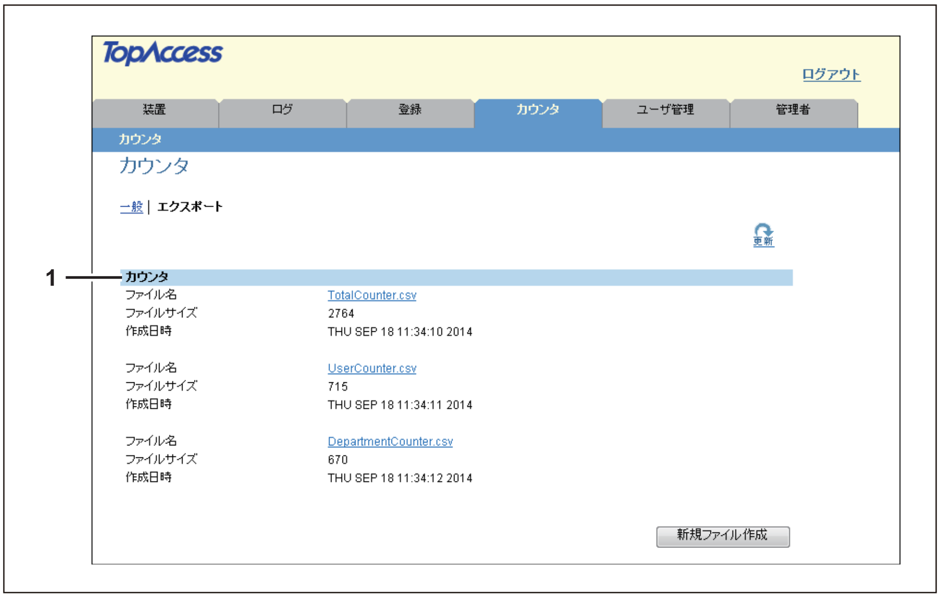
|  | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 4 | リユース結果 | リユース結果を表示します。 |
|  | 注 意<br>リユース結果を表示するには、インクカートリッジを装着し、リユース回数カウンタを有効にする必要があります。<br>P.68「リユース回数カウンタ設定」 |  |

## □ エクスポート

カウンタをファイルとしてエクスポートできます。

補 足

- カウンタのエクスポートページは、［カウンタ］タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。
  アクセス方法は、以下を参照してください。
  P.10「アクセスポリシーモード」
- データはCSV形式でエクスポートされます。




|  | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | カウンタ | カウンタをファイルとしてエクスポート（ダウンロード）できます。<br>**新規ファイル作成**：ファイルを作成します。<br>作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。 |

6

# ［ユーザ管理］タブ

このセクションでは、TopAccessでユーザを管理する方法について説明します。

**［ユーザ管理］タブの概要説明 ...... 36**
［ユーザアカウント］項目説明一覧 ...... 36
［部門管理］項目説明一覧 ...... 40
［エクスポート／インポート］項目説明一覧 ...... 43

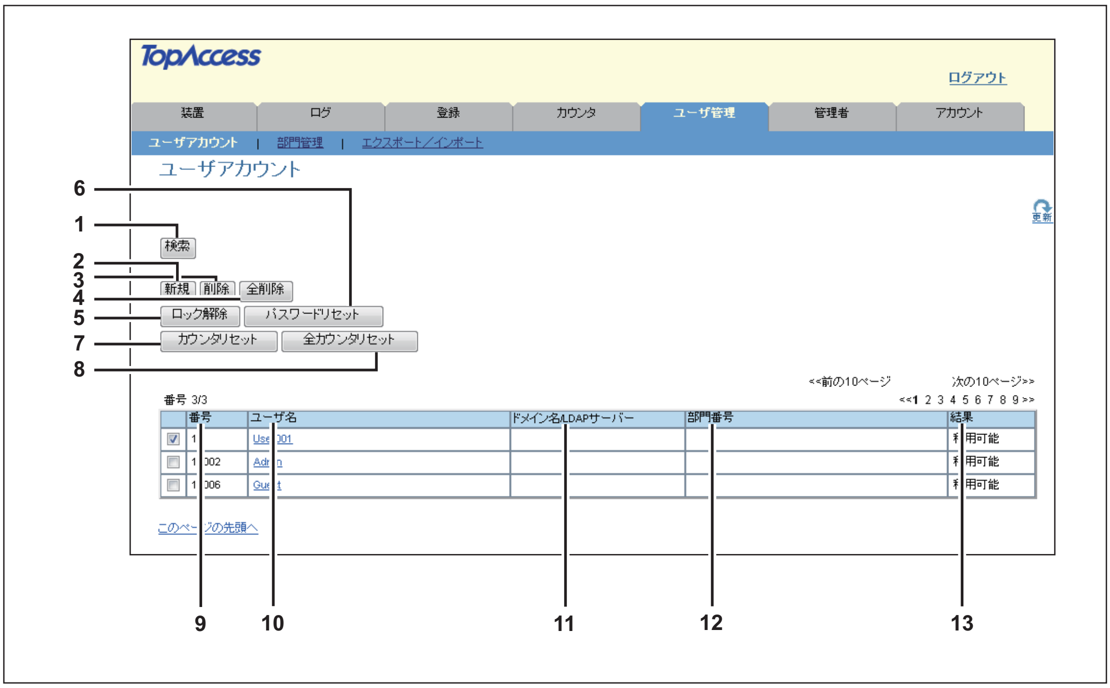
## [ユーザ管理] タブの概要説明

📖 P.36 「[ユーザアカウント] 項目説明一覧」
📖 P.40 「[部門管理] 項目説明一覧」
📖 P.43 「[エクスポート/インポート] 項目説明一覧」

### ■ [ユーザアカウント] 項目説明一覧

アクセスポリシーモードでログインしている場合、ユーザアカウントに関する検索や設定ができます。

📖 P.37 「[ユーザアカウント検索] 画面」
📖 P.37 「[ユーザ情報作成] 画面」
📖 P.38 「[パスワード入力] 画面」
📖 P.39 「[ユーザ情報] 画面」




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | [検索] ボタン | 登録されているユーザを検索します。<br>📖 P.37 「[ユーザアカウント検索] 画面」 |
| 2 | [新規] ボタン | 新しいユーザ情報を登録します。<br>📖 P.37 「[ユーザ情報作成] 画面」 |
| 3 | [削除] ボタン | ユーザアカウント一覧で選択しているユーザを削除します。<br>初期登録ユーザは削除できません。 |
| 4 | [全削除] ボタン | 登録されているすべてのユーザを削除します。(初期登録ユーザ除く) |
| 5 | [ロック解除] ボタン | ユーザアカウント一覧で選択しているユーザがロック状態の場合にロックを解除します。 |
| 6 | [パスワードリセット] ボタン | ユーザアカウント一覧で選択しているユーザのパスワードをリセットします。<br>📖 P.38 「[パスワード入力] 画面」 |
| 7 | [カウンタリセット] ボタン | ユーザアカウント一覧で選択しているユーザに設定されているカウンタをリセットします。 |
| 8 | [全カウンタリセット] ボタン | すべての部門に設定されているカウンタをリセットします。 |
| 9 | 番号 | ユーザの登録番号を表示します。<br>10002と10006は初期登録ユーザに割り当てられています。 |
| 10 | ユーザ名 | ユーザ名を表示します。<br>Adminは初期登録ユーザです。<br>ユーザ名をクリックすると、ユーザ情報を確認することができます。<br>📖 P.39 「[ユーザ情報] 画面」 |
| 11 | ドメイン名/LDAPサーバー | ユーザ情報で登録されているドメイン名またはLDAPサーバーを表示します。 |
| 12 | 部門番号 | ユーザ情報で登録されている部門番号を表示します。 |
| 13 | 状態 | ユーザの状態を表示します。 |

## □ [ユーザアカウント検索] 画面

登録ユーザを検索することができます。
検索する項目をチェックして検索条件を入力または選択します。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | 番号 | 検索するユーザ番号を入力します。<br>1～10000の範囲で検索条件を入力します。 |
| 2 | 部門番号 | 検索する部門番号を選択します。 |
| 3 | ユーザ名 | 検索するユーザ名を入力します。<br>入力した文字列で前方一致検索します。 |
| 4 | ドメイン名/LDAPサーバー | 検索するドメイン名またはLDAPサーバーを入力します。 |
| 5 | [検索] ボタン | 入力/選択した条件でユーザを検索します。 |

## □ [ユーザ情報作成] 画面

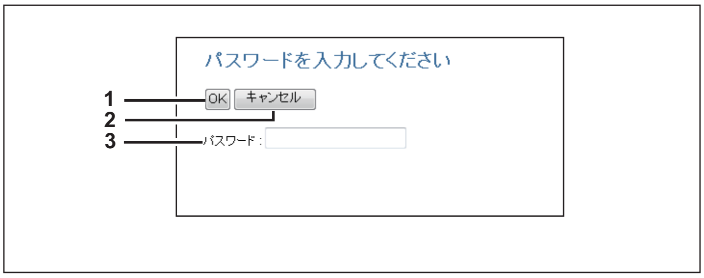
新しいユーザ情報を登録することができます。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | [保存] ボタン | 入力/設定した内容でユーザ情報を保存します。 |
| 2 | [キャンセル] ボタン | ユーザ情報作成を中止します。 |
| 3 | ユーザ名 | ユーザ名を入力します。<br>半角英数字と記号（! # $ % & - , @ ^ _）で128文字まで入力できます。 |
| 4 | ドメイン名/LDAPサーバー | ドメイン名またはLDAPサーバーを選択します。 |

<table>
<tr><th></th><th>項目名</th><th>機能説明</th></tr>
<tr><td>5</td><td>認証方法</td><td>ユーザの認証方法を選択します。<br>• 内部認証：お使いの機器の内部認証を使用します。<br>• Windowsドメイン認証：Windowsドメインで管理しているネットワーク認証を使用します。<br>• LDAP認証：LDAPで管理しているネットワーク認証を使用します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>パスワード</td><td>パスワードを入力します。半角英数字と記号（! # ( ) * + , - . / : ; = ? @ ^ _ ` { | } ~）で64文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">補 足<br>認証方式が「内部認証」の場合は記号「¥」も使用できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>［PINの発行］ボタン</td><td>ユーザのPINコードを発行します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">注 意<br>• PINコードは最大32桁の数字（0-9）です。PINコードの桁数は、［管理者］-［セキュリティ］-［パスワードポリシー］の［自動生成時の桁数］で設定した桁数のみ使用できます。<br>P.77「PIN認証」<br>• WindowsドメインA認証またはLDAP認証でPINコードを使用する場合は、全てのユーザに固有のPINコードを割り当ててください。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>権限</td><td>ユーザの権限を選択します。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>部門番号</td><td>登録されている部門を選択します。<br>P.40「［部門管理］項目説明一覧」</td></tr>
</table>

## □［パスワード入力］画面

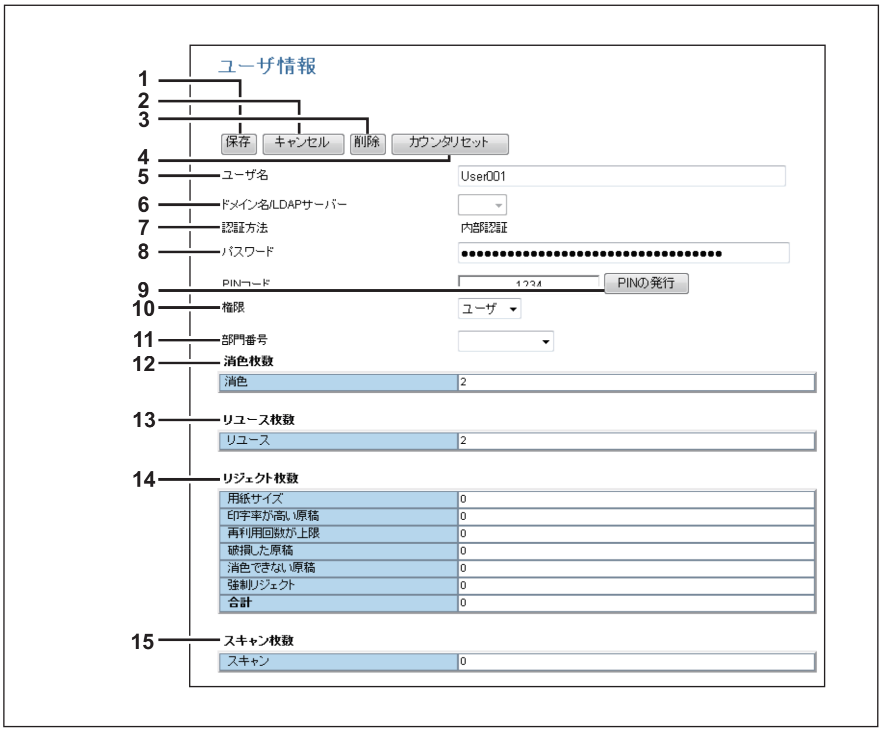
［パスワード入力］画面は、［ユーザアカウント］項目説明一覧でパスワードを変更するユーザのチェックボックスにチェックを付け、［パスワードリセット］ボタンをクリックすると表示されます。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ［OK］ボタン | 入力したパスワードを保存します。 |
| **2** | ［キャンセル］ボタン | パスワードの変更を中止します。 |
| **3** | パスワード | 新しいパスワードを入力します。 |

# □［ユーザ情報］画面

登録されているユーザ情報を更新することができます。

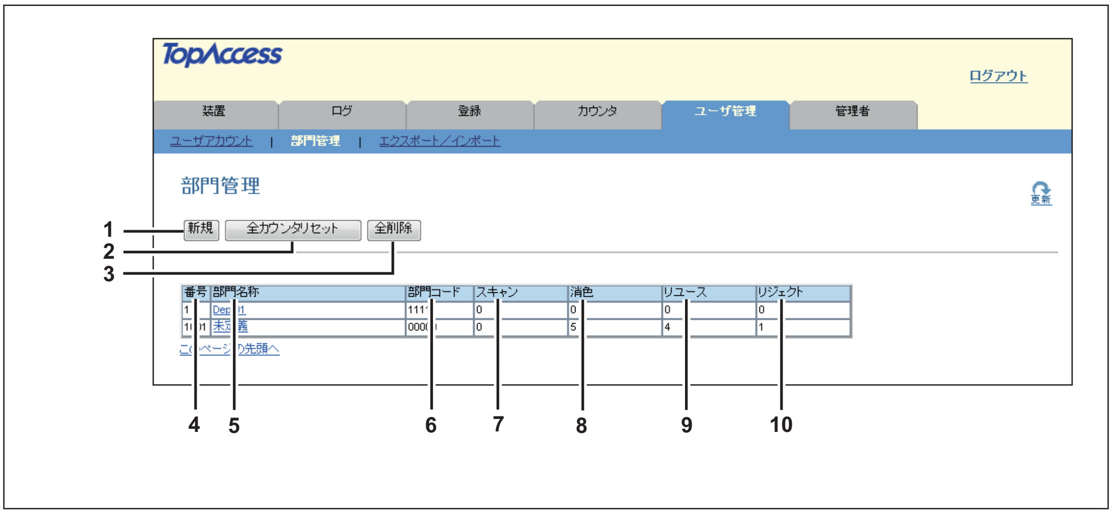



| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［保存］ボタン | 入力/設定した内容でユーザ情報を保存します。 |
| 2 | ［キャンセル］ボタン | ユーザ情報変更を中止します。 |
| 3 | ［削除］ボタン | 表示しているユーザをユーザアカウントから削除します。 |
| 4 | ［カウンタリセット］ボタン | カウンタをリセットします。 |
| 5 | ユーザ名 | ユーザ名を表示します。 |
| | **注 意**<br>内容を修正した場合は、次回ログイン時から有効になります。 | |
| 6 | ドメイン名/LDAPサーバー | 登録されているドメイン名またはLDAPサーバーを表示します。変更する場合は選択します。<br>認証方法が［Windowsドメイン認証］または［LDAP認証］の場合のみ選択できます。 |
| 7 | 認証方法 | ユーザの認証方法を表示します。<br>• **内部認証**：お使いの機器の内部認証を使用します。<br>• **Windowsドメイン認証**：Windowsドメインで管理しているネットワーク認証を使用します。<br>• **LDAP認証**：LDAPで管理しているネットワーク認証を使用します。 |
| 8 | パスワード | パスワードを変更します。 |
| | **注 意**<br>内容を修正した場合は、次回ログイン時から有効になります。 | |
| 9 | ［PINの発行］ボタン | ユーザのPINコードを発行します。 |
| 10 | 権限 | ユーザの権限を選択します。 |
| 11 | 部門番号 | 登録されている部門を表示します。変更する場合は選択します。<br>📖 P.40 「［部門管理］項目説明一覧」 |
| 12 | 消色枚数 | 消色された用紙の枚数を表示します。 |
| 13 | リユース枚数 | 分別の際、リユース可能と判断された用紙の枚数を表示します。 |
| 14 | リジェクト枚数 | 分別の際、リユースできないと判断された用紙の枚数を表示します。 |
| 15 | スキャン枚数 | スキャンされた用紙の枚数を表示します。 |

## ■［部門管理］項目説明一覧

アクセスポリシーモードでログインしている場合、部門管理情報を登録することができます。

📖 P.41 「［部門管理情報］画面」
📖 P.41 「［部門管理情報］（編集）画面」



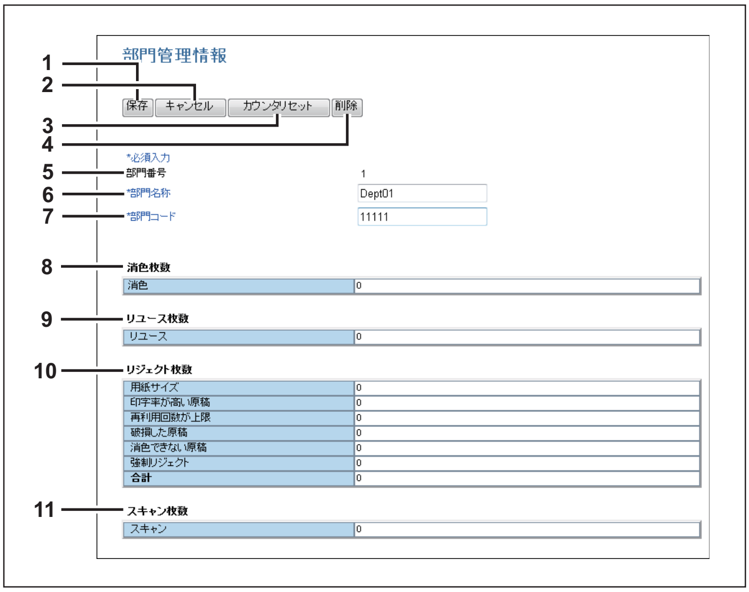

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ［新規］ボタン | 新しい部門を登録します。<br>📖 P.41 「［部門管理情報］画面」 |
| **2** | ［全カウンタリセット］ボタン | 全部門のカウンタをリセットします。 |
| **3** | ［全削除］ボタン | 登録されている部門を削除します。 |
| **4** | 番号 | 部門の登録番号を表示します。 |
| **5** | 部門名称 | 部門名を表示します。<br>部門名をクリックすると、部門管理情報を確認することができます。<br>📖 P.41 「［部門管理情報］（編集）画面」 |
| **6** | 部門コード | 部門コードを表示します。 |
| **7** | スキャン | 部門のスキャン枚数を表示します。 |
| **8** | 消色 | 部門の消色枚数を表示します。 |
| **9** | リユース | 部門のリユース枚数を表示します。 |
| **10** | リジェクト | 部門のリジェクト枚数を表示します。 |

## □ ［部門管理情報］画面

新しい部門を登録することができます。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［保存］ボタン | 入力/設定した内容で部門情報を保存します。 |
| 2 | ［キャンセル］ボタン | 部門情報の作成を中止します。 |
| 3 | 部門名称 | 部門名を入力します。<br>半角文字で40文字、全角文字で20文字まで入力できます。 |
| 4 | 部門コード | 部門コードを入力します。<br>半角数字63文字まで入力できます。 |

## □ ［部門管理情報］（編集）画面




部門管理情報を確認/編集することができます。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［保存］ボタン | 入力/設定した内容で部門情報を保存します。 |
| 2 | ［キャンセル］ボタン | 部門情報の編集を中止します。 |
| 3 | ［カウンタリセット］ボタン | カウンタをリセットします。 |
| 4 | ［削除］ボタン | 表示している部門を削除します。 |
| 5 | 部門番号 | 部門の登録番号を表示します。 |
| 6 | 部門名称 | 部門名を変更する場合は入力します。<br>半角文字で40文字、全角文字で20文字まで入力できます。 |
| | **補 足**<br>以下の記号を使用できます。<br>! # $ % & - . @ ^ _ ' ( ) ` { } ~ | |
| 7 | 部門コード | 部門コードを変更する場合は入力します。<br>半角数字63文字まで入力できます。 |
| 8 | 消色枚数 | 消色された用紙の枚数を表示します。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **9** | リユース枚数 | 分別の際、リユース可能と判断された用紙の枚数を表示します。 |
| **10** | リジェクト枚数 | 分別の際、リユースできないと判断された用紙の枚数を表示します。 |
| **11** | スキャン枚数 | スキャンされた用紙の枚数を表示します。 |

## ■ [エクスポート／インポート] 項目説明一覧

アクセスポリシーモードでログインしている場合、お使いの機器の設定をエクスポート／インポートすることができます。

📖 P.43 「エクスポート」
📖 P.44 「インポート」

### □ エクスポート

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ユーザ情報（全カウンタ） | ユーザ情報（全カウンタ）のエクスポート用のファイルを作成します。<br>[新規ファイル作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。<br>すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日時が表示されます。<br>ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに従ってください。 |
| 2 | 部門情報（全カウンタ） | 部門情報（全カウンタ）のエクスポート用のファイルを作成します。<br>[新規ファイル作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。<br>すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日時が表示されます。<br>ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに従ってください。 |
| | 補 足<br>エクスポートしたファイルは、[インポート] - [部門情報（全カウンタ）] で「部門コード」と「部門カウンタ」をインポートするファイルとして使用できます。<br>📖 P.44 「インポート」 | |

## □ インポート

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ユーザ情報（全カウンタ） | ユーザ情報のファイルをインポートします。<br>［参照］ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、［開く］をクリックします。ファイル名を確認して、［インポート］ボタンをクリックします。 |
| 2 | 部門情報（全カウンタ） | 部門コードのファイルをインポートします。<br>［参照］ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、［開く］をクリックします。インポート方法を［上書き］、［追記］、［追加とカウンタクリア］から選択してから、［インポート］ボタンをクリックします |

# 7

# [管理者] タブ

このセクションでは、TopAccessのアクセスポリシーモードから、機器の設定やネットワーク設定を行うことができる管理者機能について説明します。


**[セットアップ] 項目説明一覧 ........ 46**
一般設定 ........ 46
ネットワーク設定 ........ 51
マネジメントスキャン設定 ........ 66
リユース回数カウンタ設定 ........ 68
分別の判断レベル設定 ........ 68
ODCA設定 ........ 69
バージョン ........ 70

**[セキュリティ] 項目説明一覧 ........ 71**
認証 ........ 71
証明書管理 ........ 74
パスワードポリシー ........ 77

**[セキュリティ] 設定／操作方法 ........ 80**
自己証明書を作成する／エクスポートする ........ 80
クライアント証明書の作成／エクスポート ........ 82

**[保守] 項目説明一覧 ........ 84**
インポート ........ 84
エクスポート ........ 85
クローンファイル作成 ........ 86
クローンファイルのインストール ........ 88
LDAPサービス ........ 89
システムアップデート ........ 91
言語設定 ........ 92
再起動 ........ 92

# [セットアップ]項目説明一覧

補 足

[セットアップ]メニューは[管理者]タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。
アクセス方法は、以下を参照してください。
📖 P.10「アクセスポリシーモード」

📖 P.46「一般設定」
📖 P.51「ネットワーク設定」
📖 P.66「マネジメントスキャン設定」
📖 P.68「リユース回数カウンタ設定」
📖 P.68「分別の判断レベル設定」
📖 P.69「ODCA設定」
📖 P.70「バージョン」

## ■ 一般設定

装置情報、節電、日付、時刻やWEB設定などの一般設定をセットアップすることができます。

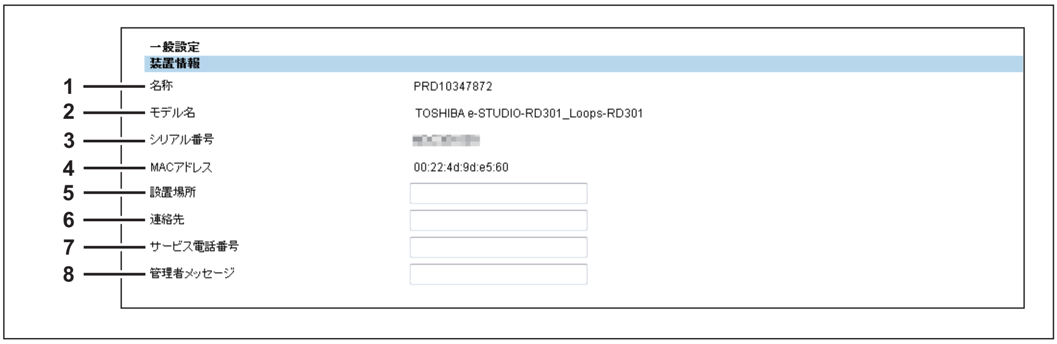
補 足

[一般]サブメニューは、[管理者]タブの[セットアップ]メニューからアクセスできます。
アクセス方法、[セットアップ]メニューについては、以下を参照してください。
📖 P.10「アクセスポリシーモード」
📖 P.46「[セットアップ]項目説明一覧」

📖 P.47「装置情報」
📖 P.47「機器設定」
📖 P.48「節電モード設定」
📖 P.48「日付と時間」
📖 P.49「SNTP設定」
📖 P.49「サマータイム設定」
📖 P.50「WEB設定」

## □ 装置情報

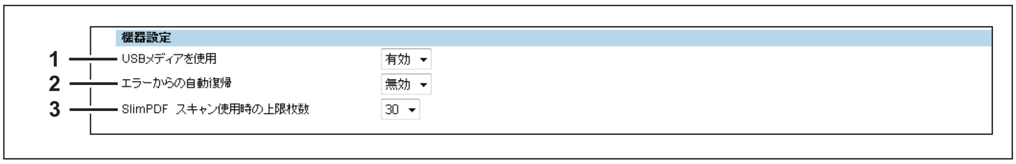
［装置］タブページに表示される装置情報の内容を設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 名称 | 本機の装置名を表示します。 |
| **2** | モデル名 | 本機のモデル名を表示します。 |
| **3** | シリアル番号 | 本機のシリアル番号を表示します。 |
| **4** | MACアドレス | 本機のMACアドレスを表示します。 |
| **5** | 設置場所 | 本機の設置場所を入力します。この情報は、TopAccessの［装置］タブページに表示されます。 |
| **6** | 連絡先 | 本機を管理する担当者の名前を入力します。この情報は、TopAccessの［装置］タブページに表示されます。 |
| **7** | サービス電話番号 | 本機のサービス担当者の電話番号を入力します。この情報は、TopAccessの［装置］タブページに表示されます。 |
| **8** | 管理者メッセージ | ユーザに通知したいメッセージを入力します。この情報は、TopAccessの［装置］タブページに表示されます。 |

## □ 機器設定

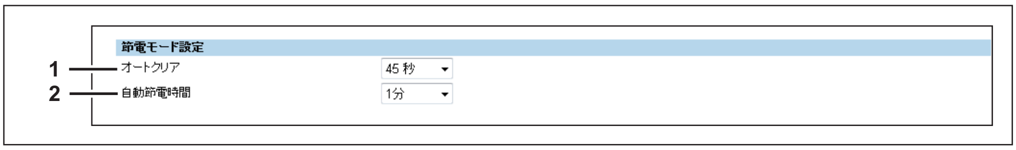
本機の設定を行います。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | USBメディアを使用 | USBメディアへのスキャンデータの保存を有効にするか無効にするかを選択します。 |
| **2** | エラーからの自動復帰 | エラーが起きた後、自動的にジョブを再開するかを選択します。 |
| **3** | SlimPDF　スキャン使用時の上限枚数 | スキャンデータを高圧縮PDFで保存する場合の、1ジョブで使用できる用紙枚数の上限を選択します。初期値は30枚です。 |

## □ 節電モード設定

節電モードの設定を行います。
節電モードの種類や移行手順については、**ユーザーガイド**を参照してください。



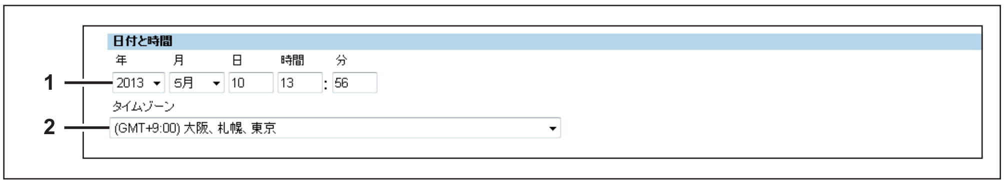

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | オートクリア | 本機のアイドル状態が続いた場合に、液晶画面をデフォルト表示に戻すまでの時間を選択します。 |
| **2** | 自動節電時間 | 本機のアイドル状態が続いた場合に、自動的に低電力モードに移行するまでの時間を選択します。 |

## □ 日付と時間

日付、時間、タイムゾーンを設定します。

補 足

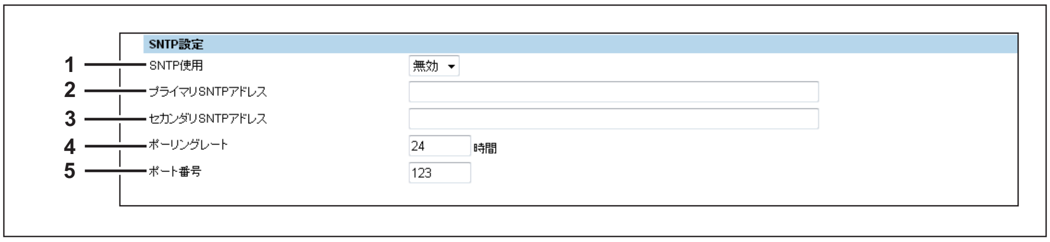
SNTP機能を有効にすると日付と時間の設定が設定できなくなります。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 年/月/日/時間/分 | 年/月の値を各ボックスで選択します。また、日/時間/分の値を各ボックスに入力します。 |
| **2** | タイムゾーン | 本機を設置する場所のタイムゾーンを選択します。 |

## □ SNTP設定

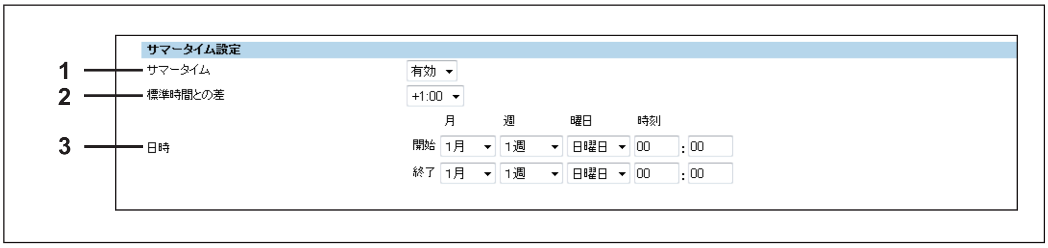
SNTPでは、SNTPサービスを使用して本機の時間設定を同期するかどうかを設定することができます。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | SNTP使用 | SNTP（Simple Network Time Protocol）を有効にするか無効にするかを選択します。有効にした場合は、SNTPサービスを利用して本機の時間設定を自動的に更新することができます。 |
| | 補 足<br>有効にすると［日付と時間の設定］が設定できなくなります。 | |
| 2 | プライマリSNTPアドレス | ［SNTP使用］を有効にした場合に、プライマリSNTPサーバーアドレスのIPアドレスまたはFQDNを入力します。 |
| 3 | セカンダリSNTPアドレス | ［SNTP使用］を有効にした場合に、必要に応じてセカンダリSNTPサーバーアドレスのIPアドレスまたはFQDNを入力します。 |
| | 補 足<br>TCP/IPの設定で［SNTPサーバアドレス取得］オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからSNTPサーバーアドレスを取得することができます。<br>P.52「TCP/IPの設定」 | |
| 4 | ポーリングレート | お使いの機器が時間を確認するために、どのくらいの間隔でSNTPサーバーにアクセスするか指定します。 |
| 5 | ポート番号 | SNTPで使用するポート番号を入力します。通常、「123」を使用します。 |

## □ サマータイム設定

サマータイムへの切り替えに必要な設定をここで行います。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | サマータイム | サマータイムへの切り替えを行う場合には［有効］を選択します。初期値は［無効］です。 |
| 2 | 標準時間との差 | 現地標準時間からの時間差を選択します。0時間を除く-2時間から+2時間までを、30分単位で選択できます。初期値は+1時間です。 |
| 3 | 日時 | サマータイムの適用期間を設定します。<br>• **開始**:サマータイムの開始日時を選択または入力します。<br>• **終了**:サマータイムの終了日時を選択または入力します。 |

補 足

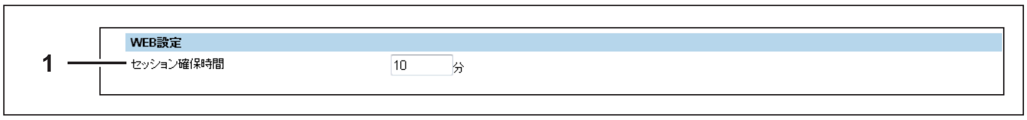
- サマータイムの適用期間中に設定を変更すると、変更内容がそのまま本機の時刻に反映されます。適用期間中に設定を［無効］にした場合は、標準時間に切り替わります。
- 設定した切り替え日時に本機の電源が入っていない場合、次回起動時に切り替えを行います。

注 意

- 切り替え日時の［開始］と［終了］は、本機に設定された時間を基準に設定してください。
  P.48 「日付と時間」
- 切り替え日時の［開始］と［終了］が同月に設定された場合は、自動切り替えを行いません。

## □ WEB設定

TopAccessのセッション確保時間を設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | セッション確保時間 | TopAccessのセッションデータを保持する時間を入力します。5から999の範囲を整数で入力します。初期値は10分です。 |

補 足

アクセスポリシーモードでログインしている場合、操作を行わずにセッション確保時間が経過すると、自動的にログアウトします。

## ■ ネットワーク設定

本機のネットワーク設定をセットアップすることができます。

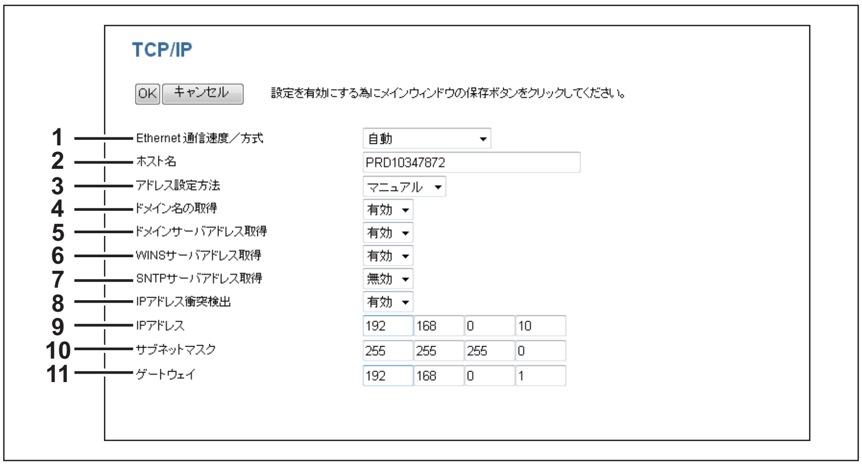
補 足

［ネットワーク］サブメニューは、［管理者］タブの［セットアップ］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［セットアップ］メニューについては、以下を参照してください。
📖 P.10 「アクセスポリシーモード」
📖 P.46 「［セットアップ］項目説明一覧」

📖 P.52 「TCP/IPの設定」
📖 P.54 「フィルタリングの設定」
📖 P.55 「IPv6の設定」
📖 P.56 「Bonjourの設定」
📖 P.57 「DNSの設定」
📖 P.58 「DDNSの設定」
📖 P.60 「SMBの設定」
📖 P.61 「HTTPの設定」
📖 P.62 「SNMPの設定」
📖 P.64 「プロキシ設定」
📖 P.65 「節電モードからの復帰設定」

## □ TCP/IPの設定

TCP/IPを介した通信を有効にするには、TCP/IPプロトコルを設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | Ethernet通信速度／方式 | Ethernet通信速度を選択します。初期値は［自動］に設定されています。 |
| | **注 意**<br>• 特定のEthernet速度を選択する場合は、接続しているネットワークの速度と同じ設定にする必要があります。Ethernetの設定が分からない場合は、［自動］を選択してください。<br>• 設定を行ってもネットワークの接続が不安定な場合は、本機の電源を一度オフにした後、再度オンにしてください。 | |
| 2 | ホスト名 | 本機のホスト名を入力します。半角の英数字、「-」を含め、63文字まで入力できます。先頭の文字と最後の文字には「-」は使用できません。初期値はモデル名に設定されています。 |
| 3 | アドレス設定方法 | IPアドレスの設定方法を選択します。<br>• **マニュアル**：固定の IP アドレスを手動で設定します。このオプションを選択したときは、［IPアドレス］ボックスにIPアドレスを入力します。<br>• **自動**：AutoIP機能またはDHCPを使って、IPアドレスを自動で割り付けます。ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリWINSサーバーアドレス、セカンダリWINSサーバーアドレスを自動的にDHCPサーバーから取得することができます。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能を使用してIPアドレスを割り付けます。<br>• **自動IPなし**：AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使ってIPアドレスを自動で割り付けます。ネットワークがDHCPをサポートしている場合はIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリWINSサーバーアドレス、セカンダリWINSサーバーアドレスを自動的にDHCPサーバーから取得することができます。DHCPサーバーと通信できない場合は、前回使用したIPアドレスをそのまま使用します。 |
| 4 | ドメイン名の取得 | ドメイン名をDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、［有効］に設定します。この設定は［アドレス設定方法］オプションで［自動IPなし］または［自動］が設定されている場合のみ適用されます。初期値は［有効］に設定されています。 |
| | **注 意**<br>DHCPサーバーがドメイン名のデータを持っていない場合は、DDNS設定のドメイン名に手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を［無効］に設定し、DDNS設定で正しいドメイン名を入力してください。<br>P.58 「DDNSの設定」 | |
| 5 | ドメインサーバアドレス取得 | ドメインサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、［有効］に設定します。この設定は［アドレス設定方法］オプションで［自動IPなし］または［自動］が設定されている場合のみ適用されます。初期値は［有効］に設定されています。 |
| | **注 意**<br>DHCPサーバーがプライマリおよびセカンダリDNSサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、DNS設定のプライマリおよびセカンダリDNSサーバーアドレスに手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を［無効］に設定し、DNS設定で正しいプライマリおよびセカンダリDNSサーバーアドレスを入力してください。<br>P.57 「DNSの設定」 | |

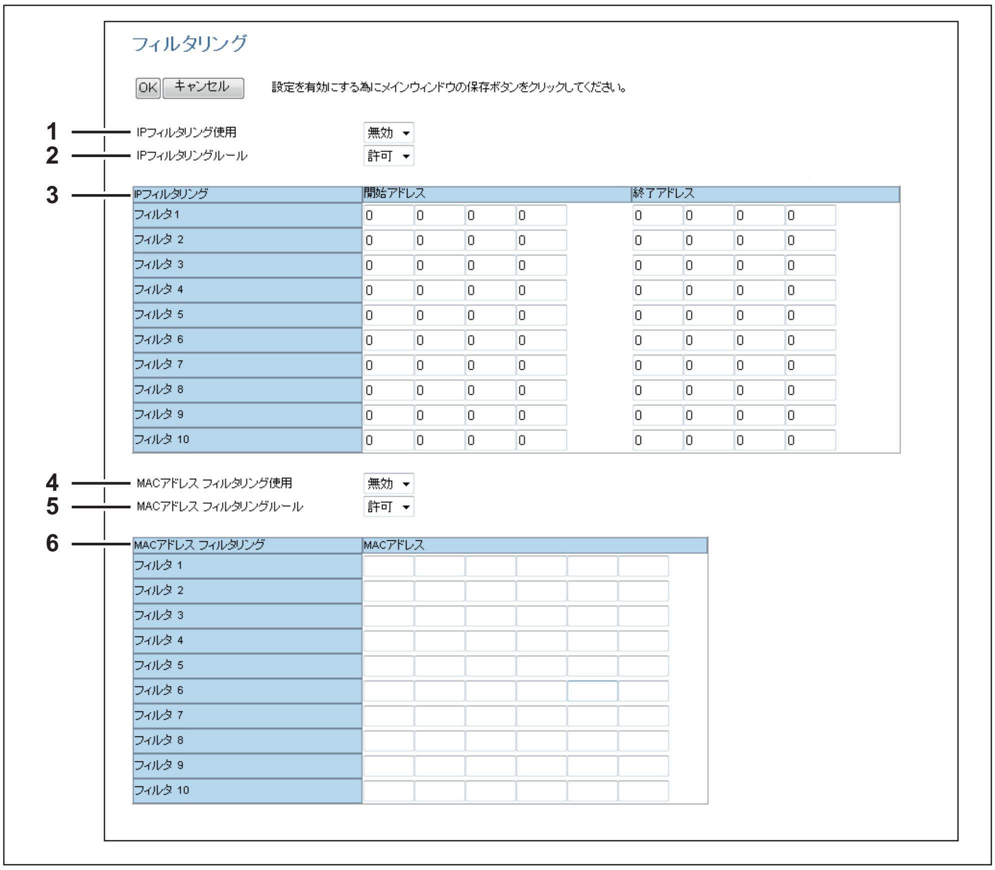
<table>
<tr><th></th><th>項目名</th><th>機能説明</th></tr>
<tr><td>6</td><td>WINSサーバアドレス取得</td><td>WINSサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、［有効］に設定します。この設定は［アドレス設定方法］オプションで［自動IPなし］または［自動］が設定されている場合のみ適用されます。初期値は［有効］に設定されています。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">注 意<br>DHCPサーバーがプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、SMB設定のプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスに手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を［無効］に設定し、SMB設定で正しいプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスを入力してください。<br>📖 P.60 「SMBの設定」</td></tr>
<tr><td>7</td><td>SNTPサーバアドレス取得</td><td>SNTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、［有効］に設定します。この設定は［アドレス設定方法］オプションで［自動IPなし］または［自動］が設定されている場合のみ適用されます。初期値は［無効］に設定されています。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">注 意<br>DHCPサーバーがSNTPサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、SNTP設定のSNTPサーバーアドレスに手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を［無効］に設定し、SNTP設定で正しいSNTPサーバーアドレスを入力してください。<br>📖 P.49 「SNTP設定」</td></tr>
<tr><td>8</td><td>IPアドレス衝突検出</td><td>IPアドレスの衝突を検出するかを設定します。［有効］に設定した場合、衝突を検出すると操作パネル上にメッセージが表示されます。初期値は［有効］に設定されています。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>IPアドレス</td><td>［アドレス設定方法］ボックスで［マニュアル］を選択したときに、お使いの機器に設定する固定のIPアドレスを入力します。第1オクテットは1～126、128～223、第2～第4オクテットは0～255の設定が可能です。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">注 意<br>IPアドレスの設定後、IPアドレスが「0.0.0.0」になった場合、IPアドレスが衝突しています。異なるIPアドレスを設定してください。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>サブネットマスク</td><td>［アドレス設定方法］ボックスで［マニュアル］を選択したときに、必要に応じてサブネットマスクを入力します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。<br>ただし、0.0.0.0 と 255.255.255.255は設定できません。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>ゲートウェイ</td><td>［アドレス設定方法］ボックスで［マニュアル］を選択したときに、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。<br>ただし、0.0.0.0 と 255.255.255.255は設定できません。</td></tr>
</table>

## □ フィルタリングの設定

本機へアクセスするクライアントを制限したい場合は、フィルタリングを設定します。フィルタリングの設定は、IPアドレスまたはMACアドレスで指定することができます。

**注 意**

IPアドレスのフィルタリング設定よりもMACアドレスのフィルタリング設定の方が、より優先的に使用されます。

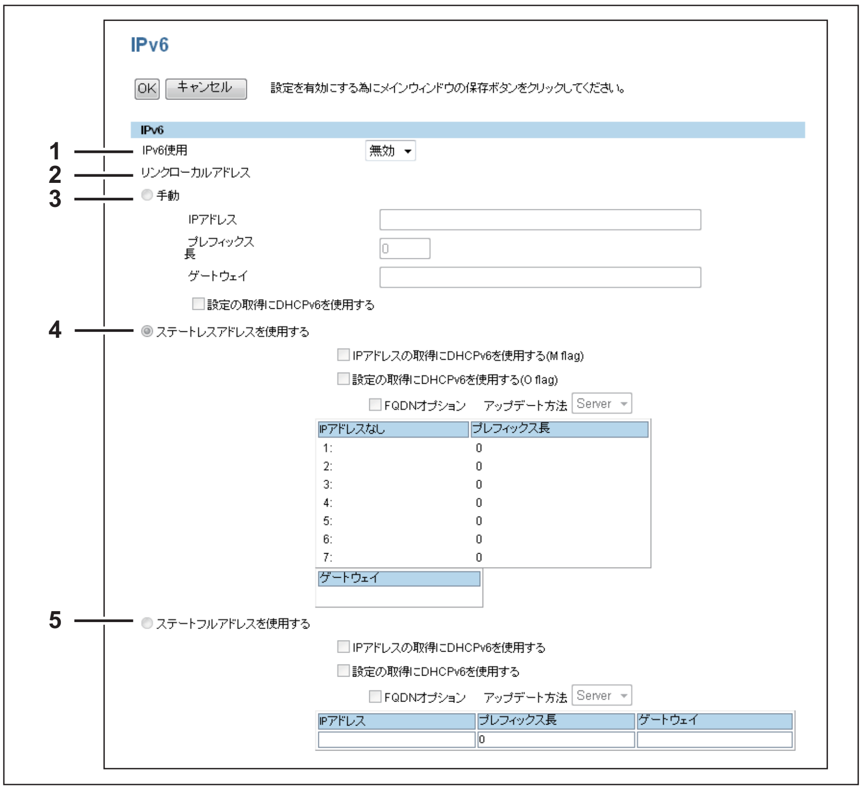



| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | IPフィルタリング使用 | IPアドレスでフィルタリングをする場合、［有効］に設定します。この設定を［有効］にすると、［IPフィルタリングルール］で選択した条件で、［IPフィルタリング］で指定したIPアドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを制限します。初期値は［無効］に設定されています。 |
| | **注 意**<br>IPフィルタリングは、IPv4で構築されたネットワーク環境でのみ有効となります。IPv6のネットワーク環境では使用できません。IPv6の環境でフィルタリングをしたい場合は、MACアドレスでフィルタリングしてください。 | |
| **2** | IPフィルタリングルール | IPフィルタリングの条件を設定します。<br>• **許可**：［IPフィルタリング］で指定したIPアドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを、許可します。<br>• **拒否**：指定したIPアドレスが設定された機器からのアクセスを拒否します。 |
| **3** | IPフィルタリング | IPフィルタリングするクライアントの開始IPアドレスと終了IPアドレスを入力します。最大10個の範囲を指定することができます。 |
| | **注 意**<br>IPアドレスは、IPv4のアドレスのみ指定できます。IPv6のアドレスは指定できません。 | |
| **4** | MACアドレス フィルタリング使用 | MACアドレスでフィルタリングをする場合、［有効］に設定します。この設定を［有効］にすると、［MACアドレス フィルタリングルール］で選択した条件で、［MACアドレス フィルタリング］で指定したMACアドレスが割り当てられたネットワーク上の機器からのアクセスを制限します。初期値は［無効］に設定されています。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **5** | MACアドレス フィルタリングルール | MACアドレスフィルタリングの条件を設定します。<br>• **許可**：［MACアドレス　フィルタリング］で指定したMACアドレスが割り当てられたネットワーク上の機器からのアクセスを許可します。<br>• **拒否**：指定したMACアドレスが割り当てられた機器からのアクセスを拒否します。 |
| **6** | MACアドレス フィルタリング | MACアドレスフィルタリングするクライアントのMACアドレスを入力します。最大10個のアドレスを指定することができます。 |

## □ IPv6の設定

IPv6を介した通信を有効にするには、IPv6プロトコルを設定します。

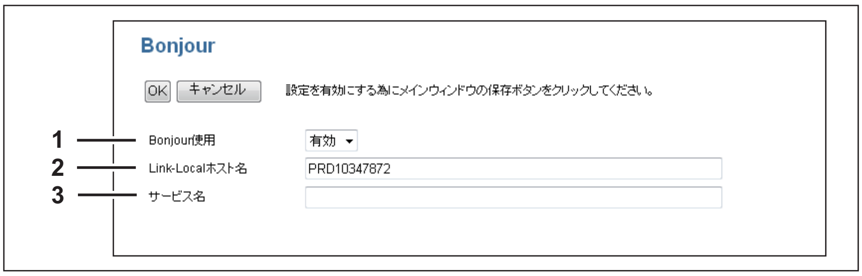



| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | IPv6使用 | IPv6プロトコルの有効／無効を選択します。初期値は［無効］に設定されています。 |
| **2** | リンクローカルアドレス | 自動的に生成されたIPv6用の固有なIPアドレスを表示します。 |
| **3** | 手動 | IPv6アドレスを手動で設定します。設定できるIPv6アドレスは1個です。<br>**IPアドレス**：本機のIPアドレスを入力します。1:0:0:0:0:0:0:0〜ff ff:ff ff:ffff :ff ff :ff ff:ff ff:ffff :ff ffの範囲で設定します。<br>**プレフィックス長**：IPv6のプレフィックス長を入力します。0〜128の範囲で設定します。初期値は「0」に設定されています。<br>**ゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。1:0:0:0:0:0:0:0〜ff ff:ff ff:ffff :ff ff :ff ff:ff ff:ffff :ff ffの範囲で設定します。<br>**設定の取得にDHCPv6を使用する**：DHCPv6サーバーから通知されるDNSサーバーのIPv6アドレスなどのオプション情報を使用します。 |
| | **補 足**<br>• マニュアルを選択した場合、ステートフルアドレスは設定できません。<br>• IPv6アドレスが重複した場合は、DAD（Duplicate Address Detection）機能にて検知し、本機の液晶画面に通知します。 | |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **4** | ステートレスアドレスを使用する | ルーターから通知されるIPv6アドレス（ステートレスアドレス）を自動で取得します。<br>• **IPアドレス取得にDHCPv6を使用する（M flag）**：ステートレスのネットワーク環境で、IPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを取得します。<br>• **設定の取得にDHCPv6を使用する（O flag）**：ステートレスのネットワーク環境で、DHCPv6サーバーから通知されるDNSサーバーのIPv6アドレスなどのオプション情報を使用します。<br>• **FQDNオプション**：IPアドレス取得にDHCPv6を使用するを選択した場合、FQDNオプションを選択できます。FQDNオプションをした場合、アップデート方法をサーバーまたはクライアントから選択します。初期値は［サーバ］に設定されています。<br>• **IPアドレス**：ステートレスアドレスを表示します。最大7個までのIPv6アドレスを保持することができます。 |
| | 補 足<br>本機がMフラグに“0”が設定されているRA（Router Advertisement）をルーターから受信した場合は、DHCPv6機能は動作しません。ルーターの設定でRAのMフラグの設定を“1”に変更した場合は、DHCPv6機能を動作させるために本機の電源を一度オフにした後、再度オンにしてください。 | |
| **5** | ステートフルアドレスを使用する | DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス（ステートフルアドレス）を自動で取得します。<br>• **IPアドレス取得にDHCPv6を使用する**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用します。<br>• **設定の取得にDHCPv6を使用する**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のDNSサーバーのIPv6アドレスなどのオプション情報を使用します。<br>• **FQDNオプション**：IPアドレス取得にDHCPv6を使用するを選択した場合、FQDNオプションを選択できます。FQDNオプションを選択した場合、アップデート方法を［サーバ］または［クライアント］から選択します。初期値は［サーバ］に設定されています。<br>• **IPアドレス**：取得したステートフルアドレス、プレフィックス長、ゲートウェイを表示します。 |

## □ Bonjourの設定

Mac OS XのBonjourネットワークの有効／無効を設定します。



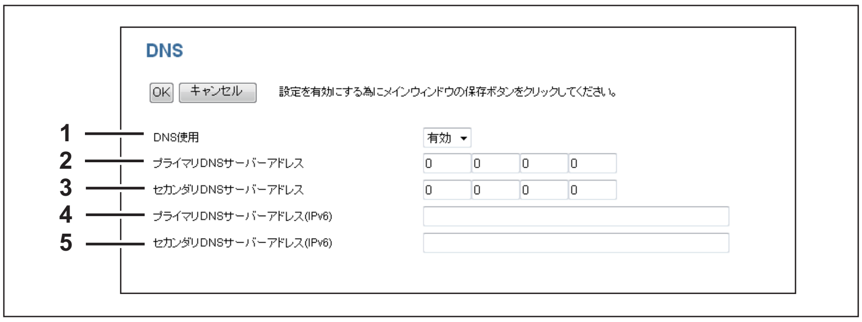

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | Bonjour使用 | Bonjourの有効／無効を選択します。初期値は［有効］に設定されています。 |
| **2** | Link-Localホスト名 | 本機のDNS名を入力します。半角英数字と記号（＝；＃ ￥を除く）で127文字まで入力できます。 |
| **3** | サービス名 | Bonjourネットワークに表示される本機の名称を入力します。半角英数字と記号（＝；＃ ￥を除く）で63文字まで入力できます。 |

## □ DNSの設定

DNSを使用してLDAPサーバーの指定にFQDNを設定したい場合に、DNSサーバーを有効にします。

**補 足**

DNSサービスが有効であり、DNSサーバーがダイナミックDNSサービスをサポートしている場合は、同時にDDNSセッションも設定してください。
📖 P.58 「DDNSの設定」




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | DNS使用 | DNSサーバーの有効／無効を選択します。初期値は［有効］に設定されています。 |
| **2** | プライマリDNSサーバーアドレス | DNSサービスが有効な場合に、プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。 |
| **3** | セカンダリDNSサーバーアドレス | DNSサービスが有効な場合に、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。 |
| **4** | プライマリDNSサーバーアドレス（IPv6） | IPv6でDNSサービスが有効な場合に、プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。1:0:0:0:0:0:0:0～ff ff:ffff :ff ff :ff ff:ffff :ffff :ff ff :ff ffの範囲で設定します。 |
| **5** | セカンダリDNSサーバーアドレス（IPv6） | IPv6でDNSサービスが有効な場合に、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。1:0:0:0:0:0:0:0～ffff :ff ff :ff ff:ffff :ffff :ff ff :ff ff:ffff の範囲で設定します。 |

**補 足**

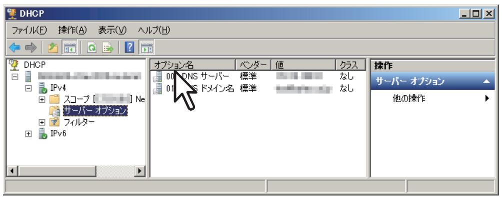
TCP/IPの設定で［ドメインサーバアドレス取得］オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからプライマリDNSサーバーアドレスとセカンダリDNSサーバーアドレスを取得し、適切なIPアドレスが自動的に入力されます。
📖 P.52 「TCP/IPの設定」

## □ DDNSの設定

DDNSでは、DNSサーバーがダイナミックDNSをサポートしている場合に、ダイナミックDNSサービスを有効にすることができます。

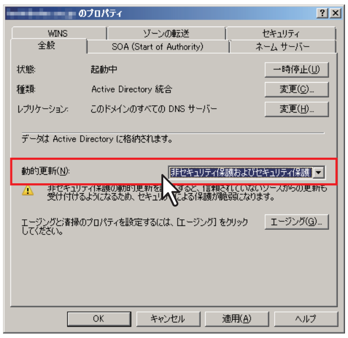
**注 意**

- 本機においてDDNSでセキュリティを使用する場合、WindowsのDNSのレコードを更新するサーバーと本機の時刻の設定がサーバーのアカウントポリシーに記載されている時間以上ずれている場合、セキュリティを使用したDNSの更新に失敗します。DNSサーバーの時刻の確認をして、本機との時刻を合わせてください。
- DDNSを使用している環境で、DHCPを使って本機のIPアドレスを割り当てている場合は、DHCP Server's Scope OptionsまたはServer Optionで「006 DNS Servers」および「015 DNS Domain Name」を有効にします。

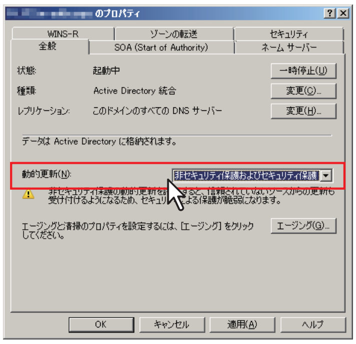



- DDNSを有効にする場合は、前方参照ゾーンおよび逆引き参照ゾーンで、「動的更新」オプションが「非セキュリティ保護およびセキュリティ保護」（Windows Server 2003/Windows Server 2008の場合）に設定されていることを確認してください。
  Windows Server 2003/Windows Server 2008の設定が「非セキュリティ保護およびセキュリティ保護」以外に設定されている場合は、DDNSの設定で、プライマリおよびセカンダリの「ログインネーム」、「パスワード」にログイン可能な設定を行ってください。
  DDNSの設定のプライマリおよびセカンダリの「ログインネーム」、「パスワード」を使用して、DNSサーバーのレコードをアップデートしたくない場合には、本機のホスト名を前方参照ゾーンおよび逆引き参照ゾーンに追加してください。

前方参照ゾーン
（Windows 2008 Server）




逆引き参照ゾーン
（Windows 2008 Server）

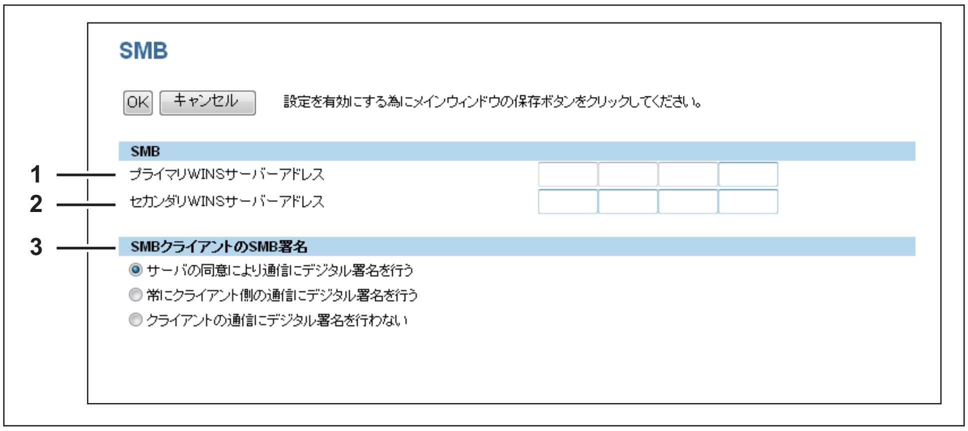


| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | DDNS使用 | ダイナミックDNSサービスの有効／無効を選択します。初期値は［有効］に設定されています。 |
| **2** | ドメイン名 | ダイナミックDNSサービスを使用してDNSサーバーに登録する本機のドメイン名を入力します。半角英数字と記号（＝；＃ ￥を除く）で96文字まで入力できます。 |
| | **補 足**<br>TCP/IPの設定で［ドメイン名の取得］オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからドメイン名を取得することができます。<br>P.52 「TCP/IPの設定」 | |
| **3** | セキュリティ方式 | セキュリティ方式を選択します。<br>• **なし**<br>非セキュアな状態でDDNSアップデートを行います。<br>• **GSS-TSIG**<br>GSS-TSIGを使用してセキュアなDDNSを行います。ログインネームとパスワードが設定可能です。ログインネームとパスワードが設定されていない場合は、セキュアなDDNSは行われません。<br>• **TSIG**<br>TSIGを使用してセキュアなDDNSを行います。キーファイルとプライベートキーファイルをアップロードする必要があります。2つのファイルがアップロードされていない場合は、セキュリティ設定が行われません。<br>• **SIG(0)**<br>SIG(0)を使用してセキュアなDDNSを行います。キーファイルとプライベートキーファイルをアップロードする必要があります。2つのファイルがアップロードされていない場合は、セキュリティ設定が行われません。 |
| **4** | プライマリログインネーム | セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、プライマリログインネームを指定します。半角英数字と記号（＝；＃ ￥を除く）で128文字まで入力できます。 |
| **5** | プライマリパスワード | セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、プライマリパスワードを指定します。半角英数字と記号（＝；＃ ￥を除く）で128文字まで入力できます。 |
| **6** | セカンダリログインネーム | セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、セカンダリログインネームを指定します。半角英数字と記号（＝；＃ ￥を除く）で128文字まで入力できます。 |
| **7** | セカンダリパスワード | セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、セカンダリパスワードを指定します。半角英数字と記号（＝；＃ ￥を除く）で128文字まで入力できます。 |
| **8** | TSIG/SIG(0)キーファイル | TSIGおよびSIG(0)で使用するキーファイルを、アップロードまたは削除する場合に設定します。<br>アップロードする場合は、［参照］をクリックしキーファイルを指定して、［アップロード］をクリックします。<br>削除する場合は、［削除］をクリックします。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 9 | TSIG/SIG(0) プライベートキーファイル | TSIGおよびSIG（0）で使用するプライベートキーファイルを、アップロードまたは削除する場合に設定します。<br>アップロードする場合は、［参照］をクリックしキーファイルを指定して、［アップロード］をクリックします。<br>削除する場合は、［削除］をクリックします。 |

## □ SMBの設定

SMBでは、Microsoft Windowsネットワークによる本機へのアクセスを有効にします。また、異なるサブネット間のファイル共有をWINSサーバーを使って解決している場合は、WINSサーバーアドレスを指定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | プライマリWINSサーバーアドレス | WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、プライマリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。異なるサブネットからNetBIOS経由でアクセスしたい場合に設定します。 |
| | **補足**<br>TCP/IPの設定で［WINSサーバーアドレス取得］オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスを取得することができます。<br>P.52 「TCP/IPの設定」 | |
| 2 | セカンダリWINSサーバーアドレス | WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、必要に応じてセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。プライマリWINSサーバーが使用できない場合に、セカンダリWINSサーバーが使用されます。 |
| | **補足**<br>TCP/IPの設定で［WINSサーバーアドレス取得］オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスを取得することができます。<br>P.52 「TCP/IPの設定」<br>**注意**<br>［プライマリWINSサーバーアドレス］および［セカンダリWINSサーバーアドレス］に、「0.0.0.0」を入力した場合は、WINSの設定は無効になります。 | |

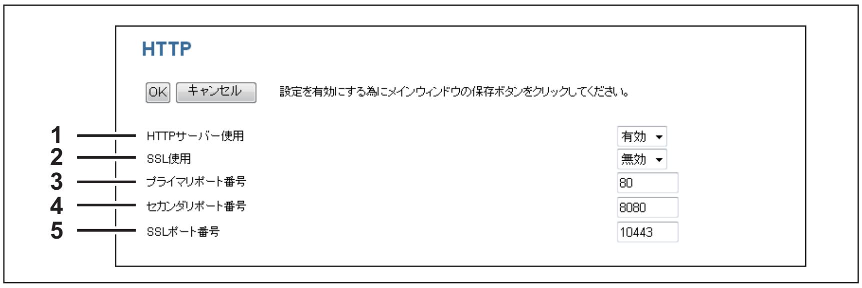
| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **3** | SMBクライアントのSMB署名 | ネットワークフォルダにスキャンデータを保管する場合など、本機からSMBサーバーにアクセスする際に、SMB署名を使用するかどうかを設定します。<br>• **サーバの同意により通信にデジタル署名を行う**：通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合のみ、デジタル署名を使ってSMB通信を保護します。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が無効の場合は、デジタル署名を使用せずにSMB通信を行います。<br>• **常にクライアント側の通信にデジタル署名を行う**：常にデジタル署名を使用して SMBサーバーとSMB通信を行います。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が無効の場合は、SMBサーバーと通信することはできません。<br>• **クライアントの通信にデジタル署名を行わない**：デジタル署名を使用せずにSMBサーバーとSMB通信を行います。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合は、SMBサーバーと通信することはできません。 |
| | **注 意**<br>• 通信するSMBサーバーでSMBサーバーのSMB署名の設定がどのように設定されているか分からない場合は、[サーバの同意により通信にデジタル署名を行う] を設定してください。誤ったSMB署名の設定を行うと、SMB通信ができなくなる恐れがあります。<br>• Windows Server 2003/Windows Server 2008では、デフォルトの設定で常にサーバー側の通信にデジタル署名を行うよう設定されています。Windows Server 2003/Windows Server 2008とSMB通信を行う場合は、[サーバの同意により通信にデジタル署名を行う] または [常にクライアント側の通信にデジタル署名を行う] を設定してください。 | |

## □ HTTPの設定

HTTPでは、TopAccessなど、Webベースのサービスを有効にするかを設定します。

**注 意**

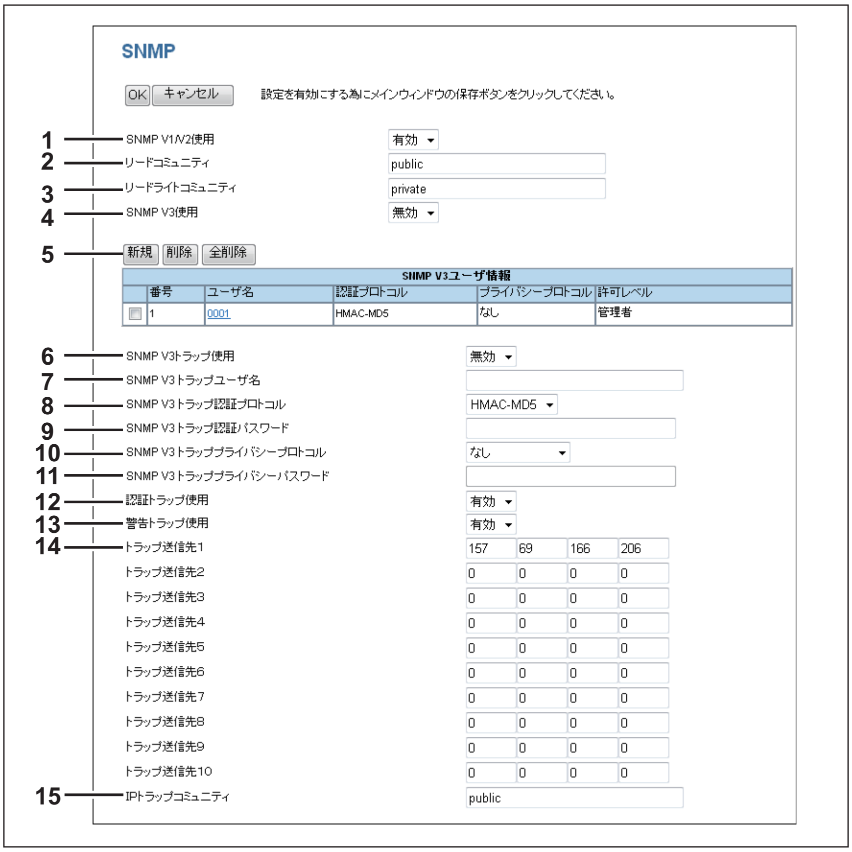
「HTTPサーバー使用」および「SSL使用」を［無効］にすると、TopAccessを起動できなくなります。また、「プライマリポート番号」、「セカンダリポート番号」、「SSLポート番号」を変更後、ポート番号が分からなくなった場合も、TopAccessを起動できなくなります。その場合は、弊社販売店にご連絡いただくか、**ユーザーガイド**を参照し、本機を工場出荷時の状態に戻してください。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | HTTPサーバー使用 | TopAccessなどのWebベースのサービスを有効にするか選択します。初期値は［有効］に設定されています。 |
| **2** | SSL使用 | HTTPで本機にアクセスするときにSSL（Secure Sockets Layer）を使用するか選択します。有効にすると、TopAccessの操作により通信されるデータは暗号化されます。初期値は［無効］に設定されています。 |
| | **注 意**<br>SSLを使用するには、サーバーのOSがSSLをサポートしている必要があります。 | |
| **3** | プライマリポート番号 | HTTPアクセスに使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「80」を使用します。 |
| **4** | セカンダリポート番号 | TopAccessに使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「8080」を使用します。 |
| **5** | SSLポート番号 | SSLに使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「10443」を使用します。 |

## □ SNMPの設定

SNMPネットワークサービスでは、SNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視するSNMPを有効にするか選択します。管理者が本機のMIBに適合したSNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視したい場合は、SNMPおよびSNMPトラップを有効に設定する必要があります。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | SNMP V1/V2使用 | SNMP V1／V2の有効／無効を選択します。初期値は［有効］に設定されています。 |
| **2** | リードコミュニティ | SNMPアクセス用のSNMPリードコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号（=；# ¥を除く）で31文字まで入力できます。初期値は「public」に設定されています。 |
| | **注 意**<br>• セキュリティの観点から、リードコミュニティのコミュニティ名は、工場出荷時のコミュニティ名から変更して使用していただく事を推奨します。<br>• リードコミュニティのコミュニティ名を変更する場合は、お使いのアプリケーションと設定を合わせてください。設定を合わせないと、MIBを使用しているアプリケーション（TopAccess）が使用できなくなります。<br>• リードコミュニティを空欄にした場合、クライアントコンピュータと本機のSNMP通信はできなくなります。 | |
| **3** | リードライトコミュニティ | SNMP通信による読み書きを許可するSNMPリードライトコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号（=；# ¥を除く）で31文字まで入力できます。初期値は「private」に設定されています。 |
| | **注 意**<br>• セキュリティの観点から、リードライトコミュニティのコミュニティ名は、工場出荷時のコミュニティ名から変更して使用していただくことを推奨します。<br>• リードライトコミュニティのコミュニティ名を変更する場合は、お使いのアプリケーションと設定を合わせてください。設定を合わせないと、MIBを使用しているアプリケーション（TopAccess）が使用できなくなります。 | |
| **4** | SNMP V3使用 | SNMP V3の有効／無効を選択します。初期値は［無効］に設定されています。 |
| **5** | SNMPユーザ情報の作成 | 本機に登録されたSNMPユーザ情報がリスト表示されます。SNMPユーザ情報は、登録、編集、削除することができます。 |
| **6** | SNMP V3トラップ使用 | SNMP V3トラップを送信するかを選択します。初期値は［無効］に設定されています。 |
| **7** | SNMP V3トラップユーザ名 | SNMP V3トラップユーザ名を入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **8** | SNMP V3トラップ認証プロトコル | 認証に使用するプロトコルを選択します。<br>• **HMAC-MD5**：HMAC-MD5を使用する場合に選択します。<br>• **HMAC-SHA**：HMAC-SHAを使用する場合に選択します。 |
| **9** | SNMP V3トラップ認証パスワード | 認証パスワードを入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。 |
| **10** | SNMP V3トラッププライバシープロトコル | データの暗号化に使用するプロトコルを選択します。<br>• **なし**：暗号化をしない場合に選択します。<br>• **CBC-DES**：CBC-DESを使用する場合に選択します。<br>• **CFB-AES-128**：AES-128（CFBモード）を使用する場合に選択します。 |
| **11** | SNMP V3トラッププライバシーパスワード | プライバシーパスワードを入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。 |
| **12** | 認証トラップ使用 | 指定したプライベートコミュニティ以外からSNMP V1／V2により本機にアクセスがあった場合に、SNMPトラップを送信するかを選択します。初期値は［有効］に設定されています。 |
| **13** | 警告トラップ使用 | 警告状況が発生したときに、SNMP V1／V2トラップを送信するかを選択します。初期値は［有効］に設定されています。 |
| **14** | トラップ送信先 1〜10 | SNMPトラップを送信するIPアドレスを入力します。アドレスは10か所まで指定することができます。0.0.0.0〜255.255.255.255の範囲で設定します。 |
| **15** | IPトラップコミュニティ | IPトラップ用のトラップコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。初期値は「public」に設定されています。 |

## ［SNMP V3ユーザ情報の作成］画面

SNMP V3ユーザ情報の作成画面の［新規］ボタンをクリックすると表示します。

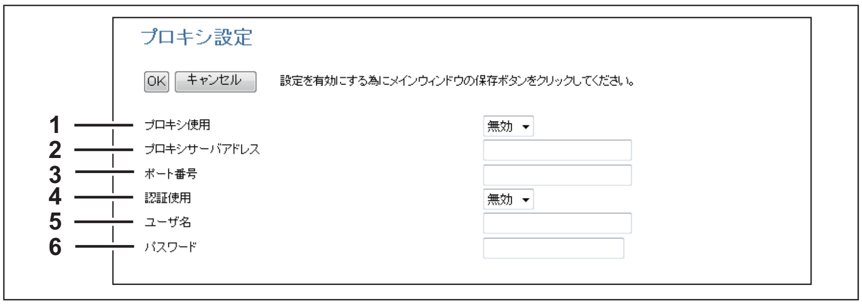
**補 足**

SNMP V3ユーザ情報は、［SNMP V3ユーザ情報の作成］画面の［保存］ボタンをクリックすると瞬時に登録され、ネットワークから登録したユーザで本機にSNMPアクセスが可能になります。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | コンテキスト名 | コンテキスト名が表示されます。 |
| **2** | ユーザ名 | ユーザの名前を入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。 |
| **3** | 認証プロトコル | 認証に使用するプロトコルを選択します。<br>• **HMAC-MD5**：HMAC-MD5を使用する場合に選択します。<br>• **HMAC-SHA**：HMAC-SHAを使用する場合に選択します。 |
| **4** | 認証パスワード | 認証に使用するパスワードを入力します。半角英数字で最大31文字まで入力できます。 |
| **5** | プライバシープロトコル | データの暗号化に使用するプロトコルを選択します。<br>• **なし**：暗号化をしない場合に選択します。<br>• **CBC-DES**：CBC-DESを使用する場合に選択します。<br>• **CFB-AES-128**：AES-128（CFBモード）を使用する場合に選択します。 |
| **6** | パスワード | ユーザ情報のパスワードを入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。 |
| **7** | 許可レベル | SNMP V3のユーザのアクセス許可レベルを選択します。<br>• **一般ユーザ**：データの読み取りのみを許可します。<br>• **管理者**：データの読み取りと書き込みを許可します。 |

## □ プロキシ設定

プロキシを設定します。



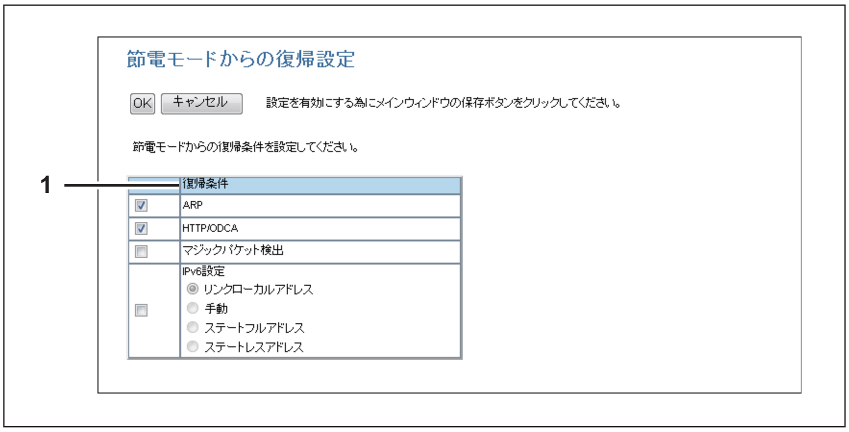

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | プロキシ使用 | プロキシの有効／無効を選択します。初期値は［無効］に設定されています。 |
| **2** | プロキシサーバアドレス | ［プロキシ使用］を有効にした場合に、プロキシサーバーのアドレスを入力します。半角英数字と記号（ - . / _ : %）を入力できます。 |
| **3** | ポート番号 | プロキシサーバーのポート番号を入力します。入力するポート番号は、プロキシサーバーのポート設定によって異なります。1から65535までの値を入力できます。 |
| **4** | 認証使用 | プロキシサーバーへの接続の有効／無効を選択します。初期値は［無効］に設定されています。 |
| **5** | ユーザ名 | 認証を使用してプロキシサーバーに接続する場合に、プロキシサーバーに接続するためのユーザ名を入力します。半角英数字と記号（/ \ :, ; * ? " ＜ ＞ \|を除く）で16文字まで入力できます。 |
| **6** | パスワード | 認証を使用してプロキシサーバーに接続する場合に、プロキシサーバーに接続するためのパスワードを入力します。半角英数字で16文字まで入力できます。 |

## □ 節電モードからの復帰設定

節電モード中のネットワークアクセスについて設定します。
ネットワーク検索により本機を節電モードから復帰させたい場合などに設定してください。

**注 意**

節電モード設定が「有効」に設定されている場合に、復帰設定が有効になります。節電モード設定が「有効」に設定されていない場合は、本機が節電モードに移行しないので、復帰設定は無効になります。
📖 P.48 「節電モード設定」




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 復帰条件 | 本機を節電モードから復帰させる復帰条件を選択します。4つまで選択できます。<br>• **ARP**<br>• **HTTP/ODCA**<br>• **マジックパケット検出**<br>• **IPv6設定** |
| | **注 意**<br>「IPv6設定」は、「IPv6」の設定に対応した項目を選択してください。<br>📖 P.55 「IPv6の設定」 | |

**注 意**

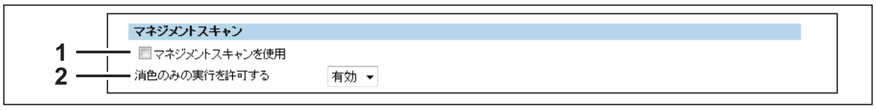
本設定で選択した復帰条件でネットワークアクセスを行っても、本機から応答が来ない場合は、ネットワークアクセスを再試行してください。

## ■ マネジメントスキャン設定

マネジメントスキャンは、テンプレートの設定に関わらず、すべてのジョブで用紙をスキャンする機能です。

### □ マネジメントスキャン

マネジメントスキャンの設定を行います。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | マネジメントスキャンを使用 | マネジメントスキャンを使用する場合、チェックします。 |
| | **注 意**<br>「マネジメントスキャンを使用」をチェックすると、「消色のみの実行を許可する」は使用できなくなります。 | |
| 2 | 消色のみの実行を許可する | 消色のみ実行できるかどうかを設定します。初期値は［有効］に設定されています。 |

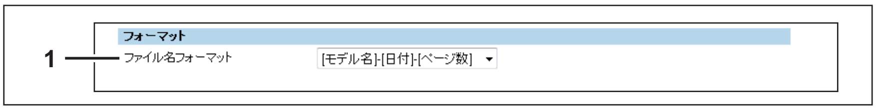
### □ フォルダ名

スキャンデータを保存するフォルダの名前を設定します。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | フォルダの作成 | フォルダに保存するかどうかと、保存する場合のフォルダ名を設定します。<br>• **なし**：フォルダを使用しません。<br>• **モデル名で作成**：本機の名前でフォルダを作成します。<br>• **ユーザ名で作成**：ユーザの名前でフォルダを作成します。 |

### □ フォーマット

ファイル名とファイル形式を設定します。



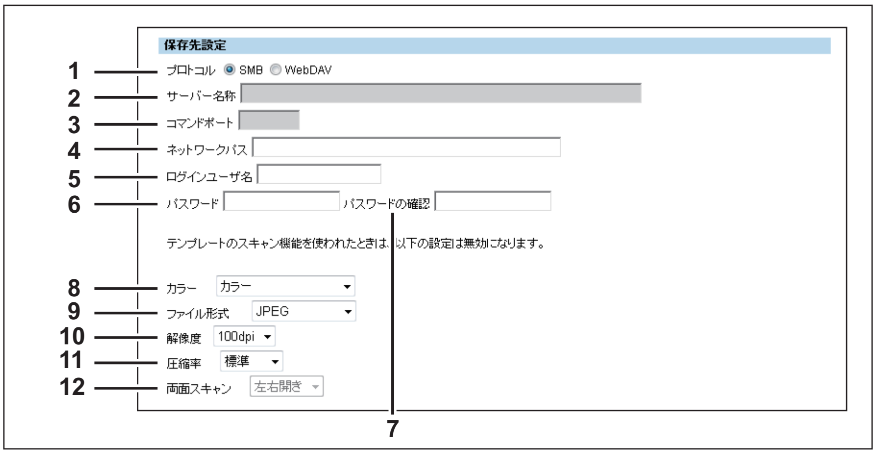

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ファイル名フォーマット | 以下の項目の組み合わせで、ファイル名を設定します。<br>• **モデル名**<br>• **日付**<br>• **ページ数** |

## □ 保存先設定

保存先を設定します。

**注 意**

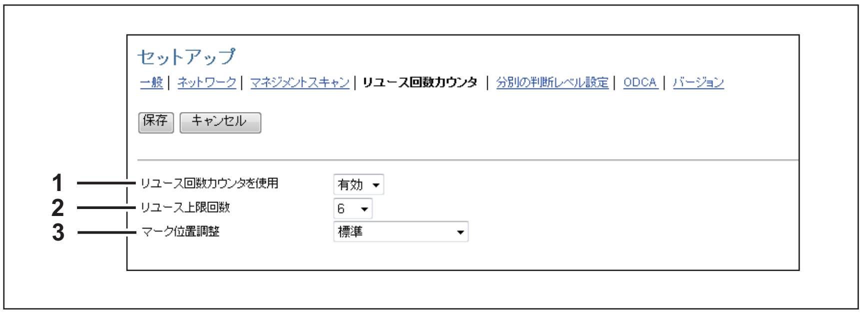
テンプレートのスキャン機能が使用された場合、「カラー」以降の項目の設定は無効になります。




<table>
<tr><th></th><th>項目名</th><th>機能説明</th></tr>
<tr><td>1</td><td>プロトコル</td><td>プロトコルを選択します。<br>• SMB：プロトコルにSMBを使います。<br>• WebDAV：プロトコルにWebDAVを使います。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>サーバー名称</td><td>プロトコルにWebDAVを選択した場合、サーバー名を入力します。半角英数字と記号（- . / _ : %）で64文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>コマンドポート</td><td>プロトコルにWebDAVを選択した場合、ポート番号を入力します。数字と「-」（ハイフン）を使用して、0から65535までの値を入力できます。初期値は「-」に設定されています。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ネットワークパス</td><td>保存先のネットワークパスを入力します。半角英数字と記号（; * ? " < > | を除く）で128文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>ログインユーザ名</td><td>必要に応じて、保存先にアクセスするためのログインユーザ名を入力します。半角英数字と記号（: , ; * ? " < > | ' を除く）で32文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>パスワード</td><td>必要に応じて、保存先にアクセスするためのパスワードを入力します。半角英数字と記号、スペースを含み32文字まで入力できます。スペース1文字のみも可能です。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>パスワードの確認</td><td>確認のためにパスワードを再入力します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>カラー</td><td>スキャンのカラーモードを選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">補 足<br>Loops LP30/LP301で印刷した用紙をモノクロでスキャンする場合は、「モノクロ（ブルー原稿）」を選択することをお勧めします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>ファイル形式</td><td>スキャンファイルの保存形式を選択します。<br>• TIFF（シングル）：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。<br>• PDF（シングル）：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。<br>• JPEG：スキャンイメージを、JPEGファイルとして保存します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">注 意<br>JPEGは、「カラー」で「カラー」または「グレースケール」を選択したときに使用できます。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>解像度</td><td>スキャンの解像度を選択します。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>圧縮率</td><td>スキャンデータの圧縮率を選択します。</td></tr>
<tr><td>12</td><td>両面スキャン</td><td>マネジメントスキャンでは「左右開き」のみ使用できます。</td></tr>
</table>

## ■ リユース回数カウンタ設定

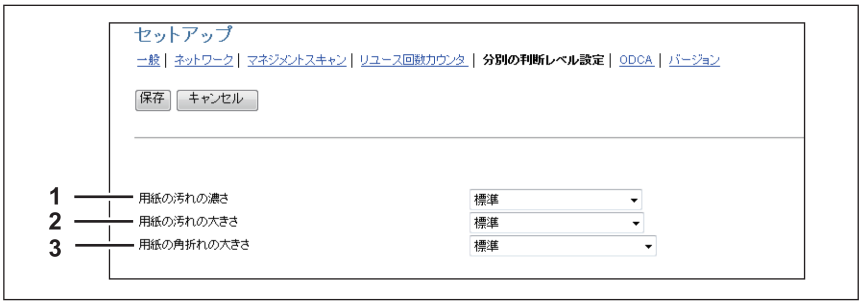
リユース回数カウンタ機能に関する設定を行います。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | リユース回数カウンタを使用 | リユース回数カウント機能を使用するかどうかを設定します。リユース回数カウント機能とは、用紙をリユースするときに用紙の隅（A4横向きの場合、左下または右上）にリユース回数マークをスタンプし、本機でリユース回数を読み取る機能です。リユース回数が一定（初期設定では6回）に達すると、自動的にリジェクトされます。初期値は［無効］に設定されています。有効にする場合は、インクカートリッジを取り付けてください。使用できるインクカートリッジについては、**ユーザーガイド**を参照してください。 |
| | **注意**<br>• リユース回数カウント機能は、消色および分別機能が含まれるテンプレートで使用できます。<br>• リユース回数マークをスタンプできる用紙サイズは、A4です。 | |
| 2 | リユース上限回数 | 用紙にスタンプするリユース回数マークの上限（3～10回）を設定します。初期値は［6］に設定されています。 |
| 3 | マーク位置調整 | 用紙にスタンプするリユース回数マークの位置を設定します。リユース回数マークがLoops LP30/LP301の印刷に重なる場合や、用紙の外にはみ出して欠ける場合に使用してください。 |

## ■ 分別の判断レベル設定

分別する際、用紙をリジェクトする基準を設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | 用紙の汚れの濃さ | リジェクトする用紙の汚れの濃度を3段階から選択します。 |
| 2 | 用紙の汚れの大きさ | リジェクトする用紙の汚れの大きさを3段階から選択します。 |
| 3 | 用紙の角折れの大きさ | 用紙の折れや切れている状態により、リジェクトする基準を3段階から選択します。 |

## ■ ODCA設定

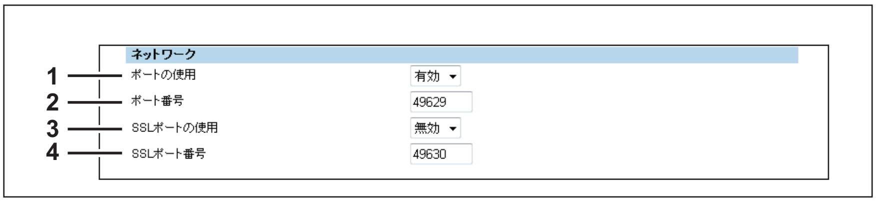
ODCA（Off Device Customization Architecture）は、外部環境のアプリケーションソフトと本機が提供するサービスを連携して使用する場合に設定します。
詳細については、連携するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

**補 足**

［ODCA］サブメニューは、［管理者］タブの［セットアップ］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［セットアップ］メニューについては、以下を参照してください。
P.10「アクセスポリシーモード」
P.46「［セットアップ］項目説明一覧」

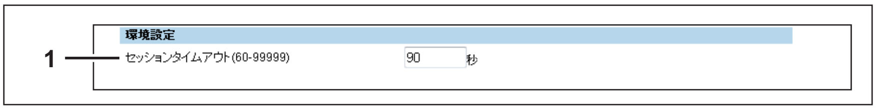
P.69「ネットワーク」
P.69「環境設定」

### □ ネットワーク




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ポートの使用 | 外部環境から接続を受け付けるかどうかを設定します。 |
| 2 | ポート番号 | 外部環境から接続を受け付けるポート番号を設定します。 |
| 3 | SSLポートの使用 | 外部環境から接続する際にSSLを使用するかどうかを設定します。 |
| 4 | SSLポート番号 | 外部環境から接続を受け付けるSSLポート番号を設定します。 |

### □ 環境設定




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | セッションタイムアウト | 接続状態を継続する時間を設定します。 |

## ■ バージョン

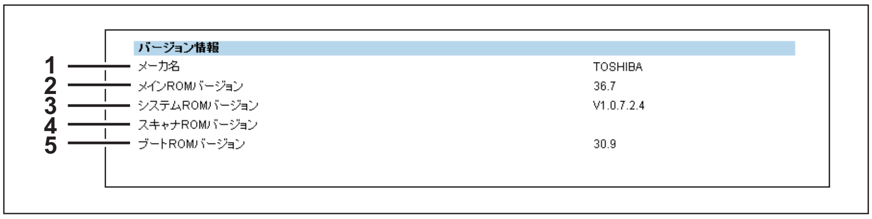
本機のバージョン情報を表示します。

**補 足**

［バージョン］サブメニューは、［管理者］タブの［セットアップ］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［セットアップ］メニューについては、以下を参照してください。


📖 P.10 「アクセスポリシーモード」

📖 P.46 「［セットアップ］項目説明一覧」


| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | メーカ名 | 本機のメーカー名を表示します。 |
| **2** | メインROMバージョン | 本機のメインROMのバージョンを表示します。 |
| **3** | システムROMバージョン | 本機のシステムROMのバージョンを表示します。 |
| **4** | スキャナROMバージョン | 本機のスキャナROMのバージョンを表示します。 |
| **5** | ブートROMバージョン | 本機のブートROMのバージョンを表示します。 |

# [セキュリティ] 項目説明一覧

**補 足**

[セキュリティ] メニューは [管理者] タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。
アクセス方法は、以下を参照してください。
📖 P.10 「アクセスポリシーモード」

📖 P.71 「認証」
📖 P.74 「証明書管理」
📖 P.77 「パスワードポリシー」

## ■ 認証

お使いの機器の認証機能を利用して、それぞれの操作を制限することができます。

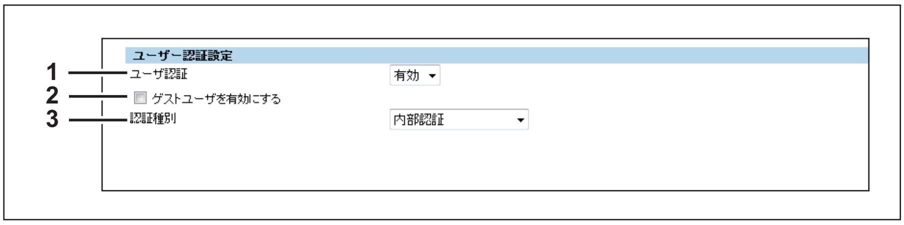
**補 足**

[認証] サブメニューは、[管理者] タブの [セキュリティ] メニューからアクセスできます。
アクセス方法、[セキュリティ] メニューについては、以下を参照してください。
📖 P.10 「アクセスポリシーモード」
📖 P.71 「[セキュリティ] 項目説明一覧」

📖 P.71 「ユーザー認証設定」

### □ ユーザー認証設定

お使いの機器にアクセスするユーザの認証について設定できます。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ユーザ認証 | ユーザ認証を有効にするかしないかを設定します。初期値は [無効] に設定されています。 |
| **2** | ゲストユーザを有効にする | ゲストユーザの操作を有効にします。 |
| **3** | 認証種別 | 認証方法を選択します。<br>• **内部認証**:<br>ネットワークユーザを管理するシステムがない環境では、本機の内部認証を使って管理することができます。<br>内部認証を有効にした場合、ユーザは本機に登録されているPINコードを入力すると、操作パネルから操作を行うことができます。<br>• **Windowsドメイン認証**:<br>ネットワークユーザをWindowsドメインで管理しているネットワークでは、Windowsドメイン認証を使って管理することができます。<br>Windowsドメイン認証を有効にし、かつ本機にe-BRIDGE ID Gate (オプション) を装着した場合、ユーザは認証用カードをカード読み取り部にタッチすると、操作パネルから操作を行うことができます。<br>📖 P.72 「Windowsドメイン認証」<br>• **LDAP認証**:<br>ネットワークユーザをLDAPで管理しているネットワークでは、LDAP認証を使って管理することができます。LDAP認証を有効にし、かつ本機にe-BRIDGE ID Gate (オプション) を装着した場合、ユーザは認証用カードをカード読み取り部にタッチすると、操作パネルから操作を行うことができます。<br>📖 P.72 「LDAP認証」 |

## Windowsドメイン認証

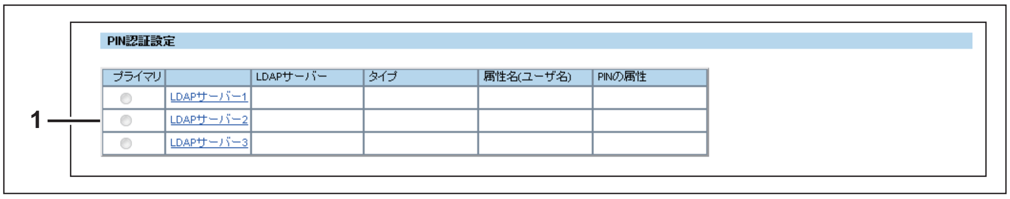
| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | NTドメインサーバを使用 | NTドメインコントローラを使用してドメインを管理している場合はチェックします。 |
| **2** | ドメイン1～ドメイン3 | Windowsドメイン認証に利用するドメインを設定します。<br>ドメインを登録する場合は、ドメイン1～ドメイン3をクリックして、表示される画面で以下の項目を登録します。<br>**ドメイン名**：ドメイン名を入力します。<br>**PDC**：プライマリドメインコントローラ（PDC）のサーバー名またはIPアドレスを入力します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。<br>**BDC**：バックアップドメインコントローラ（BDC）のサーバー名またはIPアドレスを入力します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。 |
| **3** | 接続タイムアウト | PDCおよびBDCのサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力します。1～180秒の範囲で設定します。 |

## LDAP認証

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | LDAPサーバー 1～LDAPサーバー 3 | LDAP認証に利用するLDAPサーバーを選択します。<br>LDAPサーバーを登録する場合は、LDAPサーバー 1～LDAPサーバー 3をクリックして、表示される画面で以下の項目を登録します。<br>**Windowsサーバ**：Windowsサーバーを使用してLDAPを設定している場合に選択します。<br>**その他のLDAPサーバ**：Windowsサーバー以外のOSを使ってLDAPを設定している場合に選択します。Windowsサーバー以外のOSを使っている場合は、LDAPに登録されたユーザ名の属性名を入力します。 |

## □ PIN認証設定

「ユーザー認証設定」の「認証種別」で「Windowsドメイン認証」または「LDAP認証」を設定した場合、PIN認証で利用するLDAPサーバーを選択します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | LDAPサーバー 1～LDAPサーバー 3 | LDAPサーバーを登録する場合は、LDAPサーバー 1～LDAPサーバー 3をクリックして、表示される画面で以下の項目を登録します。<br>**Windowsサーバ**：Windowsサーバーを使用してLDAPを設定している場合に選択します。LDAPに登録されたPINの属性名を入力します。<br>**その他のLDAPサーバ**：Windowsサーバー以外のOSを使ってLDAPを設定している場合に選択します。Windowsサーバー以外のOSを使っている場合は、LDAPに登録されたユーザ名の属性名およびPINの属性名を入力します。 |

## ■ 証明書管理

デバイス証明、クライアント証明の管理ができます。

補 足

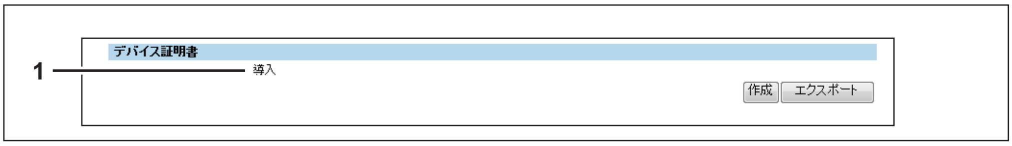
［証明書管理］サブメニューは、［管理者］タブの［セキュリティ］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［セキュリティ］メニューについては、以下を参照してください。

📖 P.10 「アクセスポリシーモード」
📖 P.71 「［セキュリティ］項目説明一覧」

📖 P.74 「デバイス証明書」
📖 P.76 「クライアント証明書」

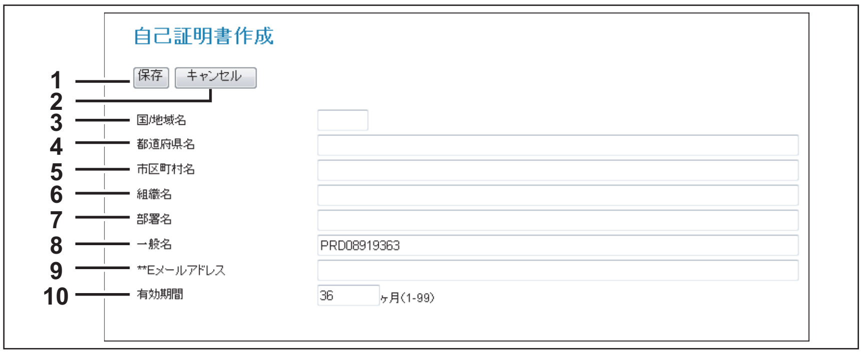
### □ デバイス証明書

SSLを利用した暗号化通信を行うときのデバイス証明書の設定を行います。



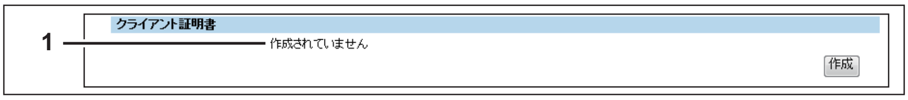

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | デバイス証明書 | 本機からSSLを利用した暗号化通信の証明書を作成します。<br>**［作成］ボタン**：［自己証明書作成］画面が表示され、証明書に必要な項目を設定して、自己証明書を作成します。<br>📖 P.75 「［自己証明書作成］画面」<br>**［エクスポート］ボタン**：作成した自己証明書をエクスポートします。 |

## ［自己証明書作成］画面



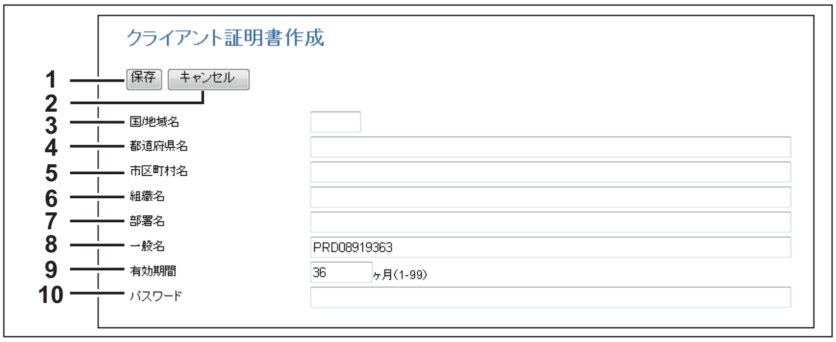

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ［保存］ボタン | 自己証明書を保存します。 |
| **2** | ［キャンセル］ボタン | 作成を中止します。 |
| **3** | 国/地域名 | 半角英字2文字で国名または地域名を入力します。(例：JP) |
| **4** | 都道府県名 | 半角英数字と記号で都道府県名を入力します。最大128文字まで入力できます。 |
| **5** | 市区町村名 | 半角英数字と記号で市区町村名を入力します。最大128文字まで入力できます。 |
| **6** | 組織名 | 半角英数字と記号で組織名を入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| **7** | 部署名 | 半角英数字と記号で部署名を入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| **8** | 一般名 | 半角英数字と記号で本機のFQDNまたはIPアドレスを名前として入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| **9** | Eメールアドレス | 半角英数字と記号でEメールアドレスを入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| **10** | 有効期間 | 自己証明書の有効月数を入力します。 |

## □ クライアント証明書




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | クライアント証明書 | クライアントの証明書を作成します。<br>**[作成] ボタン**：[クライアント証明書作成] 画面が表示され、証明書に必要な項目を設定して、クライアント証明書を作成します。<br>📖 P.76 「[クライアント証明書作成] 画面」 |

### [クライアント証明書作成] 画面




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | [保存] ボタン | クライアント証明書を保存します。 |
| 2 | [キャンセル] ボタン | 作成を中止します。 |
| 3 | 国/地域名 | 半角英字2文字で国名または地域名を入力します。(例：JP) |
| 4 | 都道府県名 | 半角英数字と記号で都道府県名を入力します。最大128文字まで入力できます。 |
| 5 | 市区町村名 | 半角英数字と記号で市区町村名を入力します。最大128文字まで入力できます。 |
| 6 | 組織名 | 半角英数字と記号で組織名を入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| 7 | 部署名 | 半角英数字と記号で部署名を入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| 8 | 一般名 | 半角英数字と記号でクライアントコンピュータのFQDNまたはIPアドレスを名前として入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| 9 | 有効期間 | 自己証明書の有効月数を入力します。 |
| 10 | パスワード | 半角英数字と記号で証明書のパスワードを入力します。最大64文字まで入力できます。 |

## ■ パスワードポリシー

登録するパスワードのポリシーを設定できます。

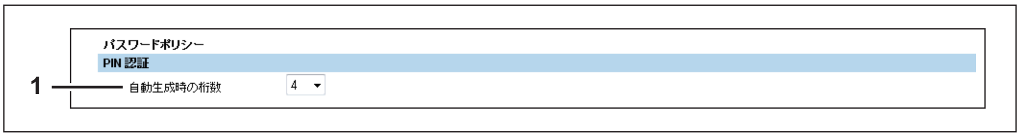
**補 足**

［パスワードポリシー］サブメニューは、［管理者］タブの［セキュリティ］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［セキュリティ］メニューについては、以下を参照してください。
📖 P.10 「アクセスポリシーモード」
📖 P.71 「［セキュリティ］項目説明一覧」

📖 P.77 「PIN認証」
📖 P.77 「ユーザパスワードポリシー」
📖 P.78 「管理者パスワードポリシー」
📖 P.79 「パスワードポリシー（SNMPv3）」

### □ PIN認証

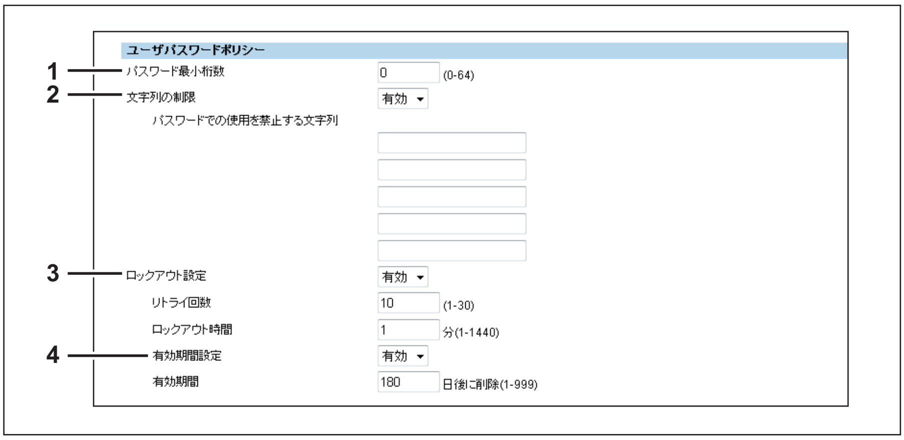
PINコードの桁数を設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | 自動生成時の桁数 | PINコードを自動生成するときの桁数を設定します。1～32の範囲で設定します。初期値は「4」に設定されています。 |

### □ ユーザパスワードポリシー

ユーザとして登録する場合のポリシーを設定します。

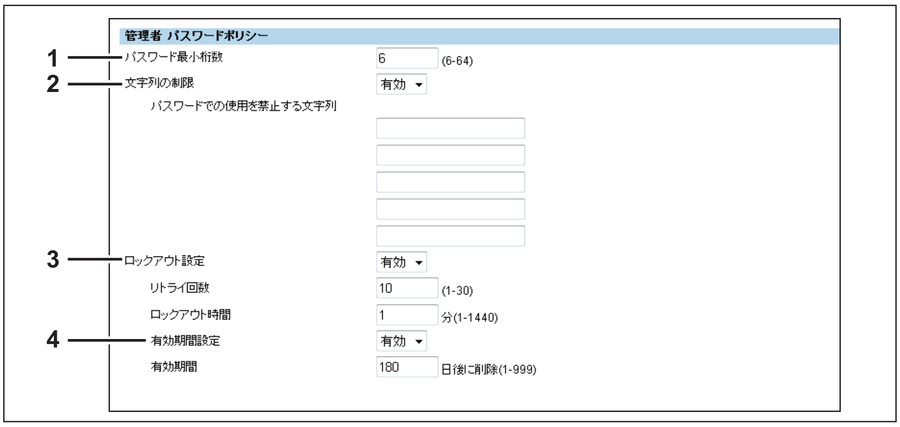



| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | パスワード最小桁数 | パスワードの最小桁数を設定します。0～64の範囲で設定します。初期値は「0」に設定されています。 |
| **2** | 文字列の制限 | パスワードに使用する文字列の登録制限を有効にします。初期値は［無効］に設定されています。<br>**登録制限**：<br>• ユーザ名と同じパスワードは登録できません。<br>• 使用していたパスワードと同じパスワードは登録できません。<br>• 連続または繰り返された文字列のパスワードは登録できません。<br>• 文字列の制限テキストボックスに入力されている文字が含まれているパスワードは登録できません。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **3** | ロックアウト設定 | パスワードを間違えた場合にロックアウト設定を有効にするか設定します。初期値は［有効］に設定されています。<br>**リトライ回数**：何回間違いを許容するか設定します1～30回の範囲で設定します。初期値は「10」に設定されています。<br>**ロックアウト時間**：ロックアウトする時間を設定します。1～1440分の範囲で設定します。初期値は「1」に設定されています。 |
| **4** | 有効期間設定 | パスワードに有効期間を設定する場合に［有効］にします。初期値は［無効］が設定されています。<br>**有効期間**：パスワードの有効期間を設定します。1～999日の範囲で設定します。初期値は「180」に設定されています。 |
| | 補 足<br>有効期間で設定された日数が経過すると、次回ユーザがログインしたときに、パスワード変更を促す画面が表示されます。 | |

## □ 管理者パスワードポリシー

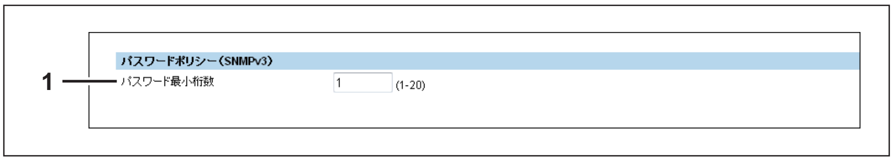
管理者として登録する場合のポリシーを設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | パスワード最小桁数 | パスワードの最小桁数を設定します。6～64の範囲で設定します。初期値は「6」に設定されています。 |
| **2** | 文字列の制限 | パスワードに使用する文字列の登録制限を有効にします。初期値は［無効］に設定されています。<br>**登録制限**：<br>• ユーザ名と同じパスワードは登録できません。<br>• 使用していたパスワードと同じパスワードは登録できません。<br>• 連続または繰り返された文字列のパスワードは登録できません。<br>• 文字列の制限テキストボックスに入力されている文字が含まれているパスワードは登録できません。 |
| **3** | ロックアウト設定 | パスワードを間違えた場合にロックアウト設定を有効にするか設定します。初期値は［有効］に設定されています。<br>**リトライ回数**：何回間違いを許容するか設定します。1～30回の範囲で設定します。初期値は「10」に設定されています。<br>**ロックアウト時間**：ロックアウトする時間を設定します。1～1440分の範囲で設定します。初期値は「1」に設定されています。 |
| | 補 足<br>リトライ回数の変更は、設定を保存した時点で反映されます。リトライ回数の設定を変更したことにより、変更後のリトライ回数に達しているユーザは、ロックアウトされます。また、ロックアウトされたことはログに保存されます。 | |
| **4** | 有効期間設定 | パスワードに有効期間を設定する場合に［有効］にします。初期値は［無効］が設定されています。<br>**有効期間**：パスワードの有効期間を設定します。1～999日の範囲で設定します。初期値は「180」に設定されています。 |
| | 補 足<br>有効期間で設定された日数が経過すると、次回ユーザがログインしたときに、パスワード変更を促す画面が表示されます。 | |

## □ パスワードポリシー（SNMPv3）

SNMPv3のパスワードポリシーを設定します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | パスワード最小桁数 | パスワードの最小桁数を設定します。1～20の範囲で設定します。初期値は「1」に設定されています。 |

# ［セキュリティ］設定／操作方法

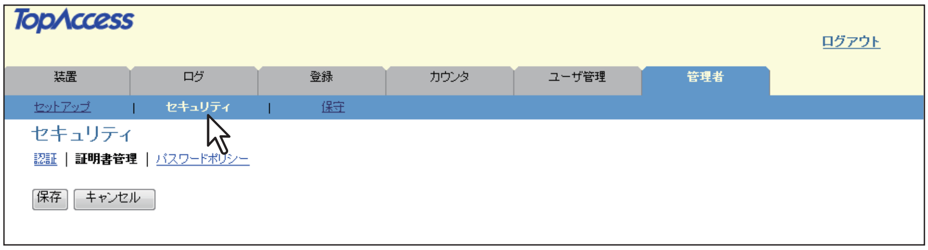
セキュリティの設定では、SSLを使用するときに必要な自己証明書の作成・エクスポートを行うことができます。
📖 P.80 「自己証明書を作成する／エクスポートする」
📖 P.82 「クライアント証明書の作成／エクスポート」

## ■ 自己証明書を作成する／エクスポートする

**1** **TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。**
📖 P.10 「アクセスポリシーモード」

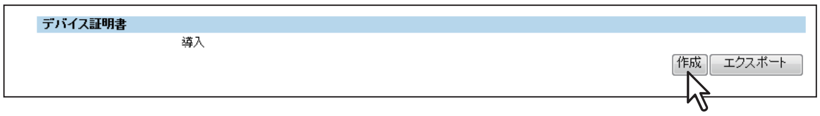
**2** **［管理者］タブをクリックします。**

**3** **［セキュリティ］メニューの［証明書管理］をクリックします。**



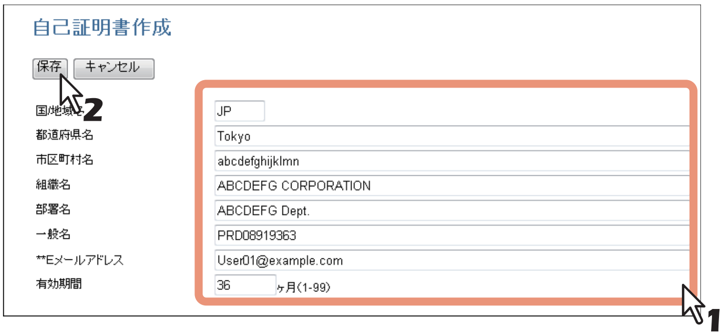

証明書管理ページが表示されます。

**4** **［デバイス証明書］の［作成］をクリックします。**



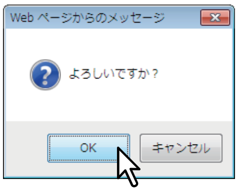

自己証明書作成ページが表示されます。

**5** **以下の項目をすべて入力し、［保存］をクリックします。**

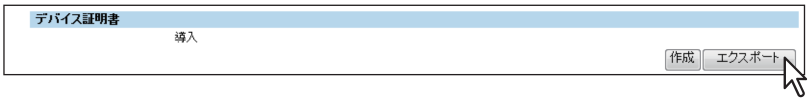



このページでは、以下の設定を行うことができます：
📖 P.75 「［自己証明書作成］画面」

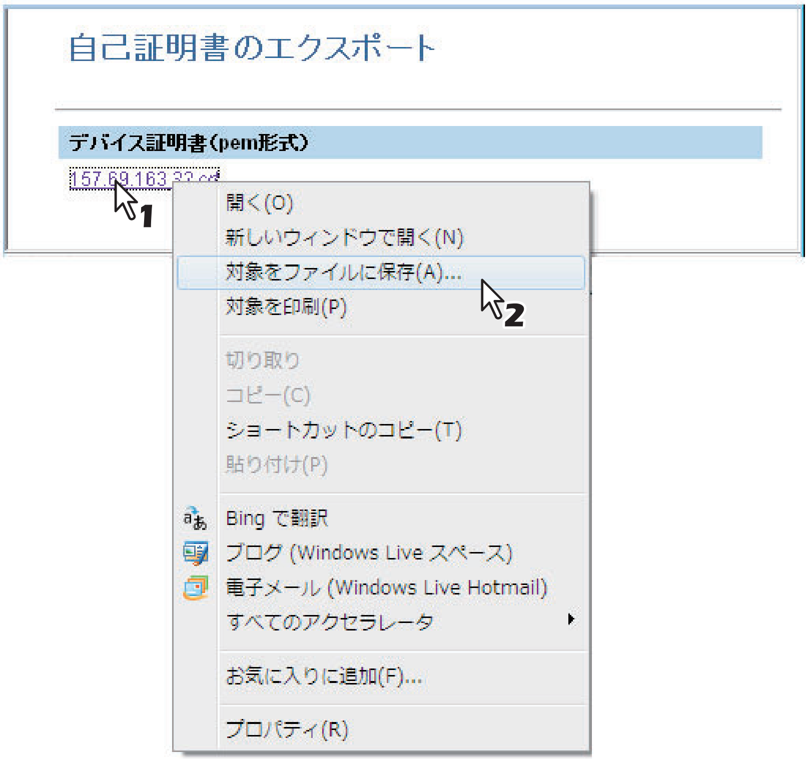
**6** **［OK］をクリックします。**




**7** **自己証明書が作成されます。エクスポートする場合は、［エクスポート］ボタンをクリックします。**

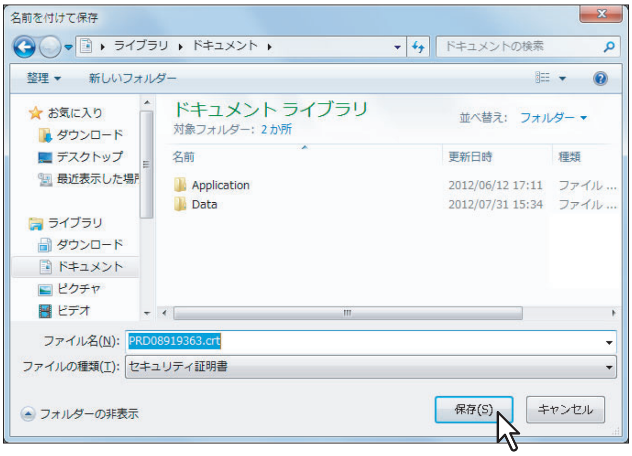


## 8 エクスポートする証明書のファイル名のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存]を選択します。




[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

## 9 保存先を指定し、[保存]をクリックします。




## 10 [証明書管理]サブメニューで[保存]をクリックします。

**補 足**

エクスポートした証明書をクライアントコンピュータにインストールすると、機密性をより高めることができます。

## 11 自己証明書を作成したら、以下の設定でSSLを有効に設定することができます。

P.61 「HTTPの設定」
P.69 「ODCA設定」

7
[管理者]タブ

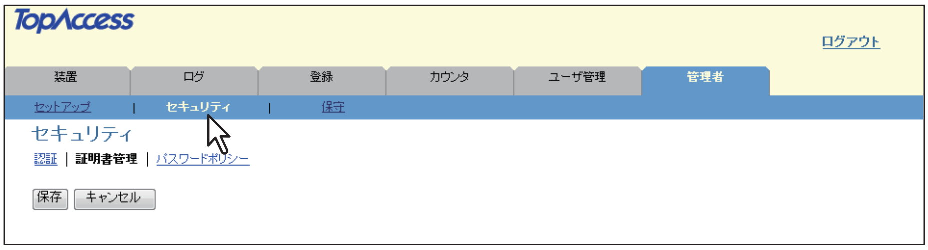
## ■ クライアント証明書の作成／エクスポート

**1** **TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。**

📖 P.10「アクセスポリシーモード」

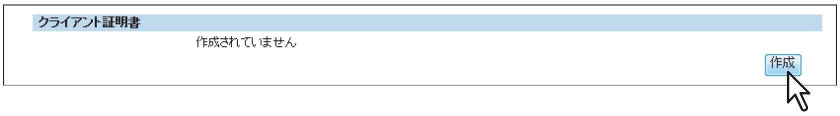
**2** **［管理者］タブをクリックします。**

**3** **［セキュリティ］メニューの［証明書管理］をクリックします。**




証明書管理ページが表示されます。

**4** **［クライアント証明書］の［作成］をクリックします。**



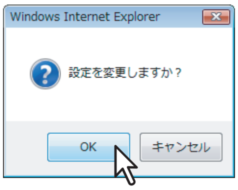

作成クライアント証明書ページが表示されます。

**5** **以下の項目をすべて入力し、［保存］をクリックします。**

このページでは、以下の設定を行うことができます：

📖 P.76「［クライアント証明書作成］画面」

**6** **［OK］をクリックします。**



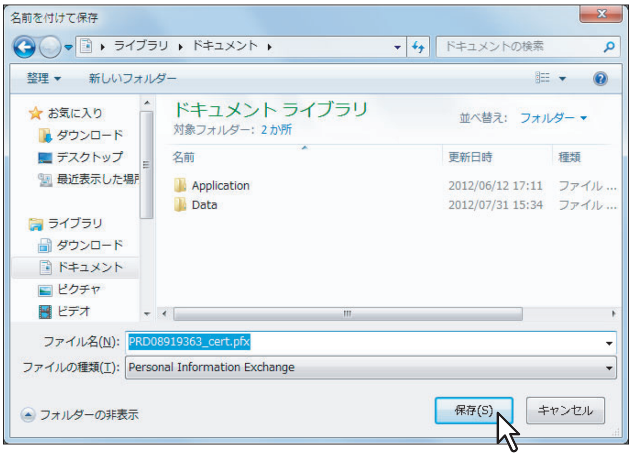
## 7 エクスポートする証明書のファイル名のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存]を選択します。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

**補 足**

クライアント証明書が未導入の場合は、[パスワード] にパスワードを入力し、[作成] をクリックして証明書を作成します。

## 8 保存先を指定し、[保存] をクリックします。




## 9 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

**補 足**

エクスポートした証明書をクライアントコンピュータにインストールすると、機密性をより高めることができます。

# [保守］項目説明一覧

補 足

[保守］メニューは［管理者］タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。
アクセス方法は、以下を参照してください。
P.10 「アクセスポリシーモード」

P.84 「インポート」
P.85 「エクスポート」
P.86 「クローンファイル作成」
P.88 「クローンファイルのインストール」
P.89 「LDAPサービス」
P.91 「システムアップデート」
P.92 「言語設定」
P.92 「再起動」

## ■ インポート

他の機器からエクスポートされたテンプレートをインポートすることができます。

補 足

[インポート］サブメニューは、[管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、[保守］メニューについては、以下を参照してください。
P.10 「アクセスポリシーモード」
P.84 「[保守］項目説明一覧」

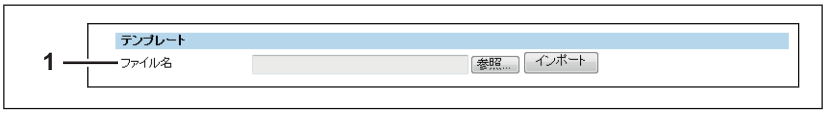
P.84 「テンプレート」
P.85 「複合（テンプレート＋ユーザ名）」

注 意

データをインポートする前に、現在処理中のジョブがないことを確認してください。ジョブがある場合、データをインポートすることができません。それでもデータのインポートに時間がかかる場合は、お使いの機器が節電モードに入ってからデータのインポートを行ってください。

### □ テンプレート

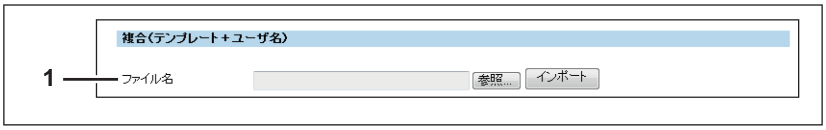
共有テンプレートをインポートします。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ファイル名 | インポートするテンプレートのファイルを選択します。<br>**[参照］ボタン**：テンプレートのファイルを選択します。<br>**[インポート］ボタン**：選択したテンプレートのファイルをインポートします。 |

### □ 複合（テンプレート+ユーザ名）

プライベートテンプレートをインポートします。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ファイル名 | インポートするテンプレートのファイルを選択します。<br>**［参照］ボタン**：テンプレートのファイルを選択します。<br>**［インポート］ボタン**：選択したテンプレートのファイルをインポートします。 |

## ■ エクスポート

テンプレートをエクスポートすることができます。

**補 足**

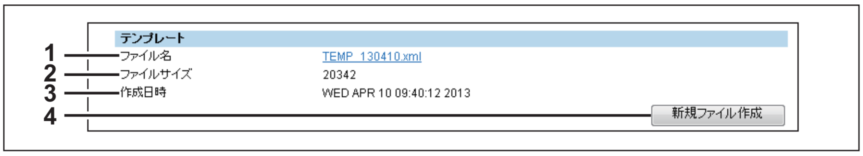
［エクスポート］サブメニューは、［管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［保守］メニューについては、以下を参照してください。

P.10「アクセスポリシーモード」
P.84「［保守］項目説明一覧」

P.85「テンプレート」
P.86「複合（テンプレート＋ユーザ名）」

### □ テンプレート

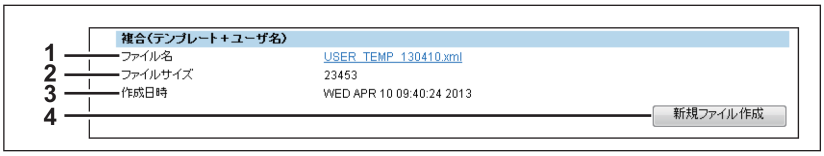
共有テンプレートをエクスポートします。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | ファイル名 | 作成済みのエクスポート用ファイルのファイル名を表示します。<br>ファイル名をクリックするとダウンロードすることができます。 |
| **2** | ファイルサイズ | 作成済みのエクスポート用ファイルのファイルサイズを表示します。 |
| **3** | 作成日時 | 作成済みのエクスポート用ファイルの作成日時を表示します。 |
| **4** | ［新規ファイル作成］ボタン | エクスポート用ファイルを作成します。 |

### □ 複合（テンプレート+ユーザ名）

プライベートテンプレートをエクスポートします。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ファイル名 | 作成済みのエクスポート用ファイルのファイル名を表示します。<br>ファイル名をクリックするとダウンロードすることができます。 |
| 2 | ファイルサイズ | 作成済みのエクスポート用ファイルのファイルサイズを表示します。 |
| 3 | 作成日時 | 作成済みのエクスポート用ファイルの作成日時を表示します。 |
| 4 | ［新規ファイル作成］ボタン | エクスポート用ファイルを作成します。 |

## ■ クローンファイル作成

本機の環境のクローンファイルを作成できます。
作成したクローンファイルを他の機器にインストールすることで、本機のクローン環境が構築されます。

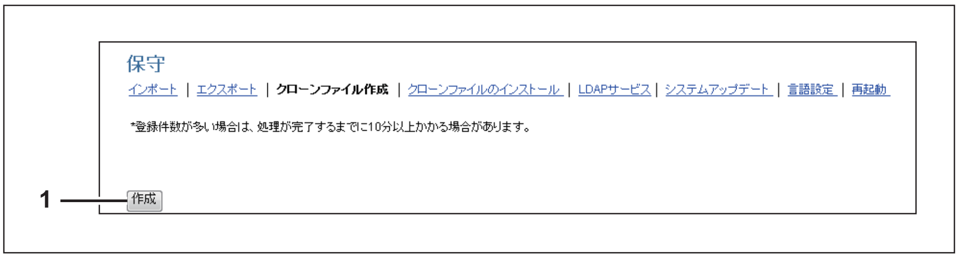
補 足

［クローンファイル作成］サブメニューは、［管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［保守］メニューについては、以下を参照してください。

P.10「アクセスポリシーモード」
P.84「［保守］項目説明一覧」



P.86「クローンファイル」
P.87「カテゴリ設定」


| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［作成］ボタン | カテゴリ設定で選択されたカテゴリのクローンファイルを作成します。<br>クリックするとクローンファイルに設定するPINコード設定画面が表示されます。 |
| | 注 意<br>PINコードは最大32桁の数字（0-9）です。 | |

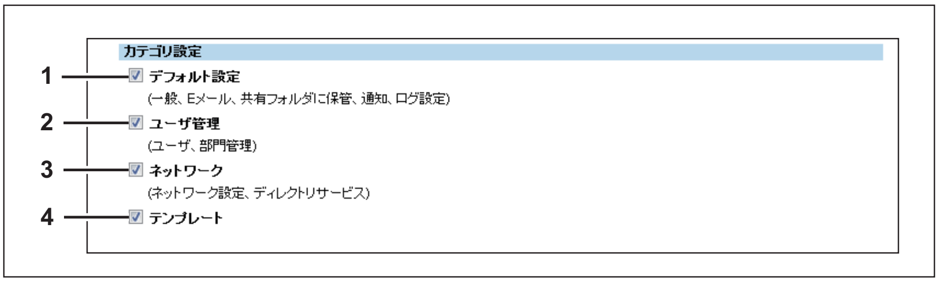
### □ クローンファイル

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | デバイス名 | 作成したクローンファイルのデバイス名（名称）を表示します。<br>デバイス名をクリックするとクローンファイルをダウンロードすることができます。 |
| 2 | モデル名 | 作成したクローンファイルのモデル名を表示します。 |

|  | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 3 | バージョン | 作成したクローンファイルのシステムROMバージョンを表示します。 |
| 4 | 作成日時 | クローンファイルの作成日時を表示します。 |

## □ カテゴリ設定

クローンファイルにカテゴリを選択します。




|  | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | デフォルト設定 | 管理者設定、時刻設定をクローンファイルに含めます。 |
| 2 | ユーザ管理 | ユーザ、部門コードをクローンファイルに含めます。 |
| 3 | ネットワーク | ネットワーク設定、LDAPサービス設定をクローンファイルに含めます。 |
| 4 | テンプレート | 共有テンプレート、プライベートテンプレートをクローンファイルに含めます。 |

## ■ クローンファイルのインストール

作成済みのクローンファイルをインストールすることができます。
他の機器で作成したクローンファイルをインストールすることで、クローン環境を構築することができます。

**注 意**

クローンファイルの作成とインストールは、同じバージョンのソフトウェアが使われている機体間で行ってください。
ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、以下の参照先をご覧ください。
📖 P.70 「バージョン」
📖 P.91 「システムアップデート」

**補 足**

［クローンファイルのインストール］サブメニューは、［管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［保守］メニューについては、以下を参照してください。
📖 P.10 「アクセスポリシーモード」
📖 P.84 「［保守］項目説明一覧」

📖 P.88 「ファイルのアップロード」
📖 P.88 「クローン情報」
📖 P.89 「クローンファイルに含まれているデータの情報」

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［インストール］ボタン | 選択されているクローンファイルをインストールします。<br>クリックするとクローンファイル作成時に設定したパスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。 |

### □ ファイルのアップロード

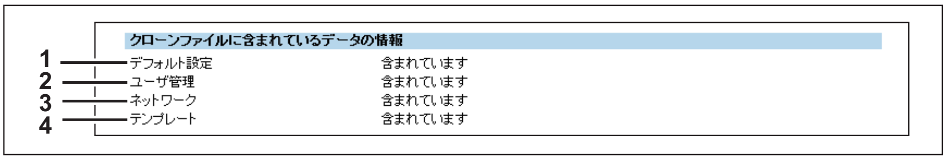
| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［参照］ボタン | クローンファイルを選択します。 |
| 2 | ［アップロード］ボタン | 選択したクローンファイルのクローンファイル情報とクローンファイルに含まれているデータの情報を表示します。 |

### □ クローン情報

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | デバイス名 | 作成したクローンファイルのデバイス名を表示します。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 2 | モデル名 | 作成したクローンファイルのモデル名を表示します。 |
| 3 | バージョン | 作成したクローンファイルのシステムROMバージョンを表示します。 |
| 4 | 作成日時 | クローンファイルの作成日時を表示します。 |

### □ クローンファイルに含まれているデータの情報




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | デフォルト設定 | 管理者設定、時刻設定が含まれているか表示します。 |
| 2 | ユーザ管理 | ユーザ、部門コードが含まれているか表示します。 |
| 3 | ネットワーク | ネットワーク設定、LDAPサービス設定が含まれているか表示します。 |
| 4 | テンプレート | 共有テンプレート、プライベートテンプレートが含まれているか表示します。 |

## ■ LDAPサービス

LDAP（Lightweight Directory Access Protocol）サーバーのディレクトリサービスに関するプロパティを登録することができます。新しいディレクトリサービスを追加すると、ユーザはLDAPサーバーを使って宛先を検索することができます。

**補 足**

［LDAPサービス］サブメニューは、［管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［保守］メニューについては、以下を参照してください。
P.10 「アクセスポリシーモード」
P.84 「［保守］項目説明一覧」

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［新規］ボタン | ディレクトリに利用するLDAPサーバーを登録します。<br>P.90 「［LDAP情報］画面」 |
| 2 | 登録LDAP一覧 | 登録されているLDAPサーバーの一覧を表示します。<br>LDAPサーバー名をクリックすると、登録内容を編集できます。<br>P.90 「［LDAP情報］画面」 |

## □［LDAP情報］画面

登録LDAP一覧のLDAPサーバ名をクリックするか、［新規］ボタンをクリックすると表示されます。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| **1** | LDAPサーバー名 | ディレクトリサービスを識別するディレクトリサービス名を入力します。半角英数字と記号（=；＃ ￥を除く）で64文字まで入力できます。 |
| **2** | サーバーアドレス | LDAPサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。 |
| **3** | ポート番号 | LDAPサーバーにアクセスするポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。SSLを使用しないLDAPサーバーにアクセスするには、初期値の「389」を使用します。SSLを使用する場合は、通常「636」を使用します。 |
| **4** | 認証 | SASL認証プロトコルを選択します。SASL認証プロトコルが分からない場合は、［自動］を選択します。<br>• **自動**：自動で認証を識別してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。<br>• **Kerberos**：Kerberos認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。<br>• **Digest-MD5**：Digest-MD5認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。<br>• **Simple Bind**：Simple Bind認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。 |
| **5** | サーチベース | 検索ベースを入力します。Windowsサーバーを使用している場合は、必ず入力してください。半角英数字と記号（; ＃ ￥を除く）で256文字まで入力できます。 |
| **6** | ユーザ名 | LDAPサービスにアクセスするためにユーザ名が必要な場合は、ログインユーザ名を入力します。半角英数字と記号で256文字まで入力できます。 |
| **7** | パスワード | LDAPサービスにアクセスするためにパスワードが必要な場合は、ログインパスワードを入力します。半角英数字と記号で32文字まで入力できます。 |
| **8** | サーチ時間 | LDAPサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を選択します。1～5の範囲で設定します。初期値は「1」に設定されています。 |
| **9** | SSL使用 | LDAPにアクセスするときにSSL（Secure Sockets Layer）を有効にするか選択します。<br>• **無効**：SSLを無効にします。<br>• **全ての証明書を受け入れる**：本機の登録された証明書を使用せずにSSL認証を行う場合に選択します。 |
| | **注 意**<br>• 登録したLDAPディレクトリサービスのうち1つでもSSLを使用しているLDAPディレクトリサービスがある場合は、有効に設定します。有効に設定すると、LDAPサーバーにSSLを使用してアクセスし、接続できない場合はSSLを使用せずに再度LDAPサーバーに接続するようになります。したがって、有効に設定しても、SSLを必要としないLDAPディレクトリサービスにも接続することができます。<br>• SSLを使用するには、サーバーのOSがSSLをサポートしている必要があります。 | |
| **10** | SSLポート番号 | SSLを使用してLDAPサーバーにアクセスするポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「636」を使用します。 |

## ■ システムアップデート

本機のシステムをアップデートすることができます。

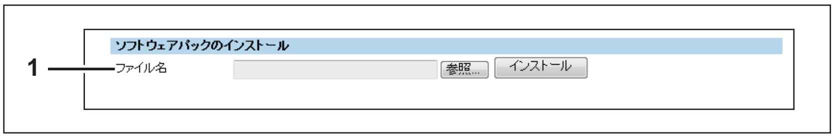
**補 足**

［システムアップデート］サブメニューは、［管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［保守］メニューについては、以下を参照してください。

📖 P.10 「アクセスポリシーモード」
📖 P.84 「［保守］項目説明一覧」

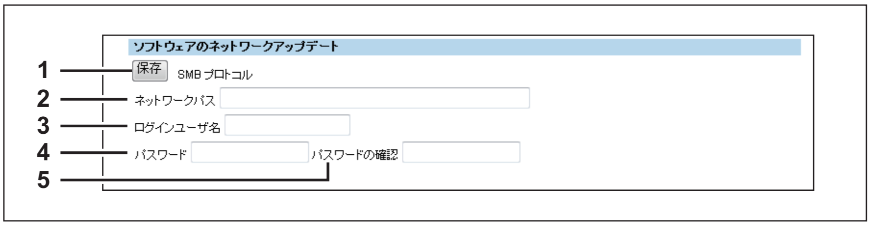
📖 P.91 「ソフトウェアパックのインストール」

### □ ソフトウェアパックのインストール




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ファイル名 | インストールするソフトウェアパックのファイルを選択します<br>**［参照］ボタン**：ソフトウェアパックのファイルを選択します。<br>**［インストール］ボタン**：選択したソフトウェアパックのファイルをインストールします。 |

### □ ソフトウェアのネットワークアップデート




ネットワーク上のアップデートファイルを使用して、本機のソフトウェアをアップデートします。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［保存］ボタン | ネットワークパス、ログインユーザ名、パスワード、パスワードの確認を入力した後に押すと、ソフトウェアをアップデートできます。 |
| 2 | ネットワークパス | アップデートファイルが保存されているパスを指定します。半角英数字と記号（: , ; * ? " < > ¦ ' を除く）を入力できます。 |
| 3 | ログインユーザ名 | SMBプロトコルを使用したネットワークフォルダにアクセスするためのログインユーザ名を入力します。半角英数字、記号を32文字まで入力できます。 |
| 4 | パスワード | SMBプロトコルを使用したネットワークフォルダにアクセスするためのパスワードを入力します。半角英数字、記号と半角スペースで32文字まで入力できます。 |
| 5 | パスワードの確認 | 確認のためにパスワードを再入力します。 |

## ■ 言語設定

お使いの機器の液晶画面の表示言語を設定することができます。

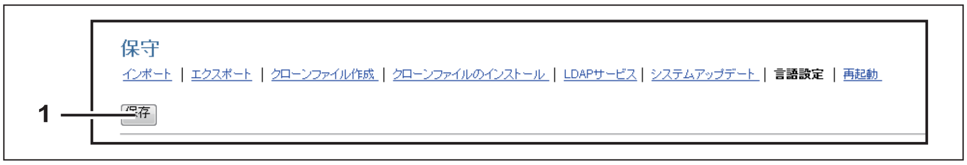
**補 足**

［言語設定］サブメニューは、［管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［保守］メニューについては、以下を参照してください。

📖 P.10 「アクセスポリシーモード」

📖 P.84 「［保守］項目説明一覧」

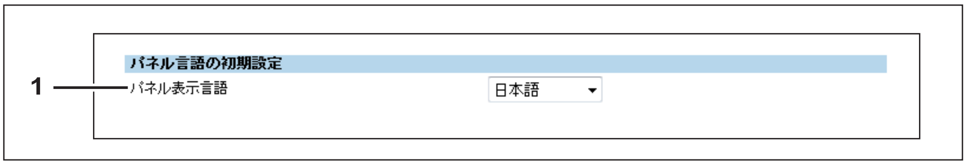
📖 P.92 「パネル言語の初期設定」




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［保存］ボタン | 登録された言語設定を保存します。 |

### □ パネル言語の初期設定

液晶画面の表示言語を選択します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | パネル表示言語 | 液晶画面の表示言語を選択します。 |

## ■ 再起動

お使いの機器を再起動します。

**補 足**

［再起動］サブメニューは、［管理者］タブの［保守］メニューからアクセスできます。
アクセス方法、［保守］メニューについては、以下を参照してください。

📖 P.10 「アクセスポリシーモード」

📖 P.84 「［保守］項目説明一覧」

# 8

# [アカウント] タブ

アクセスしているユーザのアカウント情報を表示します。

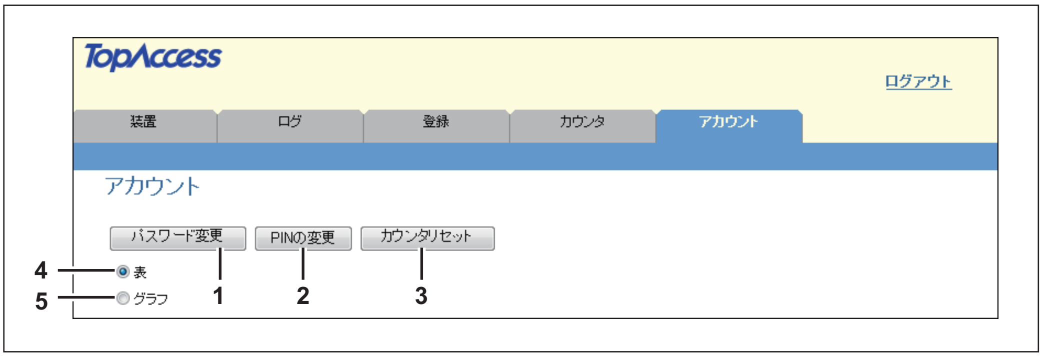
**[アカウント] タブの概要説明 .......... 94**
[アカウント] 項目説明一覧 .......... 94

# ［アカウント］タブの概要説明

［アカウント］タブは、［管理者］タブの［セキュリティ］-［認証］-［ユーザー認証設定］の［ユーザ認証］を有効にしている場合に表示されます。
アクセスしているユーザのアカウント情報を表示します。
📖 P.94「［アカウント］項目説明一覧」

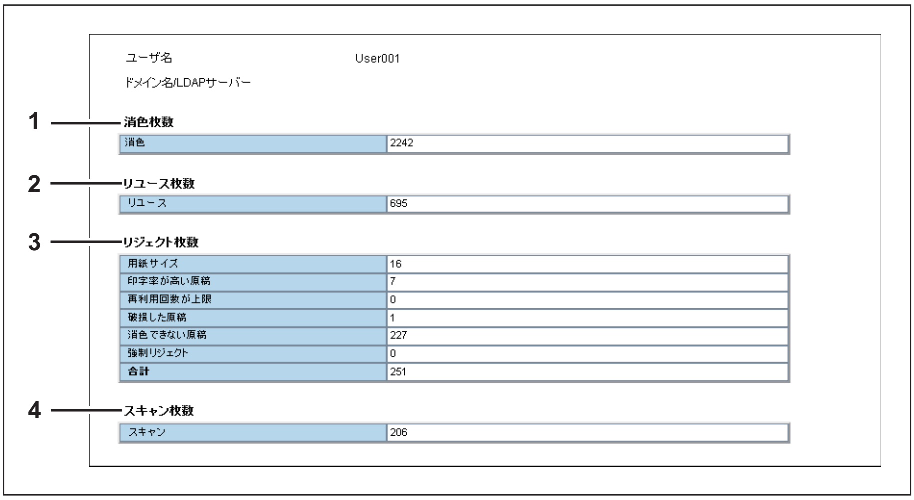
## ■［アカウント］項目説明一覧

📖 P.95「［パスワード変更］画面」



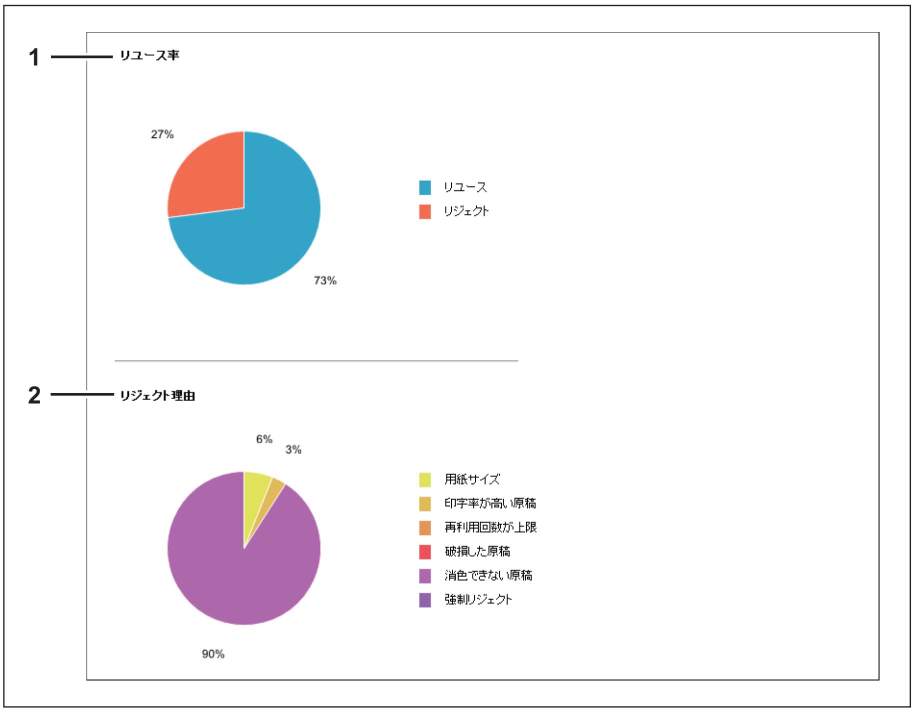

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［パスワード変更］ボタン | アクセスしているユーザのパスワード（TopAccess）を変更します。 |
| 2 | ［PINの変更］ボタン | アクセスしているユーザのPINコード（操作パネル）を変更します。 |
| 3 | ［カウンタリセット］ボタン | アクセスしているユーザのカウンタをリセットします。 |
| 4 | 表 | カウンタを表形式で表示します。 |
| 5 | グラフ | カウンタをグラフ形式で表示します。 |

### □ 表




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | 消色枚数 | 消色された用紙の枚数を表示します。 |
| 2 | リユース枚数 | 分別の際、リユース可能と判断された用紙の枚数を表示します。 |
| 3 | リジェクト枚数 | 分別の際、リユースできないと判断された用紙の枚数を表示します。 |
| 4 | スキャン枚数 | スキャンされた用紙の枚数を表示します。 |

## □ グラフ




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | リユース率 | 用紙のリユース率を円グラフで表示します。 |
| 2 | リジェクト理由 | 用紙のリジェクト理由を円グラフで表示します。 |

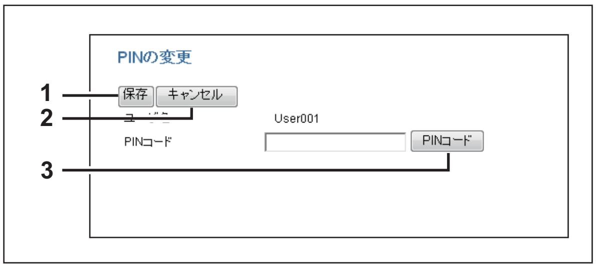
## □ [パスワード変更] 画面

アクセスしているユーザのパスワード（TopAccess）を変更します。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | [保存] ボタン | パスワード変更を保存します。 |
| 2 | [キャンセル] ボタン | 操作を中止します。 |
| 3 | 旧パスワード | 現在使用しているパスワードを入力します。 |
| 4 | 新しいパスワード | 変更するパスワードを入力します。 |
| 5 | パスワードの確認 | 確認のために新しいパスワードを再入力します。 |

## □［PINの変更］画面

アクセスしているユーザのPINコード（操作パネル）を変更します。




| | 項目名 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 1 | ［保存］ボタン | PINの変更を保存します。 |
| 2 | ［キャンセル］ボタン | 操作を中止します。 |
| 3 | ［PINの発行］ボタン | PINを自動生成します。 |

**注 意**

PINコードは最大32桁の数字（0-9）です。PINコードの桁数は、［管理者］-［セキュリティ］-［パスワードポリシー］の［自動生成時の桁数］で設定した桁数のみ使用できます。

📖 P.77「PIN認証」

9

# 付録

このセクションには、以下の内容が記載されています。

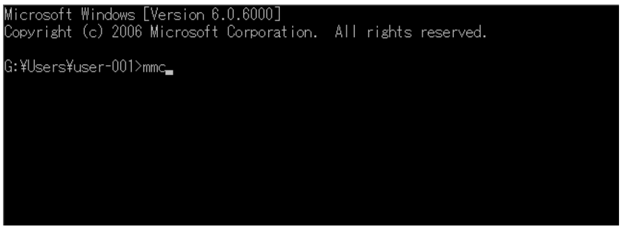
クライアントコンピュータに証明書をインストールする .......................................................... 98

# クライアントコンピュータに証明書をインストールする

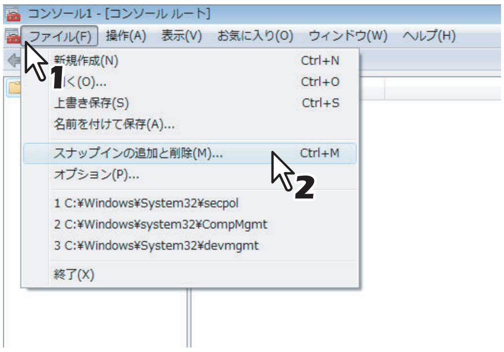
## Microsoft管理コンソール（MMC）を設定する

ここでは、Windows Vistaで設定する例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

**1** コマンド プロンプトを開いて「mmc」と入力し、［Enter］キーを押します。

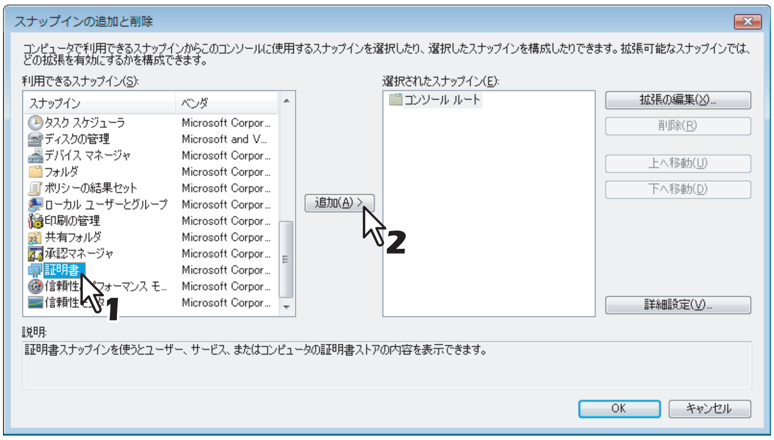



**2** 表示されるウィンドウの［ファイル］または［コンソール］メニューから、［スナップインの追加と削除］を選択します。



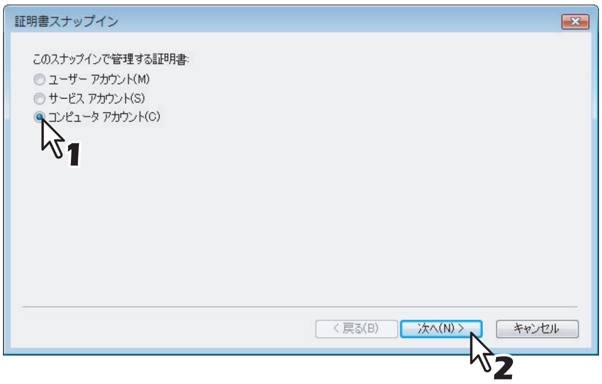

［スナップインの追加と削除］ダイアログボックスが表示されます。

**3** ［利用できるスナップイン］の一覧から［証明書］を選択し、［追加］をクリックします。



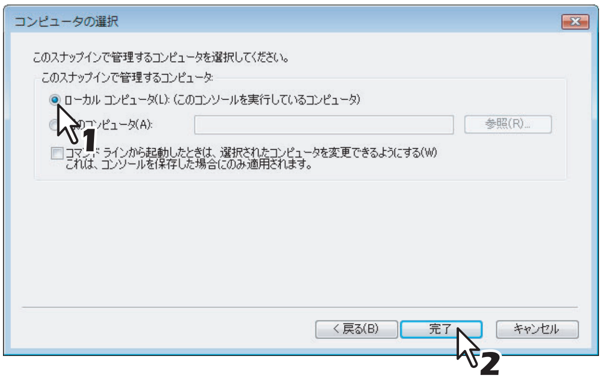

［証明書スナップイン］ダイアログボックスが表示されます。

**4** ［コンピュータ アカウント］を選択し、［次へ］をクリックします。



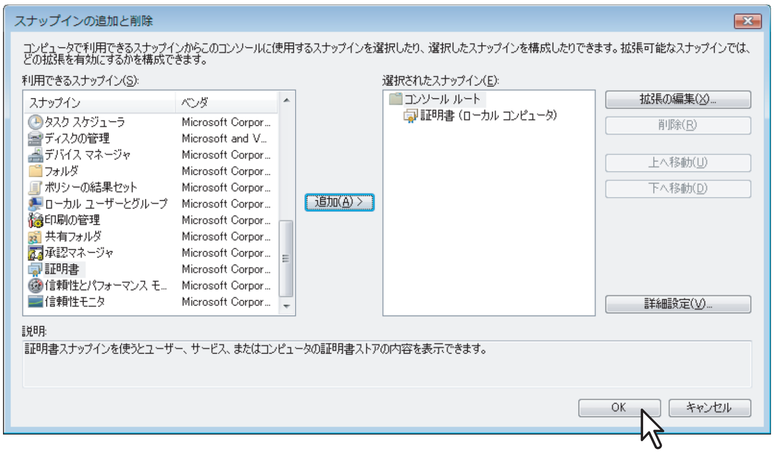

［コンピュータの選択］ダイアログボックスが表示されます。

**5** ［ローカル コンピュータ（このコンソールを実行しているコンピュータ）］を選択し、［完了］をクリックします。

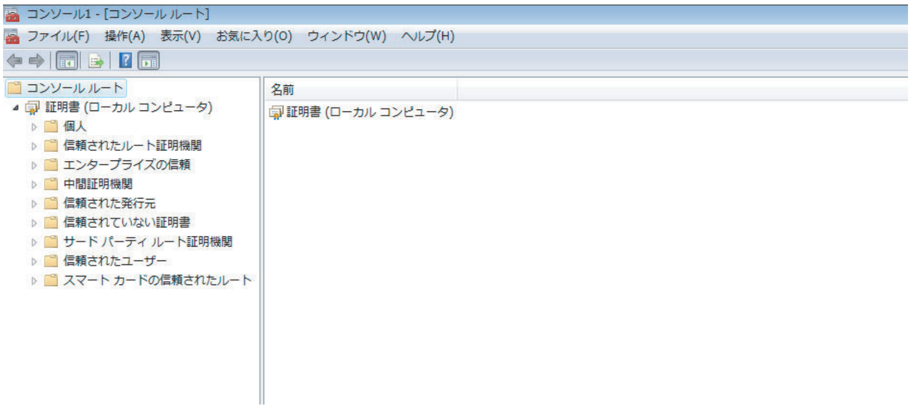


［コンピュータの選択］ダイアログボックスが閉じます。

**6** ［コンソール ルート］フォルダの下に［証明書（ローカル コンピュータ）］が追加されていることを確認し、［OK］をクリックします。



**7** 設定を保存します。



9

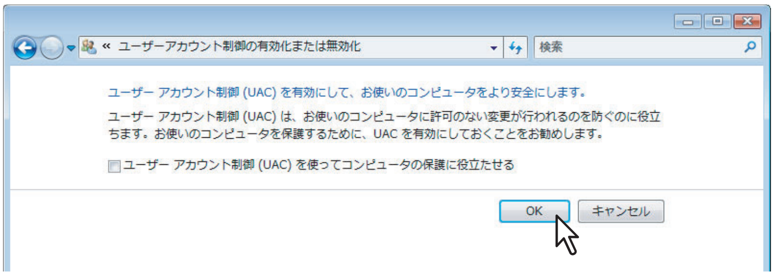
付録

## クライアントコンピュータに証明書をインポートする

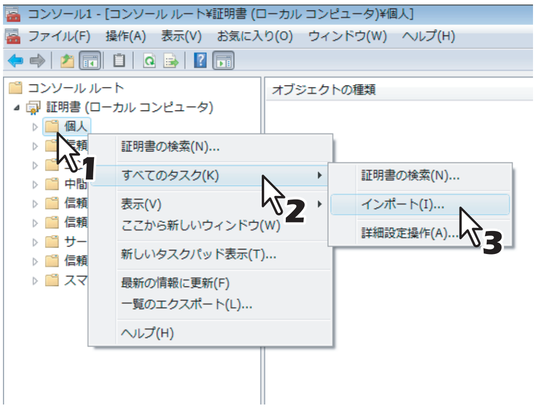
ここでは、Windows Vistaにインポートする例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

**注 意**

- Windows Vistaの場合、Administrators（管理者）所属のユーザでログインする必要があります。
- Windows Vistaの場合、［ユーザー アカウント制御］が無効になっていることを確認してください。［コントロールパネル］>［ユーザー アカウント］>［ユーザー アカウント制御の有効化または無効化］と進み、［ユーザー アカウント制御（UAC）を使ってコンピュータの保護に役立たせる］チェックボックスをオフにします。




**1** **Microsoft管理コンソール（MMC）で、証明書を格納するフォルダを選択・右クリックし、［すべてのタスク］>［インポート］を選択します。**

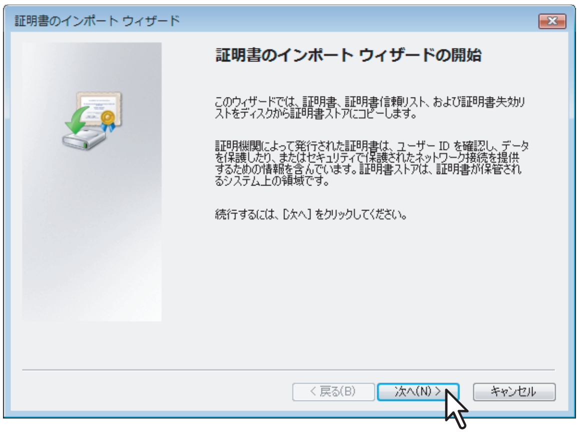



証明書の種類に応じて、適切なフォルダを選択してください。

- **自己証明書（.crt）：**コンソールルート ＞ 証明書（ローカルコンピュータ）＞ 信頼されたルート証明書
- **クライアント証明書（.pfx）：**コンソールルート ＞ 証明書（ローカルコンピュータ）＞ 個人

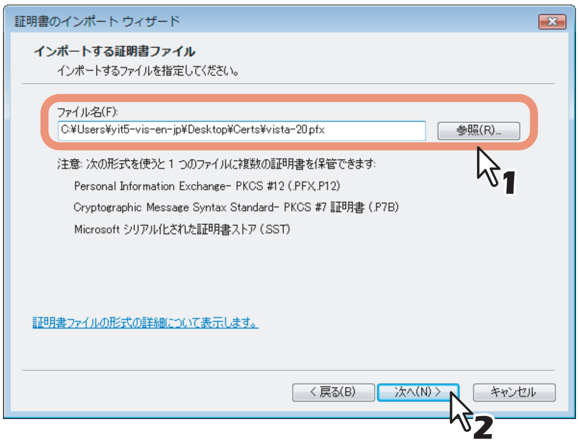
［証明書のインポート ウィザード］が表示されます。

**2** **［証明書のインポート ウィザード］で、［次へ］をクリックします。**

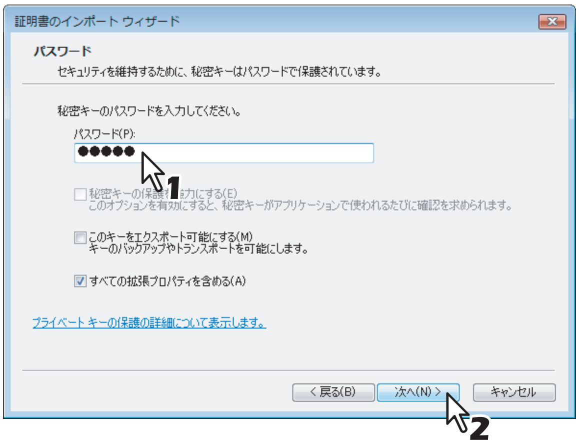



クライアント証明書をインポートする場合は、次の手順に進みます。それ以外の場合は、手順5へ進んでください。

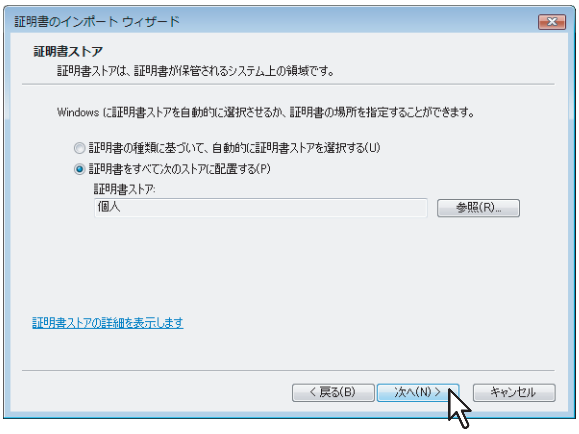
## 3 ［参照］をクリックしてインストールする証明書を選択し、［次へ］をクリックします。




## 4 秘密キーのパスワードを入力し、［次へ］をクリックします。



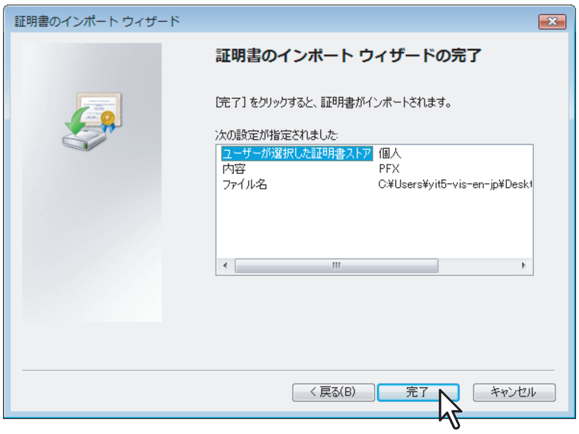

## 5 ［次へ］をクリックします。




**注 意**

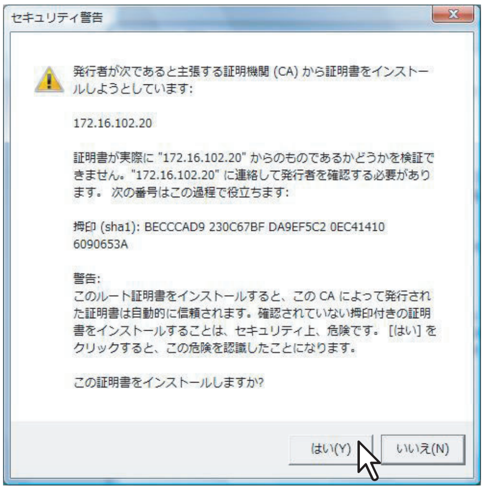
［参照］ボタンから証明書ストアを変更しないでください。

## 6 ［完了］をクリックします。

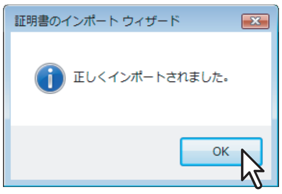



**補 足**

以下のセキュリティ警告メッセージが表示された場合は、［はい］をクリックします。

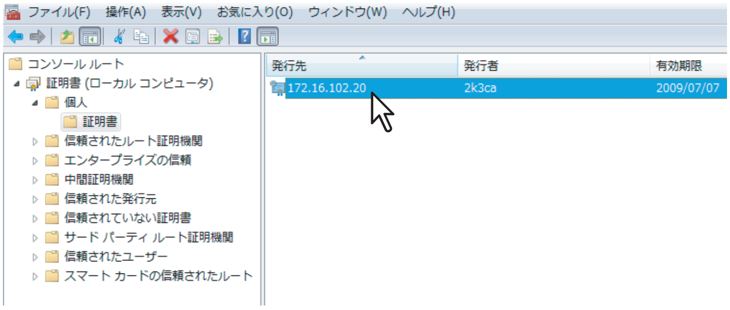



## 7 ［OK］をクリックして、インポートを完了します。



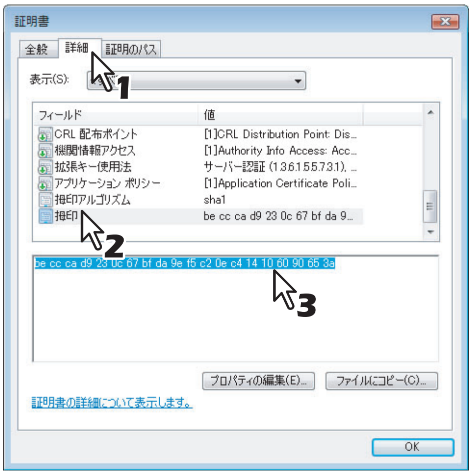

Windows Vistaコンピュータにクライアント証明書（.pfx）をインストールする場合は、次の手順に進みます。
それ以外の場合は、インストールは完了です。
他に証明書をインストールする必要がある場合は、手順をはじめから繰り返してください。

## 8 インポートしたクライアント証明書をダブルクリックします。




［証明書］ウィンドウが表示されます。

## 9 ［詳細］タブをクリックし、［拇印］を選択して40桁の拇印を確認します。




## 10 コマンド プロンプトを開き、「netsh」コマンドを以下にならって実行します。

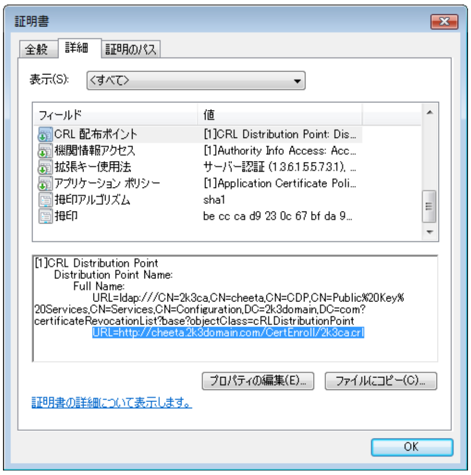
**補 足**

Windows VistaでAdministrators（管理者）所属のユーザ以外で利用している場合は、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックして表示されるメニューから［管理者として実行］を選択する方法で一時的にAdministrators（管理者）権限でコマンドを実行することができます。

- 手順9で確認した拇印を使用して、次のコマンドを入力します。
  netsh http add sslcert ipport=0.0.0.0:5358 certhash=（ここに40桁の拇印を入力）appid={00112233-4455-6677-8899-AABBCCDDEEFF}
- 拇印はスペースを省いて入力します。

**注 意**

インポートしたクライアント証明書が「Certificate Revocation List（CRL）」を用いて作成されたものである場合、FQDNによるCAサーバーへのアクセスが可能であるかを確認する必要があります（下図を参照）。




FQDNによる接続が確立されていない場合は、以下のいずれかの対処を行うよう、管理者へ問い合わせてください。

- 以下のフォルダパスからアクセスできる「hosts」ファイルに、IPアドレスとホスト名を追加します。
  C:\WINNT\system32\drivers\etc
- 適切な名前解決処理が行われるように、DNSサーバーを設定します。

# 索引

**B**
Bonjourの設定 ........ 56

**D**
DDNSの設定 ........ 58
DNSの設定 ........ 57

**H**
HTTPの設定 ........ 61

**I**
IPv6の設定 ........ 55

**L**
LDAPサービス ........ 89
LDAP情報 ........ 90
LDAP認証 ........ 72

**O**
ODCA設定 ........ 69

**P**
PIN認証 ........ 77
PINの変更 ........ 96

**S**
SMBの設定 ........ 60
SNMP V3ユーザ情報の作成 ........ 63
SNMPの設定 ........ 62
SNTP設定 ........ 49

**T**
TCP/IPの設定 ........ 52
TopAccessの画面説明 ........ 9
TopAccessの機能 ........ 6
TopAccessの条件 ........ 7
TopAccessを起動する ........ 8

**W**
WEB設定 ........ 50
Windowsドメイン認証 ........ 72

**あ**
アカウント 項目説明一覧 ........ 94
アカウント タブの概要説明 ........ 94
アクセスポリシーモード ........ 6, 10
アドレスを入力して起動する ........ 8

**い**
一般 ........ 30
一般設定 ........ 46
インポート ........ 44, 84

**え**
エクスポート／インポート 項目説明一覧 ........ 43
エクスポート ........ 33, 43, 85

**か**
カウンタ 項目説明一覧 ........ 30
カウンタ タブの概要説明 ........ 30
カテゴリ設定 ........ 87
環境設定 ........ 69
管理者、監査者パスワードポリシー ........ 78

**き**
機器設定 ........ 47
共有テンプレート ........ 20
共有テンプレートを登録・編集する ........ 27

**く**
クライアント証明書 ........ 76
クライアント証明書作成 ........ 76
クライアント証明書の作成／エクスポート ........ 82
グラフ ........ 95
クローン情報 ........ 88
クローンファイル ........ 86
クローンファイル作成 ........ 86
クローンファイルに含まれているデータの情報 ........ 89
クローンファイルのインストール ........ 88

**け**
言語設定 ........ 92

**さ**
再起動 ........ 92
サポートブラウザ ........ 7
サマータイム設定 ........ 49

**し**
自己証明書作成 ........ 75
自己証明書を作成する／エクスポートする ........ 80
システムアップデート ........ 91
証明書管理 ........ 74
ジョブログ ........ 16

**す**
スキャン設定 ........ 23

**せ**
セキュリティ 項目説明一覧 ........ 71
セキュリティ 設定／操作方法 ........ 80
節電モードからの復帰設定 ........ 65
節電モード設定 ........ 48
セットアップ 項目説明一覧 ........ 46

**そ**
装置 項目説明一覧 ........ 14
装置情報の設定 ........ 47
ソフトウェアパックのインストール ........ 91
ソフトウェアのネットワークアップデート ........ 91

**て**
デバイス証明書 ........ 74
テンプレート ........ 21, 84, 85
テンプレート 項目説明一覧 ........ 20
テンプレートを管理する ........ 27

**と**
登録 設定／操作方法 ........ 27
登録 タブの概要説明 ........ 20

**に**
日付と時間 ........ 48
認証 ........ 71

**ね**
ネットワーク ........ 69
ネットワーク設定 ........ 51

**は**
バージョン ........ 70
パスワード入力 ........ 38
パスワード変更 ........ 95
パスワードポリシー ........ 77
パスワードポリシー（SNMPv3） ........ 79
パネル言語の初期設定 ........ 92
パネル設定 ........ 22

**ひ**
表 ....................................................................................94

**ふ**
ファイルのアップロード .................................................88
フィルタリングの設定 ....................................................54
フォーマット ...................................................................66
フォルダ名 .......................................................................66
複合（テンプレート＋ユーザ名） ...............................85, 86
部門管理 項目説明一覧 ....................................................40
部門管理情報 ...................................................................41
部門管理情報 （編集）......................................................41
プライベートテンプレート .............................................20
プライベートテンプレートを登録・編集する .................28
プロキシ設定 ...................................................................64
分別設定 ...........................................................................22
分別の判断レベル設定 ....................................................68

**ほ**
保守 項目説明一覧 ..........................................................84
保存先設定 .......................................................................67
保存先リスト ...................................................................24
保存先リスト 項目説明一覧 ............................................24

**ま**
マネジメントスキャン ....................................................66
マネジメントスキャン設定 .............................................66

**め**
メッセージログ ...............................................................17

**ゆ**
ユーザアカウント検索 .....................................................37
ユーザアカウント 項目説明一覧 .....................................36
ユーザー認証設定 ............................................................71
ユーザ管理 タブの概要説明 ............................................36
ユーザ情報 .......................................................................39
ユーザ情報作成 ...............................................................37
ユーザパスワードポリシー .............................................77
ユーザモード .....................................................................6

**り**
リモート設定 ...................................................................26
リユース回数カウンタ設定 .............................................68

**ろ**
ログ閲覧 項目説明一覧 ....................................................16
ログ タブの概要説明 ........................................................16
ログのエクスポート 項目説明一覧 .................................18

東芝消色装置

TopAccessガイド

PAPER REUSING SYSTEM

Loops

RD30

PAPER REUSING SYSTEM

Loops

RD301

東芝テック株式会社

QUALITY SERVICE

R120820M6203-TTEC

Ver03 F　発行 2014年10月

© 2013, 2014 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved